

平成23年度 戸塚区区民意識調査

報告書

平成23年12月

横浜市戸塚区役所

平成23年度 戸塚区区民意識調査

目 次

調査概要	4
I. 回答者の属性	5
II. 調査結果	12
1. 生活環境全般に対する重要度・満足度について	12
2. 地震への備えについて	33
3. 環境配慮行動について	37
4. 地域活動・地域自治について	45
5. 児童虐待について	58
6. 健康づくりについて	65
7. 戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～について	70
8. 戸塚区新総合庁舎の整備について	88
9. 戸塚区政について(自由記入)	91
調査票	93

平成23年度 戸塚区区民意識調査

調査概要

- ◆調査対象：住民基本台帳を元に 16 歳以上の男女無作為抽出 3,000 人
- ◆調査方法：郵送によるアンケート形式
- ◆調査期間：平成 23 年 6 月～7 月
- ◆回答率：56.0%（有効回答数：1,680 通）

◆集計結果の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベット N は、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている
（N=1,680）。

※クロス集計表の見方

濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第 1 位の項目については濃いグレーで塗りつぶしている。

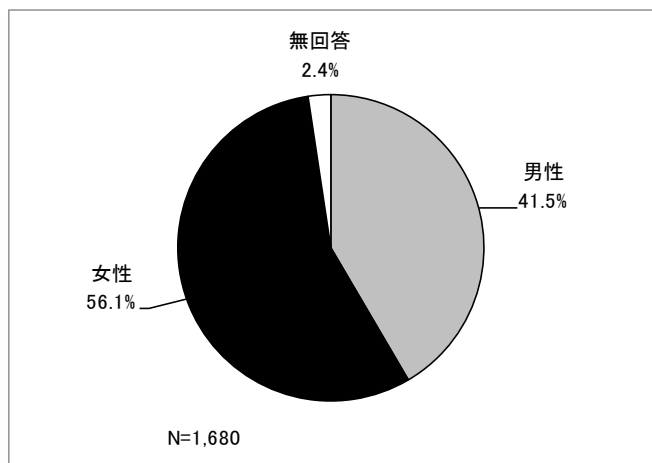
薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、区全体の数値と比べてかなり高い（概ね 10 ポイント以上）数値の項目、やや高い（概ね 8.5～10 ポイント）数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

I. 回答者の属性

性別（問 28）

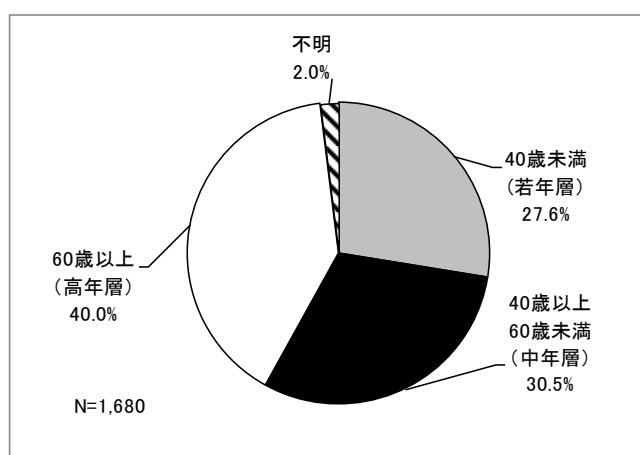
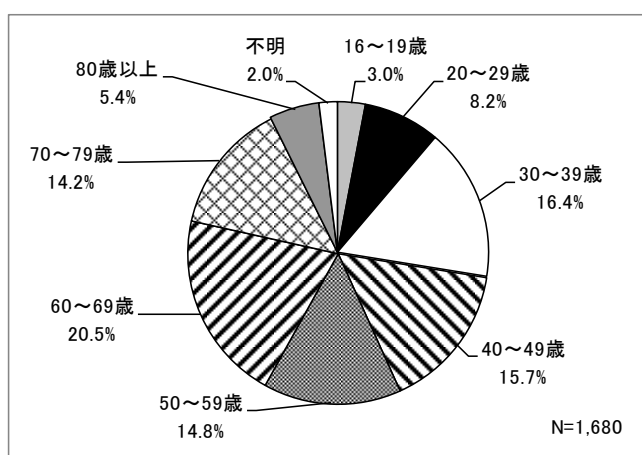
- ・ 女性 56.1%、男性 41.5% で、女性が 14.6 ポイント多い。

図 性別



年齢（問 29）

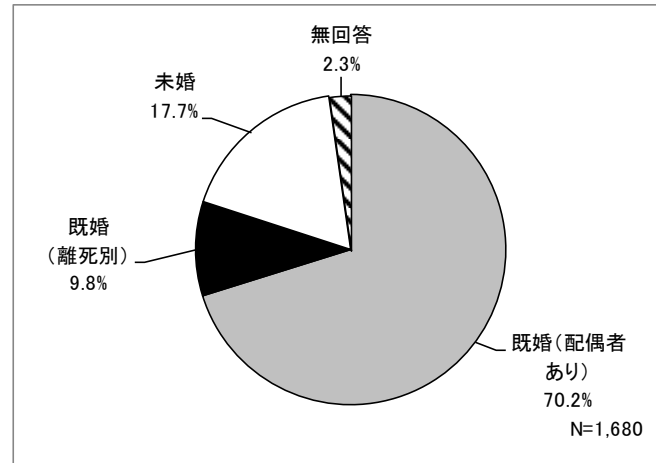
- ・ 最も多いのは 60～69 歳の 20.5%、少ないのは 16～19 歳の 3.0% である。80 歳以上（5.4%）と 20～29 歳（8.2%）もやや少ないが、それ以外は 1 割台半ばで均等に分散している。
- ・ 年齢層別にみると、60 歳以上の高年層が 40.0% で最も多く、次いで 40 歳以上 60 歳未満の中年層（30.5%）、40 歳未満の若年層（27.6%）の順となっている。



配偶者の有無（問 30）

- ・「既婚（配偶者あり）」が最も多く 70.2％で、全体の 7 割を占める。次いで「未婚」（17.7％）、「既婚（離死別）」（9.8％）と続く。

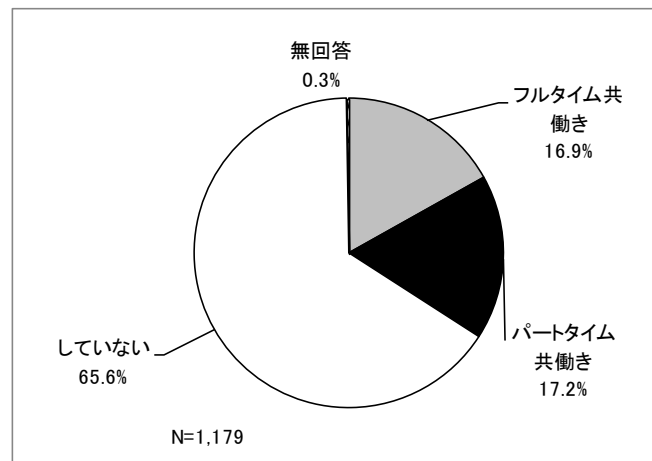
図 配偶者の有無



共働きの有無（問 31）

- ・有配偶者の共働きは「していない」が 65.6％で大多数を占め、「パートタイム共働き」（17.2％）、「フルタイム共働き」（16.9％）が僅差で並ぶ。

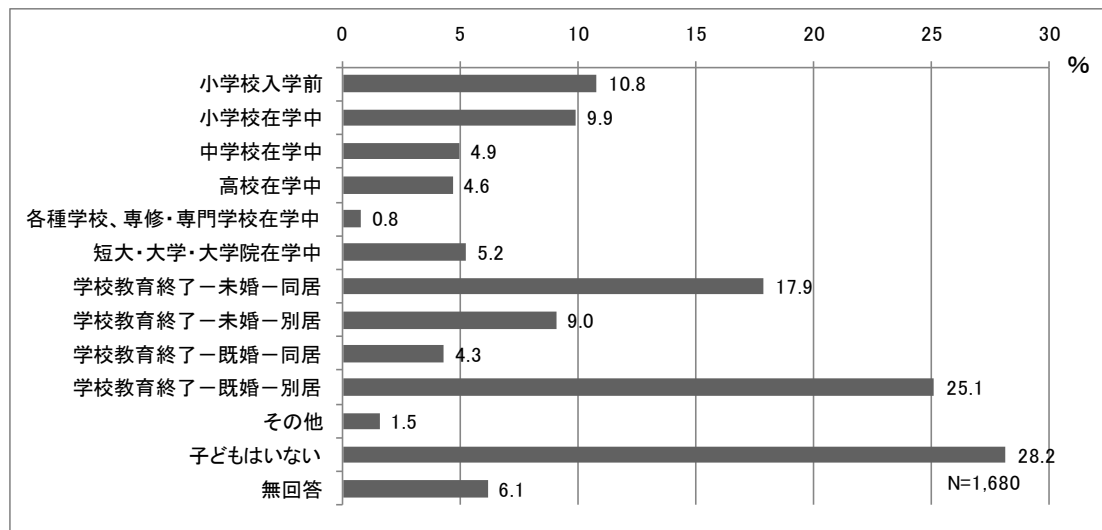
図 共働きの有無



子どもの有無と段階（問 32）

- ・「子どもはいない」が 28.2% で最も多く、3 割弱に達している。次いで「学校教育終了－既婚－別居」の 25.1%、「学校教育終了－未婚－同居」の 17.9% などとなっている。

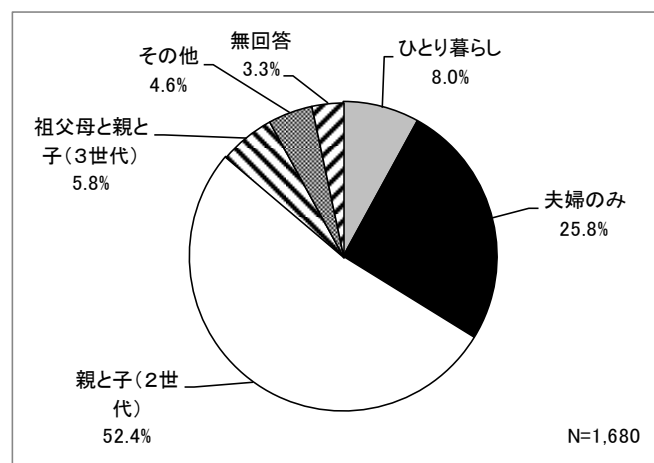
図 子どもの有無と段階（複数回答）



家族構成（問 33）

- ・最も多いのは「親と子（2 世帯）」の 52.4% で、全体の半数強を占める。次いで「夫婦のみ」が 25.8% で、全体の 4 分の 1 である。以下「ひとり暮らし」（8.0%）、「祖父母と親と子（3 世代）」（5.8%）、「その他」（4.6%）と続く。

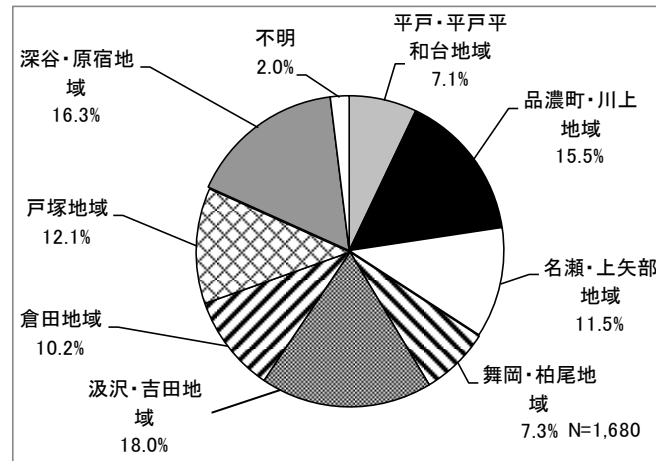
図 家族構成



居住地域（問 34）

- 最も多いのは「汲沢・吉田地域」の 18.0％、次いで「深谷・原宿地域」（16.3％）、「品濃町・川上地域」（15.5％）、「戸塚地域」（12.1％）、「名瀬・上矢部地域」（11.5％）、「倉田地域」（10.2％）、「舞岡・柏尾地域」（7.3％）と続く。最も少ないのは「平戸・平戸平和台地域」の 7.1％であった。

図 居住地域



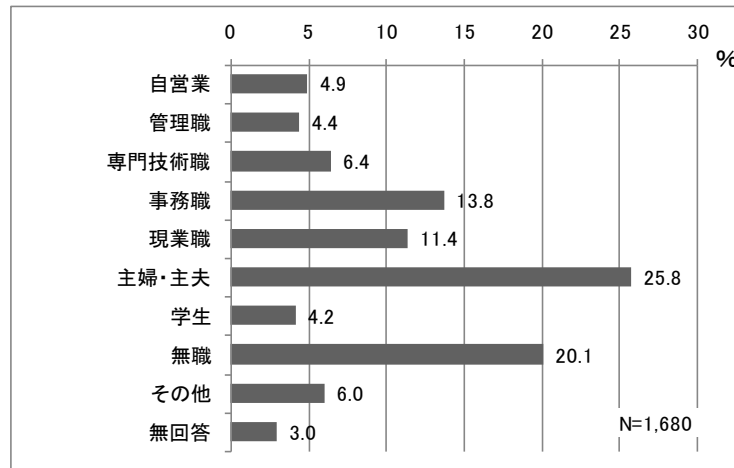
※ 地域区分について

地域名	該当町丁目
平戸・平戸平和台地域	平戸町、平戸一～五丁目
品濃町・川上地域	品濃町、上品濃、川上町、前田町、秋葉町
名瀬・上矢部地域	名瀬町、上矢部町
舞岡・柏尾地域	舞岡町、南舞岡一～四丁目、柏尾町、上柏尾町
汲沢・吉田地域	汲沢町、汲沢一～八丁目、矢部町、鳥が丘、吉田町
倉田地域	上倉田町、下倉田町
戸塚地域	戸塚町
深谷・原宿地域	深谷町、俣野町、原宿一～五丁目、小雀町、東俣野町、影取町

職業（問 35）

- ・最も多いのは「主婦・主夫」の 25.8% で全体の 4 分の 1、これに「無職」（20.1%）が 2 割で続く。以下「事務職」（13.8%）、「現業職」（11.4%）などとなっている。

図 職業

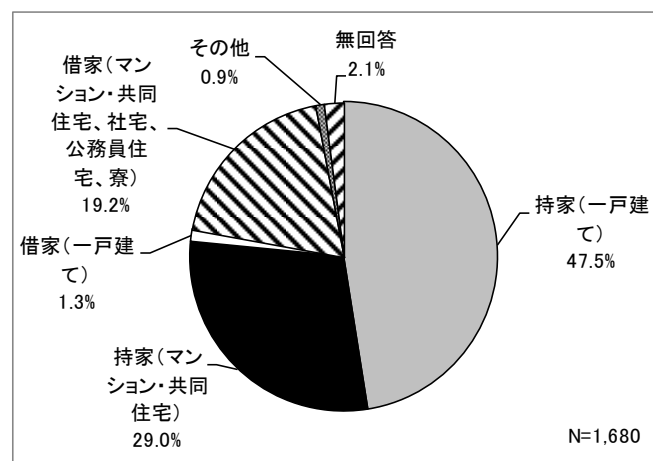


注）自営業は農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者、管理職は会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など、専門技術職は勤務医師、研究所研究員、技師など、事務職は事務職、営業職、教員など、現業職は生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者とする。

居住形態（問 36）

- ・「持家（一戸建て）」が 47.5% で全体の半数弱を占め、次いで「持家（マンション・共同住宅）」（29.0%）が 3 割弱、「借家（マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」（19.2%）が 2 割弱で続く。「持家（一戸建て）」「持家（マンション・共同住宅）」を合わせると 76.5% と全体の 4 分の 3 強を占め、持家率は高い。

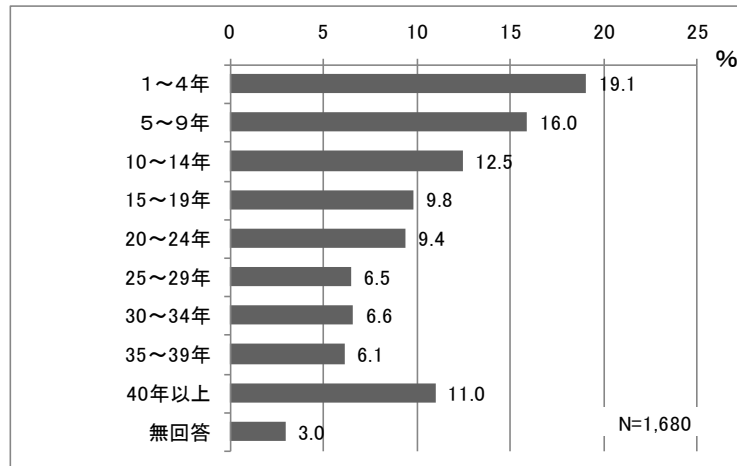
図 居住形態



居住年数（問 37）

- ・ 最も多いのは「1～4年」の19.1%、次いで「5～9年」（16.0%）、「10～14年」（12.5%）と、居住年数15年未満が全体の半数弱を占め、居住年数は浅い傾向にあるが、「40年以上」も11.0%と1割強存在している。

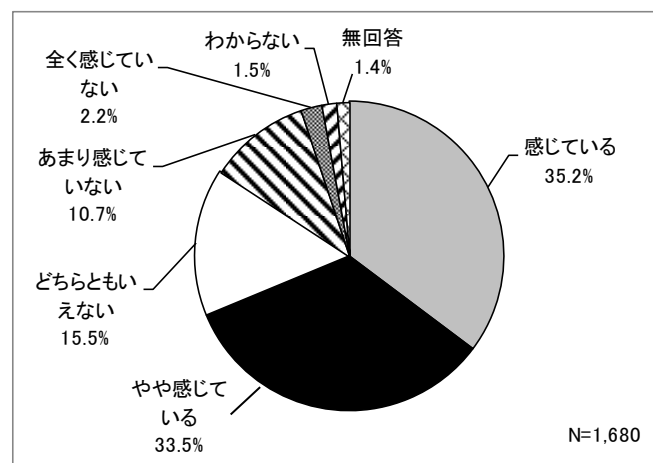
図 居住年数



戸塚区への愛着度（問 38）

- ・ 「感じている」が35.2%で最も多く、次いで「やや感じている」が33.5%で続き、これらを合わせると68.7%で、全体の7割弱が戸塚区に愛着を感じるとしている。また「あまり感じていない」（10.7%）と「全く感じていない」（2.2%）を合わせると12.9%で、戸塚区に愛着を感じないのは1割強となっている。

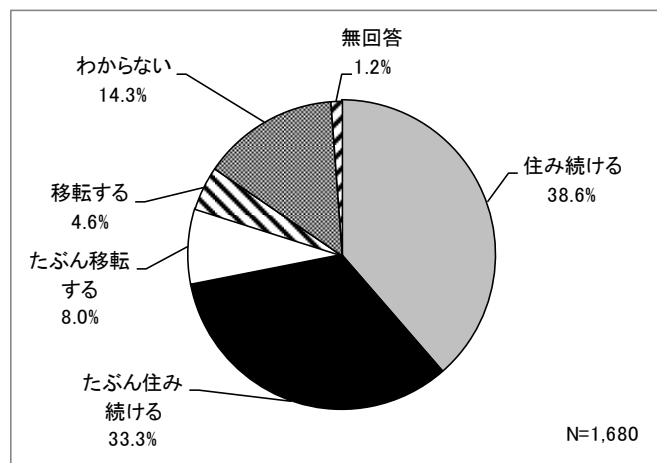
図 戸塚区への愛着度



居留意向（問 39）

- ・「住み続ける」が 38.6% で最も多く、次いで「たぶん住み続ける」が 33.3% となっており、これらを合わせると 7 割以上の人が今後も戸塚区に住み続けるとしている。一方「たぶん移転する」は 8.0%、「移転する」は 4.6% で、移転希望のある人は 1 割強である。

図 居留意向



Ⅱ. 調査結果

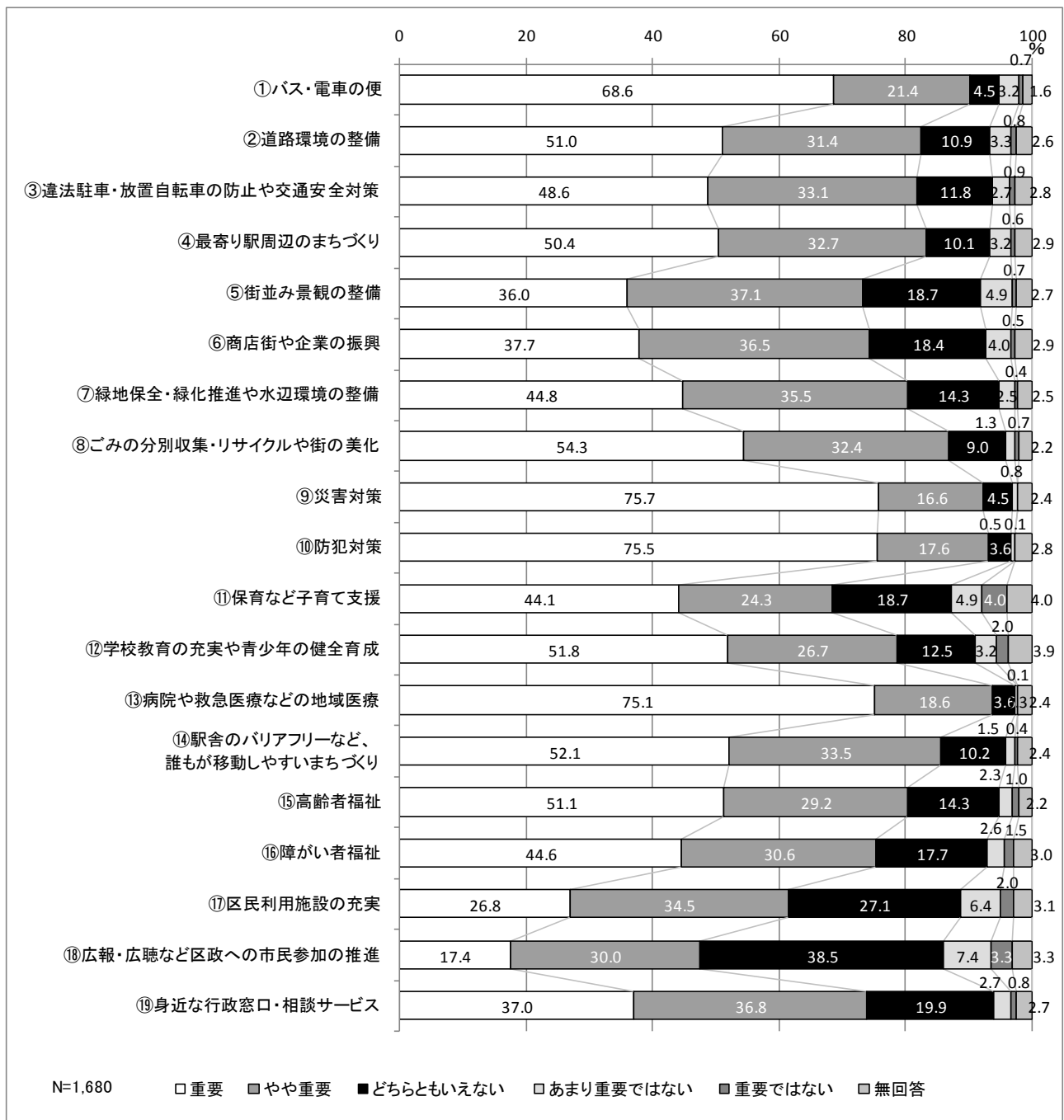
1. 生活環境全般に対する重要度・満足度について

問1 あなたは以下（①～⑳）のことがらについて、

【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。

- ・「⑤街並み景観の整備」「⑰区民利用施設の充実」では「やや重要」、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」では「どちらともいえない」が最も多くなっているが、これ以外はいずれも「重要」が最も多く、特に「⑨災害対策」「⑩防犯対策」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の3項目では「重要」が7割以上を占める高い数値となっている。
- ・それぞれの項目について、重要とやや重要を合わせて重要度を見てみると、「道路・交通」に関する「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の3項目ではいずれも重要度が8～9割となっており、特に「バス・電車の便」においては90.1%となっている。
- ・「まちづくり」に関する2つの項目を見ると、「④最寄り駅周辺のまちづくり」で8割台前半、「⑤街並み景観の整備」は7割台前半となっている。
- ・「産業」に関する項目である「⑥商店街や企業の振興」については、7割台となっている。
- ・「環境」に関する2つの項目「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」は、共に8割台となっている。
- ・「防犯・防災」に関する「⑨災害対策」「⑩防犯対策」の2項目では、ともに9割以上の高い数値を示している。
- ・「教育・福祉・医療」に関する6項目については、「⑬病院や救急医療などの地域医療」で9割台前半の高い数値を示している。また、「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「⑮高齢者福祉」で8割台、「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」は8割弱、「⑯障がい者福祉」では7割台、「⑪保育など子育て支援」は7割弱となっている。
- ・「行政」に関する3つの項目では、「⑰区民利用施設の充実」では6割、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」で5割弱、「⑲身近な行政窓口・相談サービス」は7割台である。

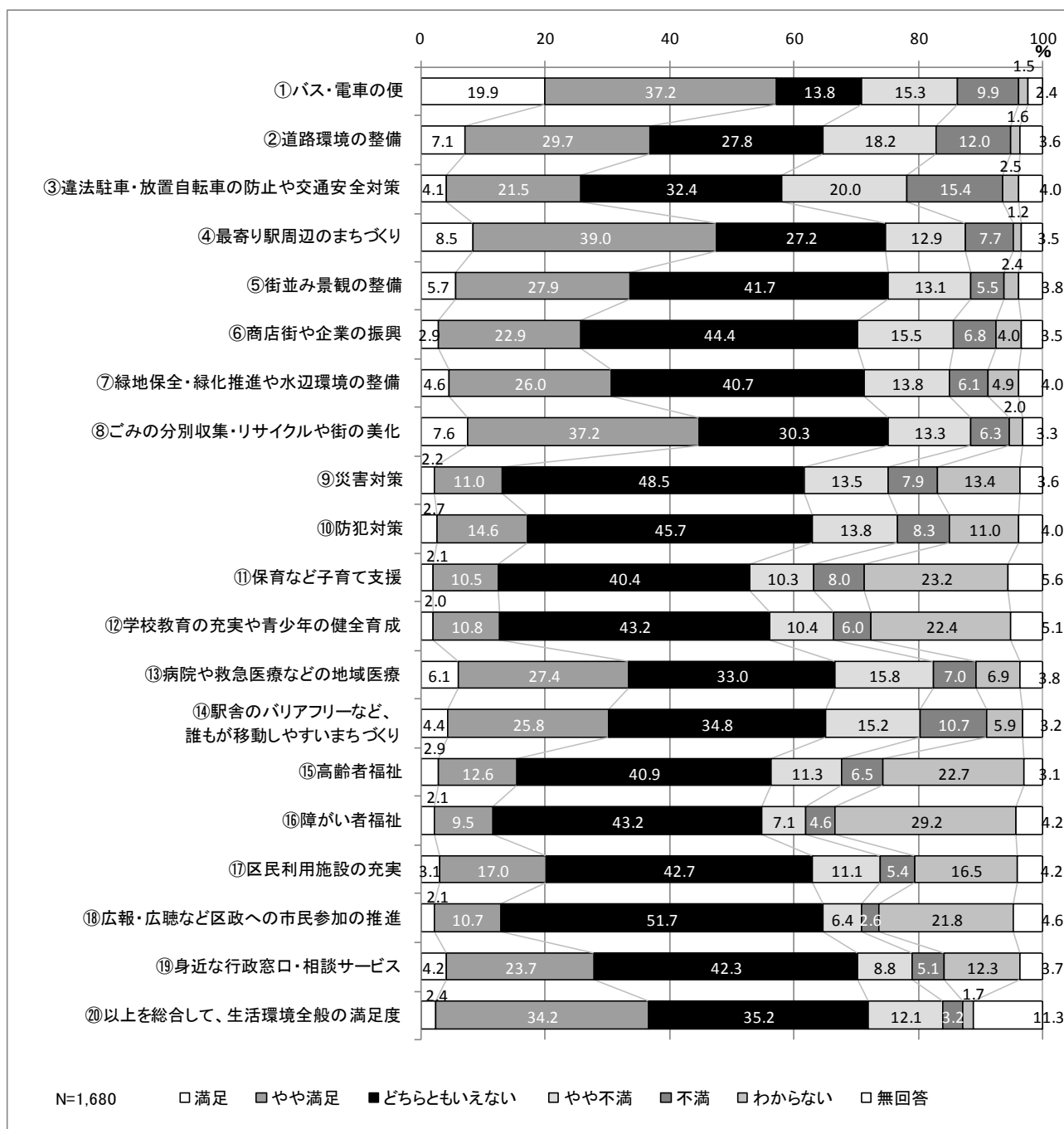
図 生活環境全般に対する重要度



【2】現在、どの程度満足していますか。

- ・「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」で「やや満足」が最も多くなっている以外は、いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・それぞれの項目について、満足とやや重要を合わせて満足度、不満とやや不満を合わせて不満度を見てみると、「道路・交通」に関する3項目のうち「①バス・電車の便」では満足度が6割弱に達し、全項を通じて最も高いほか、「②道路環境の整備」でも満足度が4割弱となっている。一方「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」では不満度が3割台の半ばとなり、満足度を上回っている。
- ・「まちづくり」に関する2つの項目を見ると、「④最寄り駅周辺のまちづくり」では満足度が5割弱に達している。「⑤街並み景観の整備」でも満足度が不満度より高いが、3割程度である。
- ・「産業」に関する項目である「⑥商店街や企業の振興」については、満足度と不満度が共に2割台でほぼ拮抗しているが、やや満足度の方が高い。
- ・「環境」に関する項目では、「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」では満足度が3割で不満度が2割、「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」は、満足度が4割台半ばで不満度が2割となっている。
- ・「防犯・防災」に関する「⑨災害対策」「⑩防犯対策」の2項目では、ともに不満度が2割強で、満足度をやや上回っている。
- ・「教育・福祉・医療」に関する6項目については、「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の2項目で満足度が3割台となり、不満度を上回っている。一方、「⑪保育など子育て支援」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑮高齢者福祉」の3項目では不満度が2割弱で、満足度を上回っている。「⑯障がい者福祉」については満足度・不満度がほぼ拮抗している。
- ・「行政」に関する3つの項目では、それぞれ満足度が「⑰身近な行政窓口・相談サービス」は3割弱、「⑱区民利用施設の充実」で約2割、「⑲広報・広聴など区政への市民参加の推進」は1割強で、いずれも不満度より高くなっている。
- ・「⑳以上を総合して、生活環境全般の満足度」については、満足度が36.7%、不満度が15.2%と、満足度が不満度を大きく上回っている。

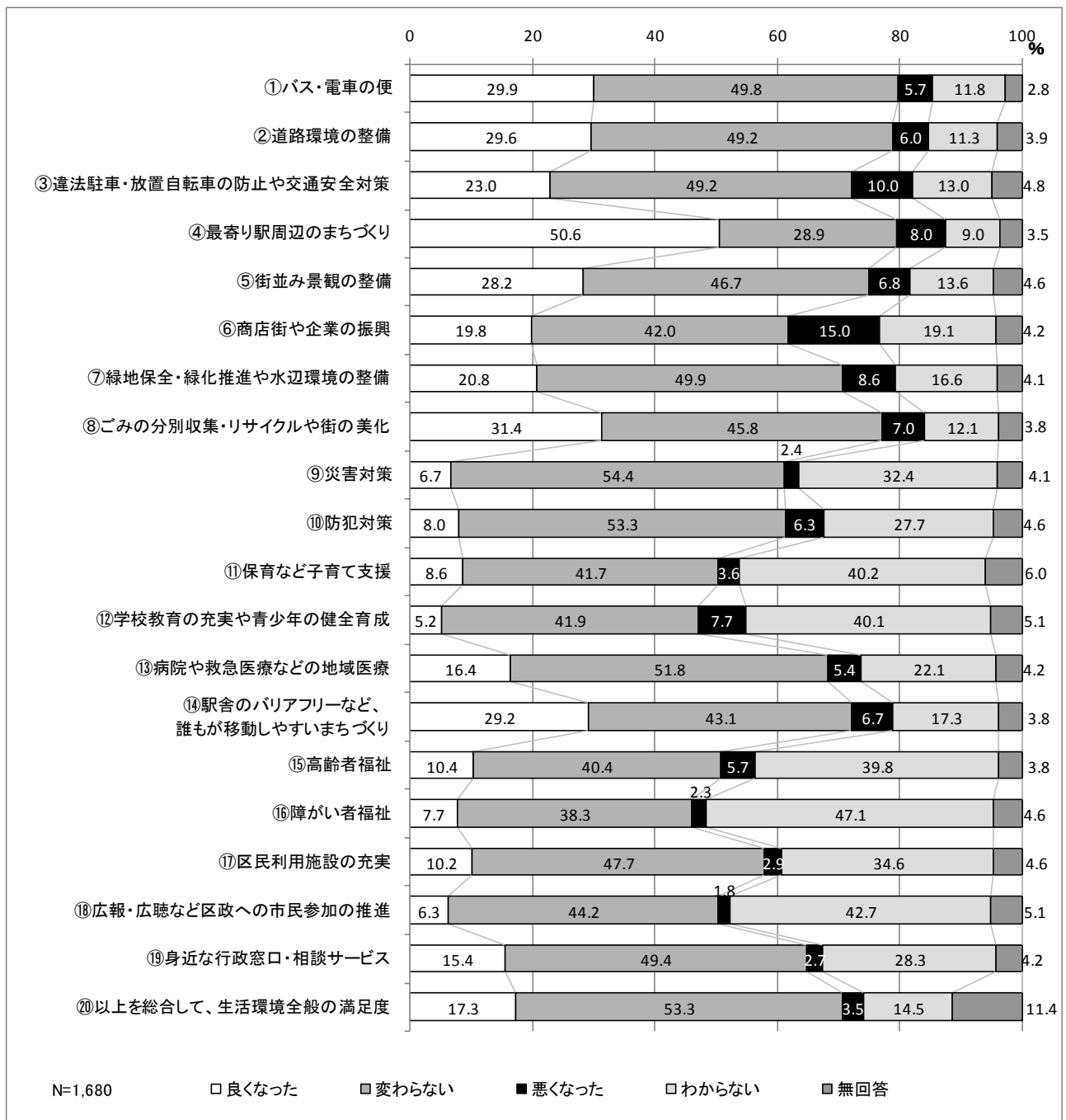
図 生活環境全般に対する満足度



【3】また、以前に比べてどのように変化していると思いますか。

- ・「道路・交通」に関する3つの項目では、いずれも「変わらない」が5割弱で最も多くなっているが、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」では約3割、「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」でも全体の4分の1弱が「良くなった」としている。
- ・「まちづくり」に関する2つの項目では、「④最寄り駅周辺のまちづくり」で「良くなった」が5割を超える高い数値となっており、全項を通して「良くなった」が最も多いのは「④最寄り駅周辺のまちづくり」のみである。「⑤街並み景観の整備」では「変わらない」が最も多く5割弱、ついで「良くなった」が3割弱となっている。
- ・「産業」に関する項目である「⑥商店街や企業の振興」については、「変わらない」が5割弱で最も多い。次いで「良くなった」「わからない」「悪くなった」の順となっている。
- ・「環境」に関する2つの項目では、共に「変わらない」が5割弱を占め最も多く、ついで「良くなった」が2～3割となっている。
- ・「防犯・防災」に関する2つの項目は、「⑨災害対策」「⑩防犯対策」とともに「変わらない」が5割前後を占め最も多く、次いで「わからない」が3割前後を占める。
- ・「教育・福祉・医療」に関する6項目では、「⑬障がい者福祉」のみ「わからない」が5割弱で最も多く、それ以外の項目では「変わらない」が4～5割で最も多くなっている。なお「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」については「良くなった」の数値が3割近くに達している。
- ・「行政」に関する3つの項目では、いずれも「変わらない」が共に4割台で最も多く、次いで「わからない」「良くなった」「悪くなった」の順となっている。
- ・「⑳以上を総合して、生活環境全般の変化」については、「変わらない」が53.3%で全体の半分強を占める。次いで「良くなった」17.3%、「わからない」14.5%、「悪くなった」3.5%の順である。

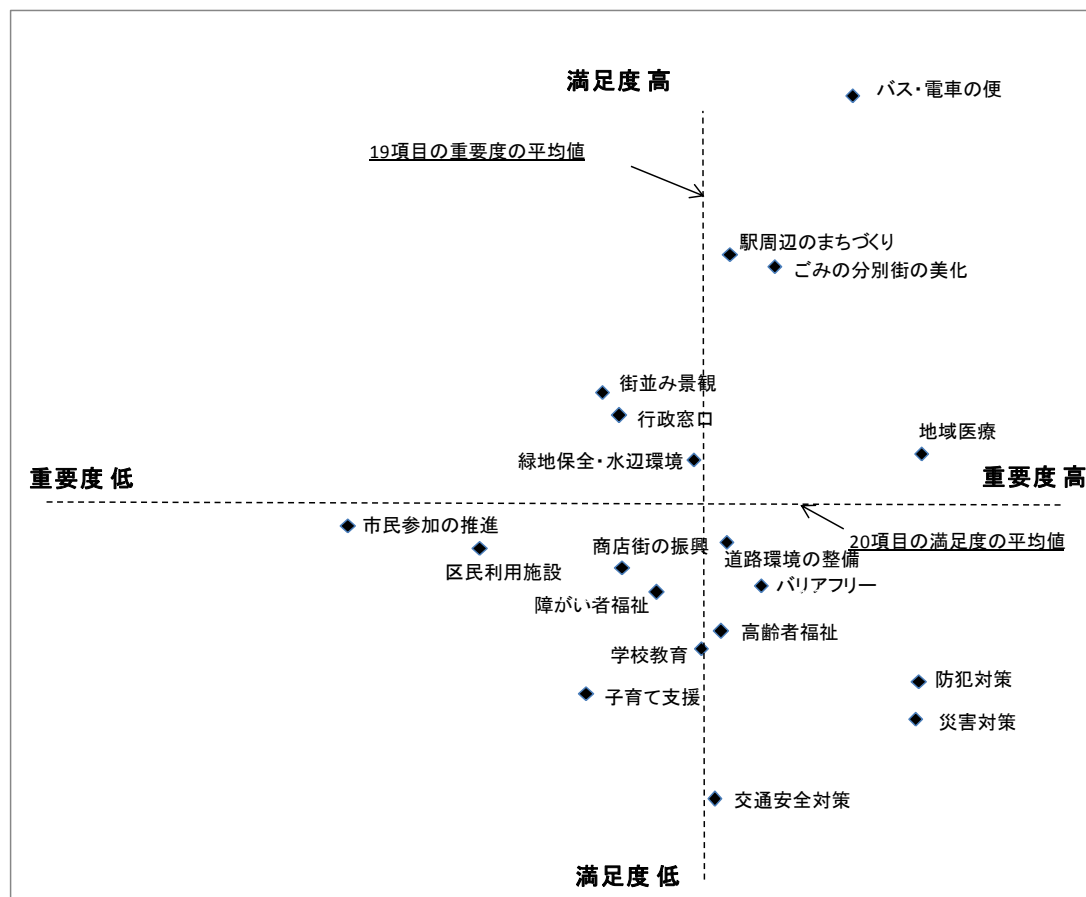
図 以前との比較



項目の重要度と満足度の関係

- ・ 戸塚区民の 19 項目の指標に関する重要度と満足度を、全 19 項目の平均値(満足度については全 20 項目の平均値)を中心にその分布を見たものが下図である(満足・重要+2 点、やや満足・やや重要+1 点、やや不満・あまり重要ではない-1 点、不満・重要ではない-2 点として項目ごとに重要度、満足度の得点を算出し、重要度、満足度の全項目の平均値を軸に指標間の比較をしたものである)。
- ・ グラフ右上のブロックは、重要度も満足度もそれぞれ全項目の平均より高かった項目、すなわち、満足はしているがさらに向上が必要とされている項目で、「①バス、電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の 4 指標であった。
- ・ グラフ右下のブロックは、満足度は比較的低く重要度の比較的高い項目、すなわち、不満に感じていて向上が期待されている項目で、「②道路環境の整備」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「⑮高齢者福祉」「⑩防犯対策」「⑨災害対策」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の 6 指標であった。
- ・ グラフ左上のブロックは、満足度は平均より高いが重要度は平均より低かった項目、すなわち、比較的満足しており向上を図る必要性は他の項目よりも低いとされている項目で、「⑤街並み景観の整備」「⑯身近な行政窓口・相談サービス」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」の 3 指標であった。
- ・ グラフ左下のブロックは、満足度は比較的低く、重要度も比較的低かった項目、すなわち、満足はしていないが、向上がそれほど期待されていない項目で、「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑰区民利用施設の充実」「⑥商店街や企業の振興」「⑫障がい者福祉」「⑫学校教育の充実や青少年の健全育成」「⑪保育など子育て支援」の 6 指標であった。

図 施策の重要度【1】と満足度【2】



■ 男女・年齢層別 項目の重要度と満足度の関係

<男女別>

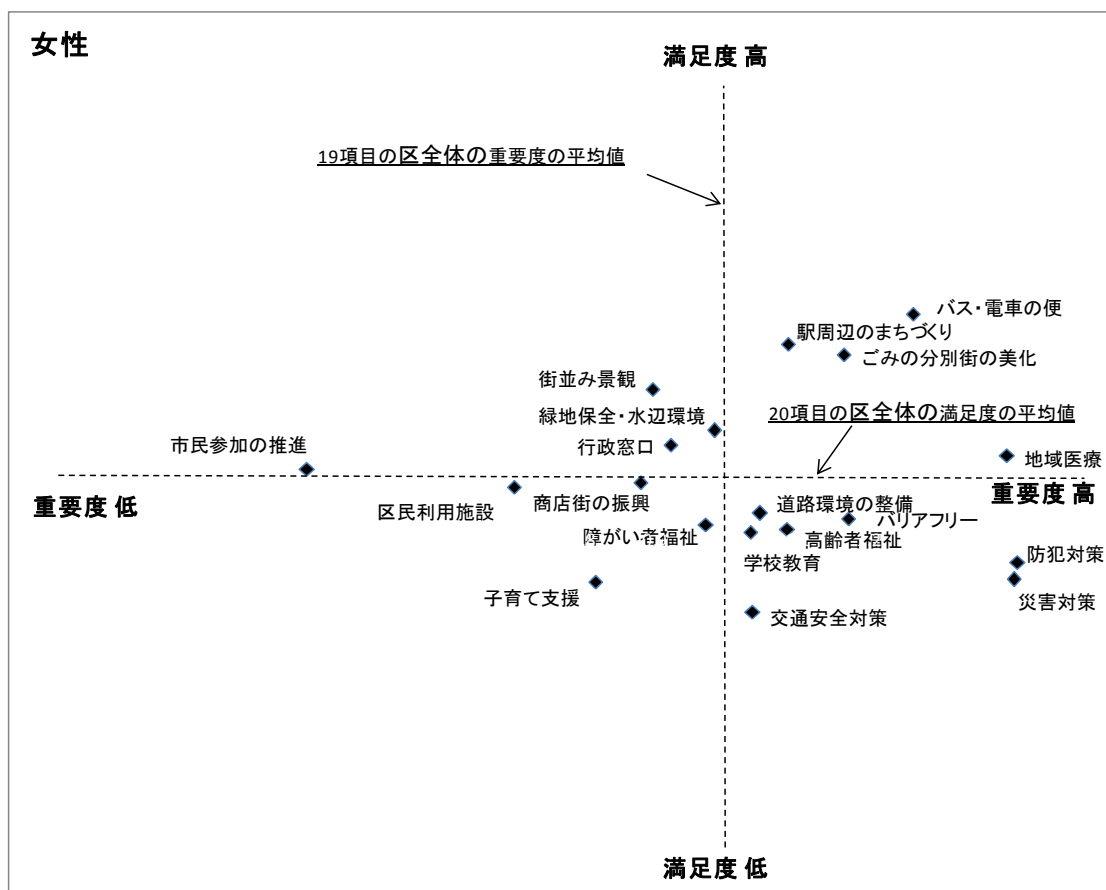
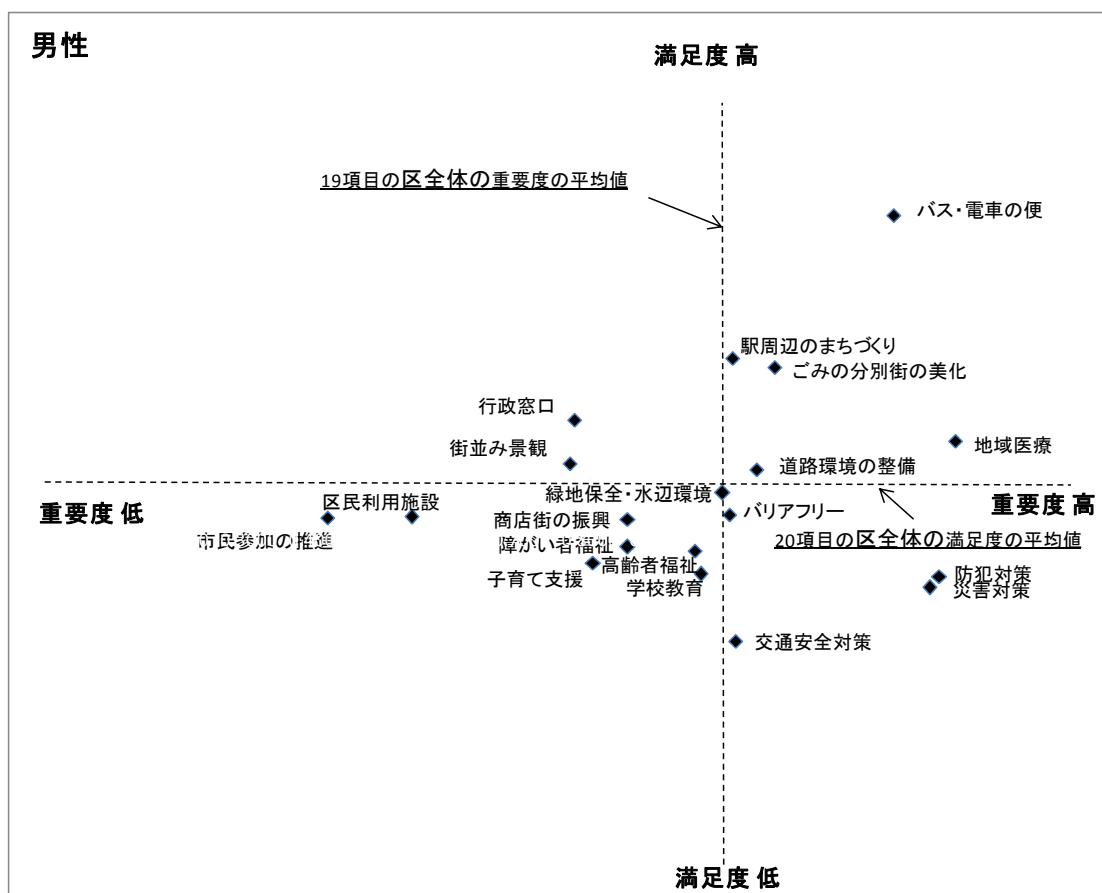
- ・ 「**男性**」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の5項目である。特に、「①バス・電車の便」の満足度は非常に高くなっている。
- ・ 「**女性**」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の4項目である。

<年齢層別>

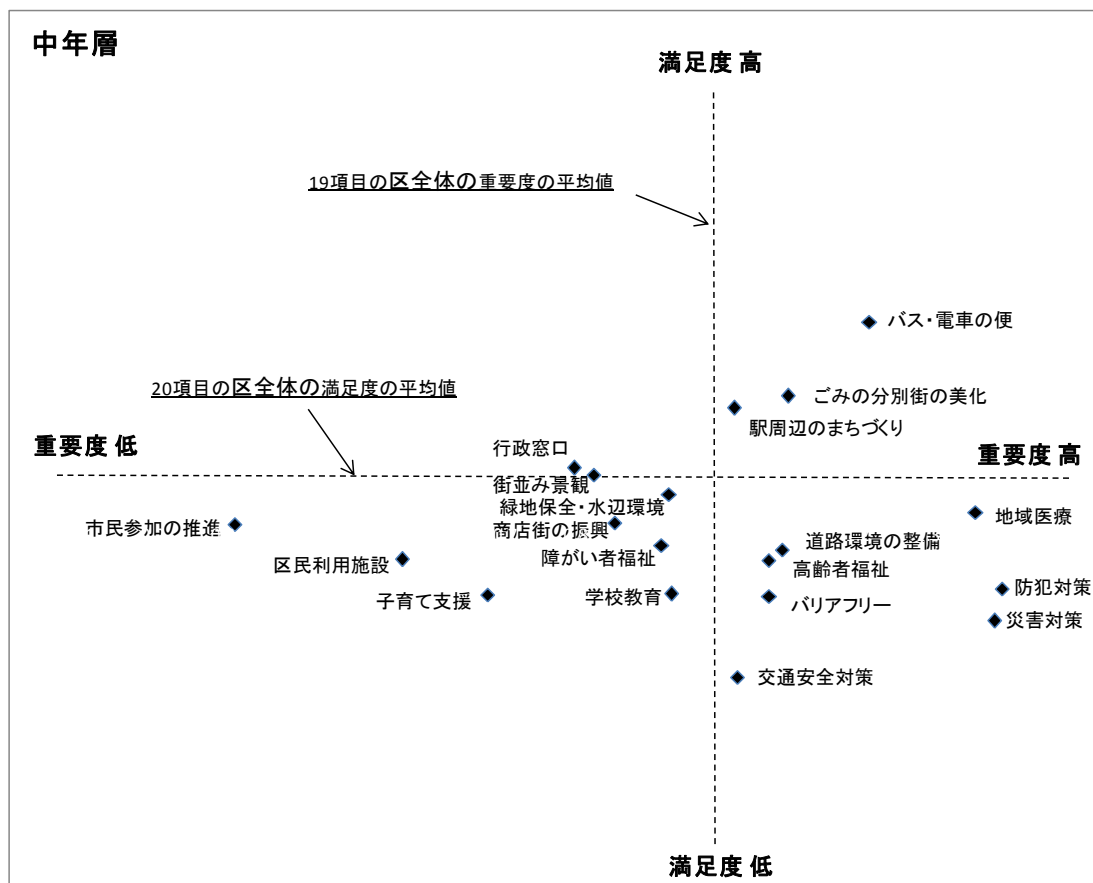
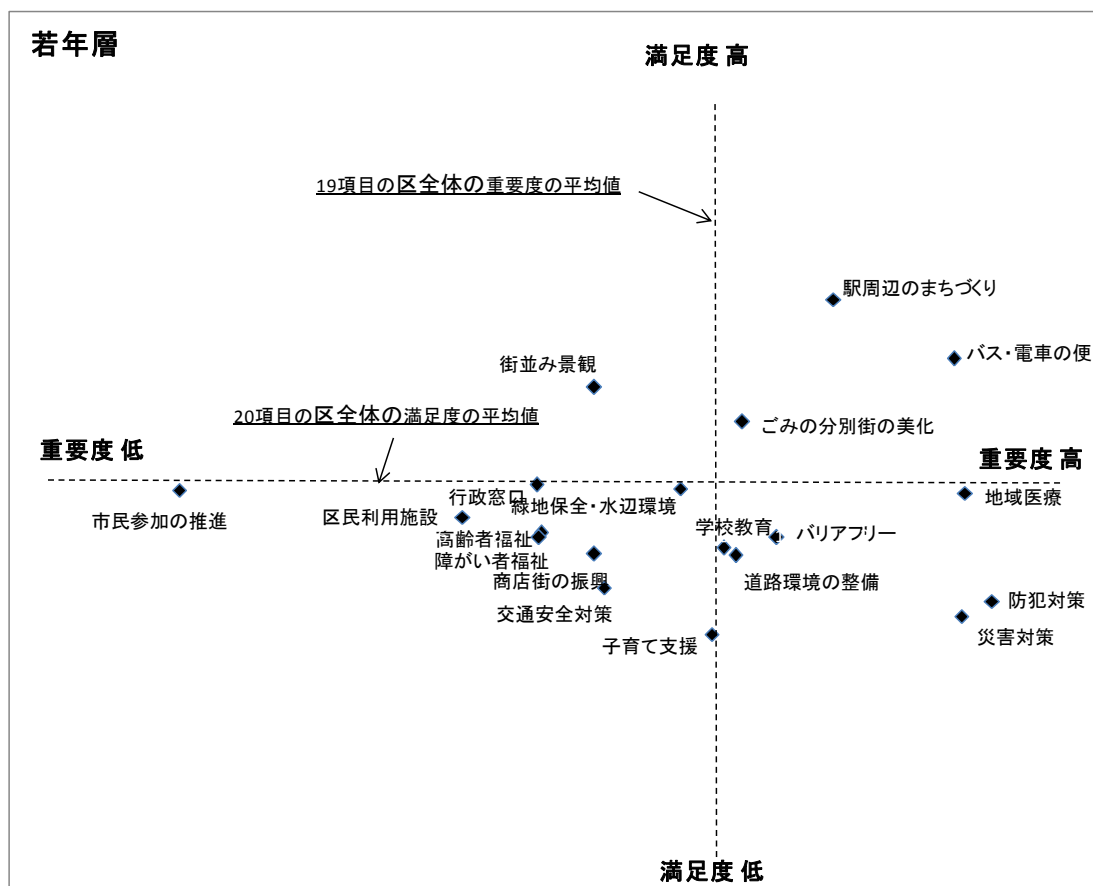
- ・ 「**若年層（40歳未満）**」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の3項目である。
- ・ 「**中年層（40歳以上 60歳未満）**」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の3項目である。
- ・ 「**高年層（60歳以上）**」では、重要度も満足度も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の6項目である。「①バス・電車の便」の満足度が非常に高いほか、満足度も重要度も区全体の平均値を下回っているのは「⑩保育など子育て支援」のみで、全体として他の属性に比べて満足度・重要度ともに高い位置に分布している。

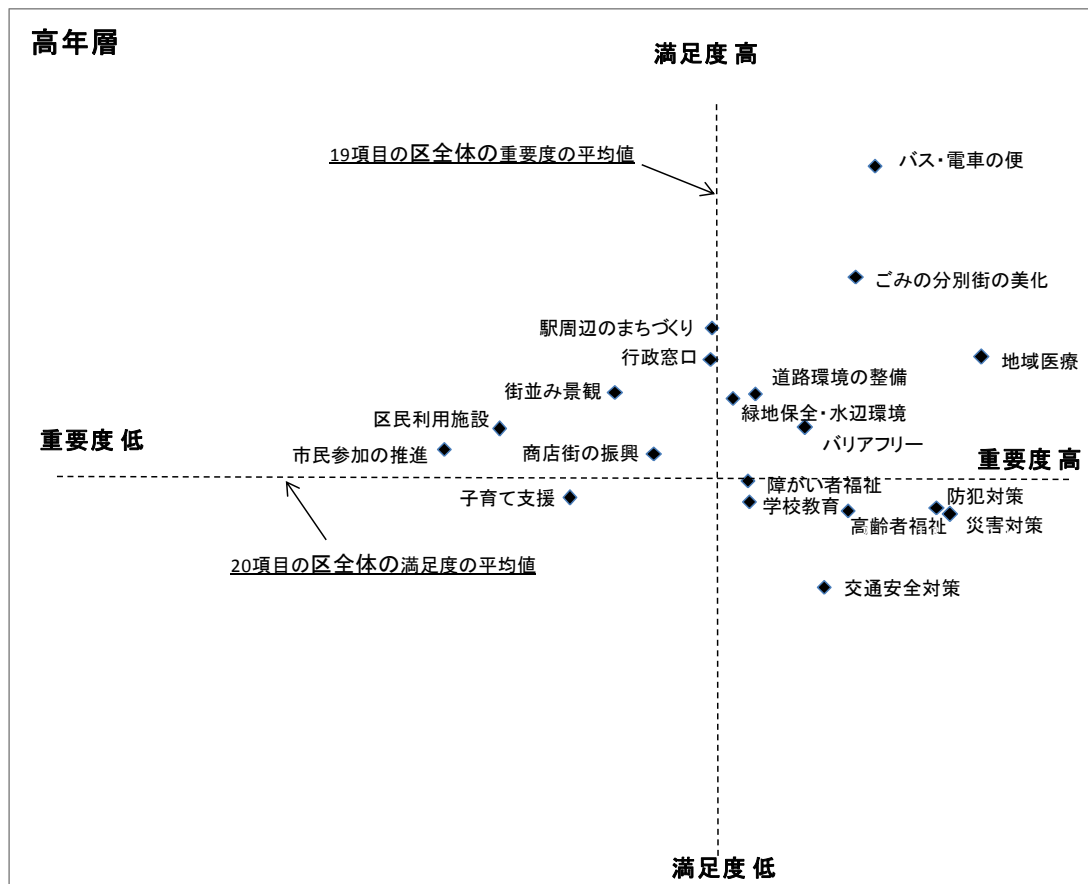
図 男女・年齢層別 項目の重要度と満足度の関係

< 男女別 >



< 年齢層別 >

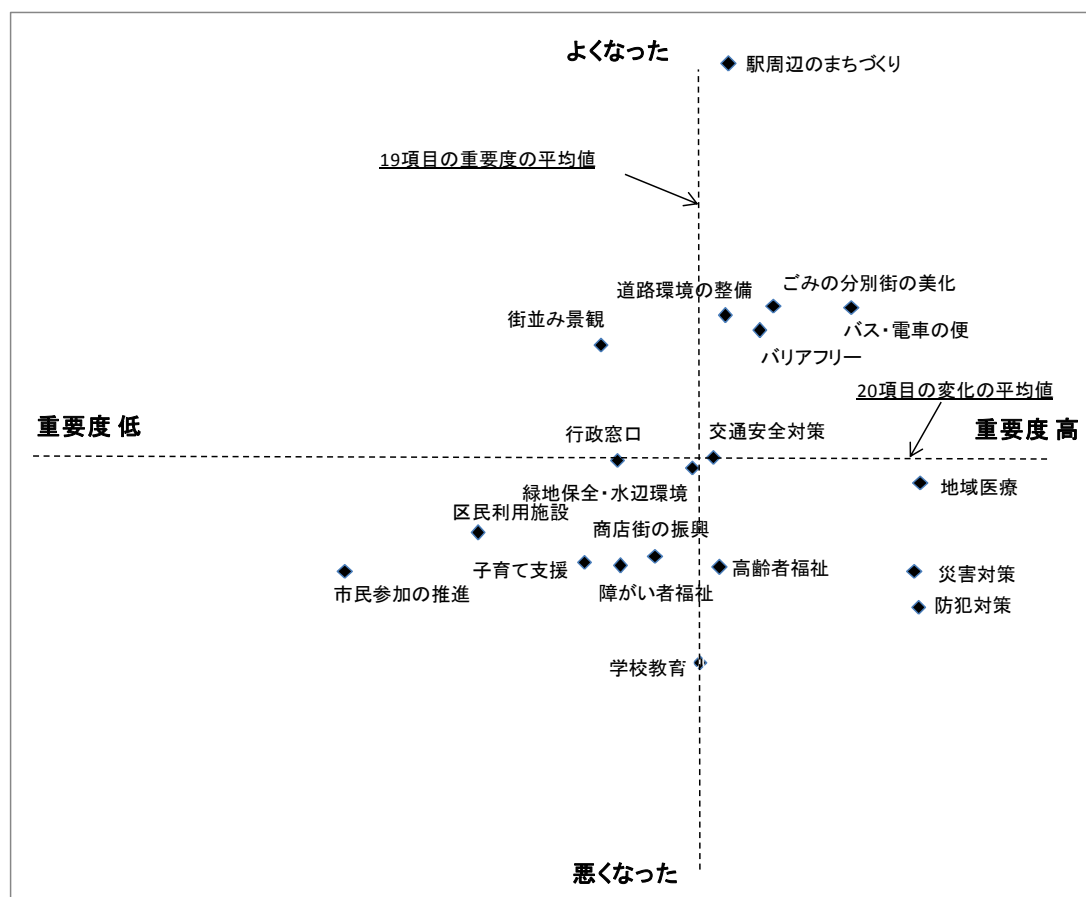




項目の重要度と以前に比べた変化との関係

- ・ 戸塚区民の19項目の指標に関する重要度と以前に比べた変化を、全19項目の平均値（変化については全20項目の平均値）を中心にその分布を見たものが下図である（重要+2点、やや重要+1点、あまり重要ではない-1点、重要ではない-2点、また、良くなった+1点、悪くなった-1点として項目ごとに重要度、変化の得点を算出し、重要度、変化の全項目の平均値を軸に指標間の比較をしたものである）。
- ・ 重要度も変化の数値もそれぞれ全項目の平均より高かった項目、すなわち、比較的向上が期待されており、経過も良いとされている項目は、「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「①バス、電車の便」「②道路環境の整備」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の6指標であった。
- ・ 変化の数値は比較的低く、重要度の比較的高い項目、すなわち、向上が期待されているにもかかわらず状況があまり好転していない項目は「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑮高齢者福祉」「⑨災害対策」「⑩防犯対策」の4項目であった。
- ・ 変化の数値は平均より高いが、重要度は平均より低かった項目、すなわち、状況が好転しているが、向上を図る必要性は他の項目よりも低いとされている項目は、「⑤街並み景観の整備」のみであった。
- ・ 変化の数値は比較的低く、重要度も比較的低かった項目、すなわち、状況は好転していないが、向上がそれほど期待されていない項目は、「⑯身近な行政窓口・相談サービス」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑰区民利用施設の充実」「⑥商店街や企業の振興」「⑪保育など子育て支援」「⑫障がい者福祉」「⑱広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑬学校教育の充実や青少年の健全育成」の8項目であった。

図 施策の重要度【1】と以前に比べた変化【3】



■ 男女・年齢層別 重要度と以前に比べた変化との関係

<男女別>

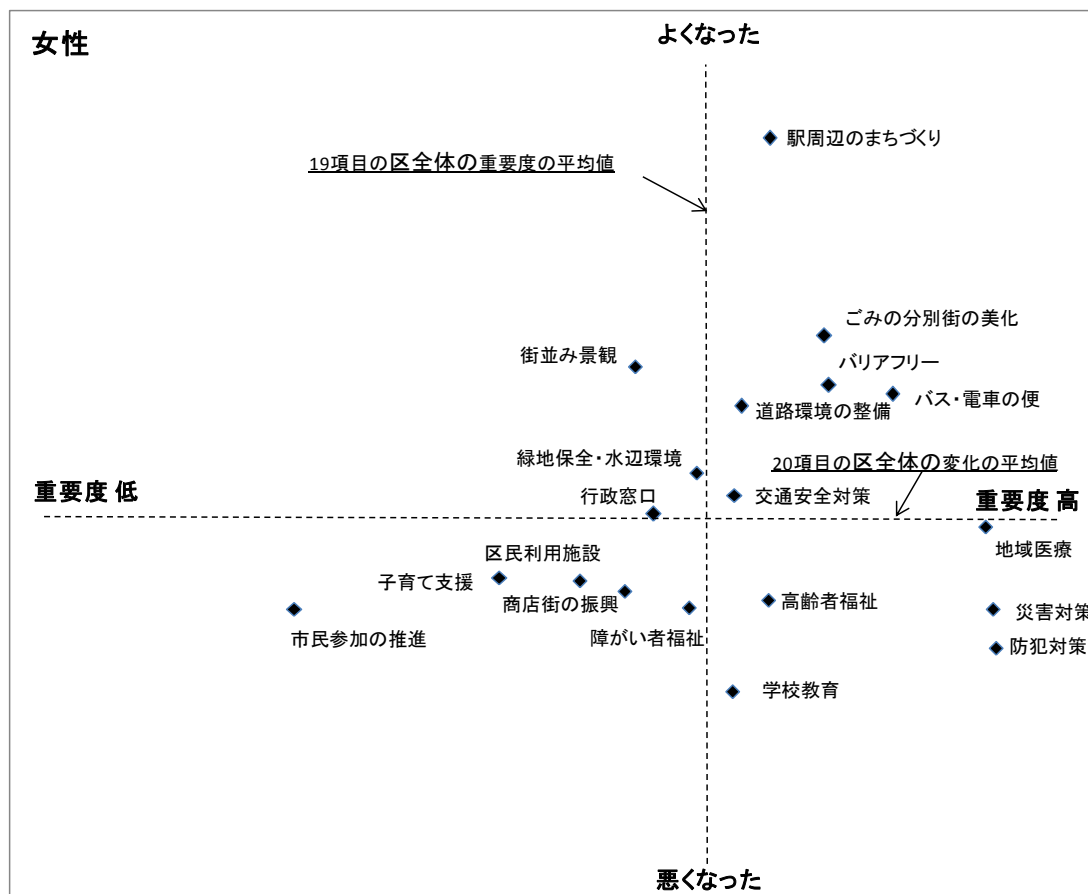
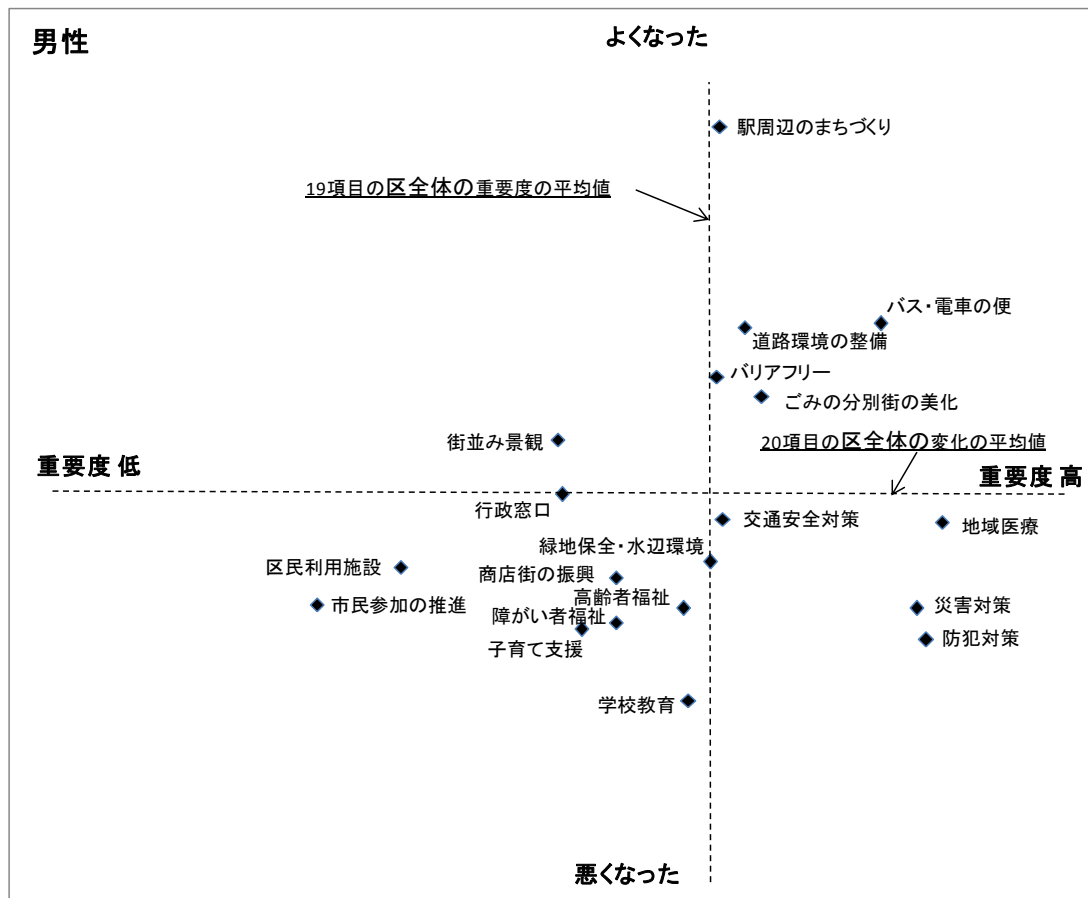
- ・ 「**男性**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の5項目である。なお、一部属性を除いて共通の傾向として、「④最寄り駅周辺のまちづくり」で変化の数値が概ね高くなっている。
- ・ 「**女性**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の6項目である。

<年齢層別>

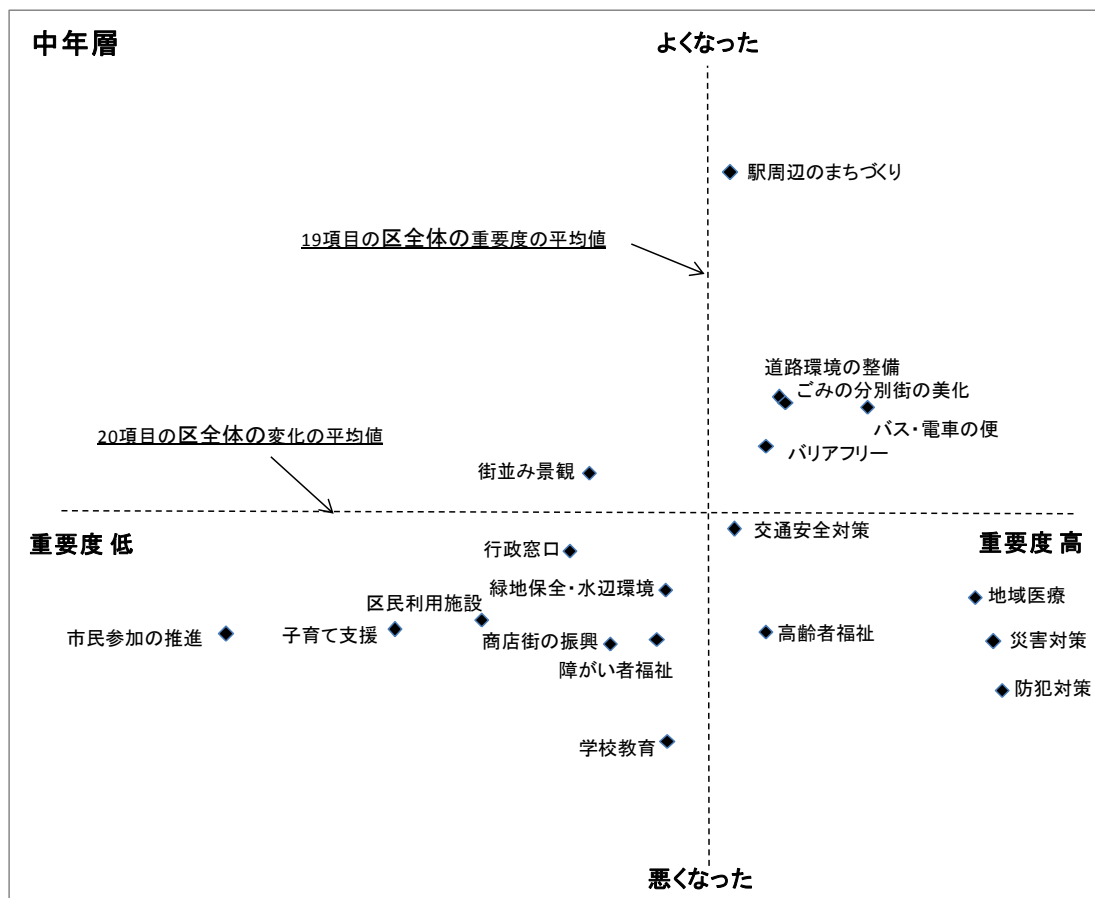
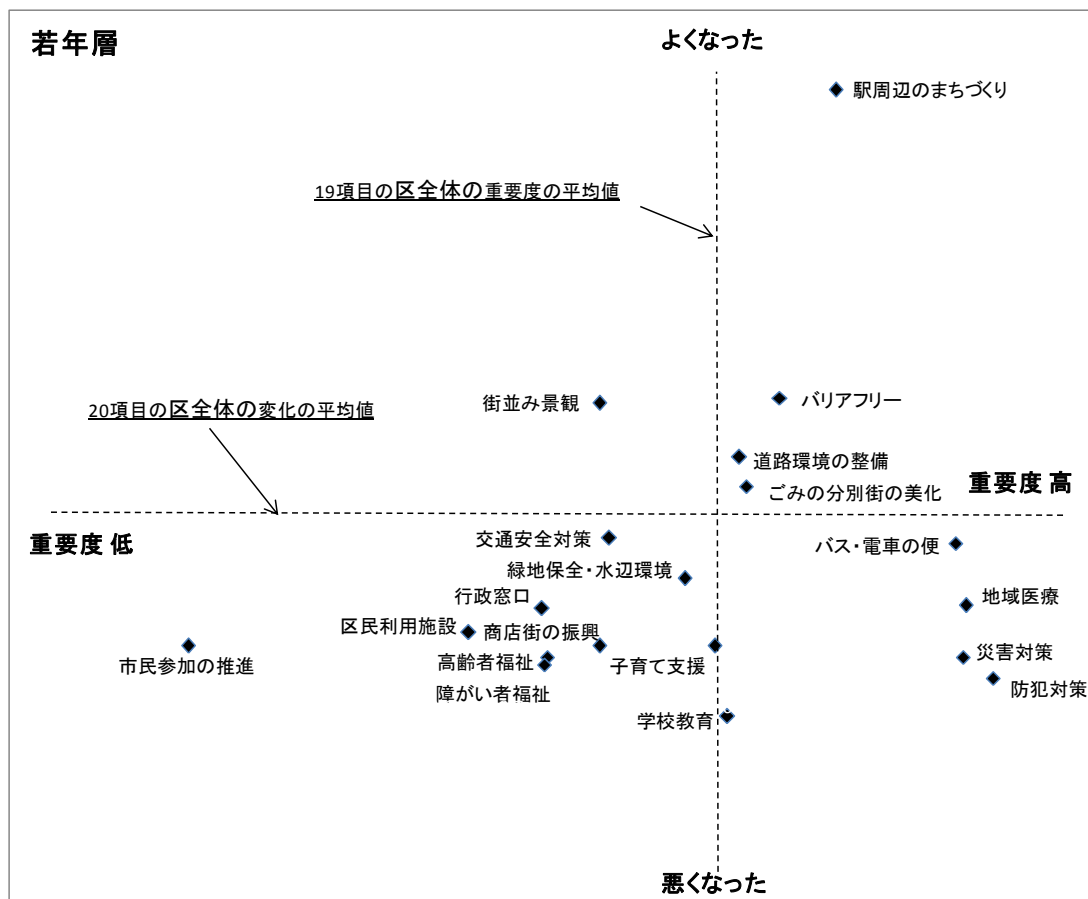
- ・ 「**若年層(40歳未満)**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の4項目である。「①バス・電車の便」について、変化の数値が他世代に比べて低くなっている。
- ・ 「**中年層(40歳以上 60歳未満)**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の5項目である。
- ・ 「**高年層(60歳以上)**」では、重要度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」の7項目である。他年齢層に比べて「①バス・電車の便」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の変化の数値が高い。

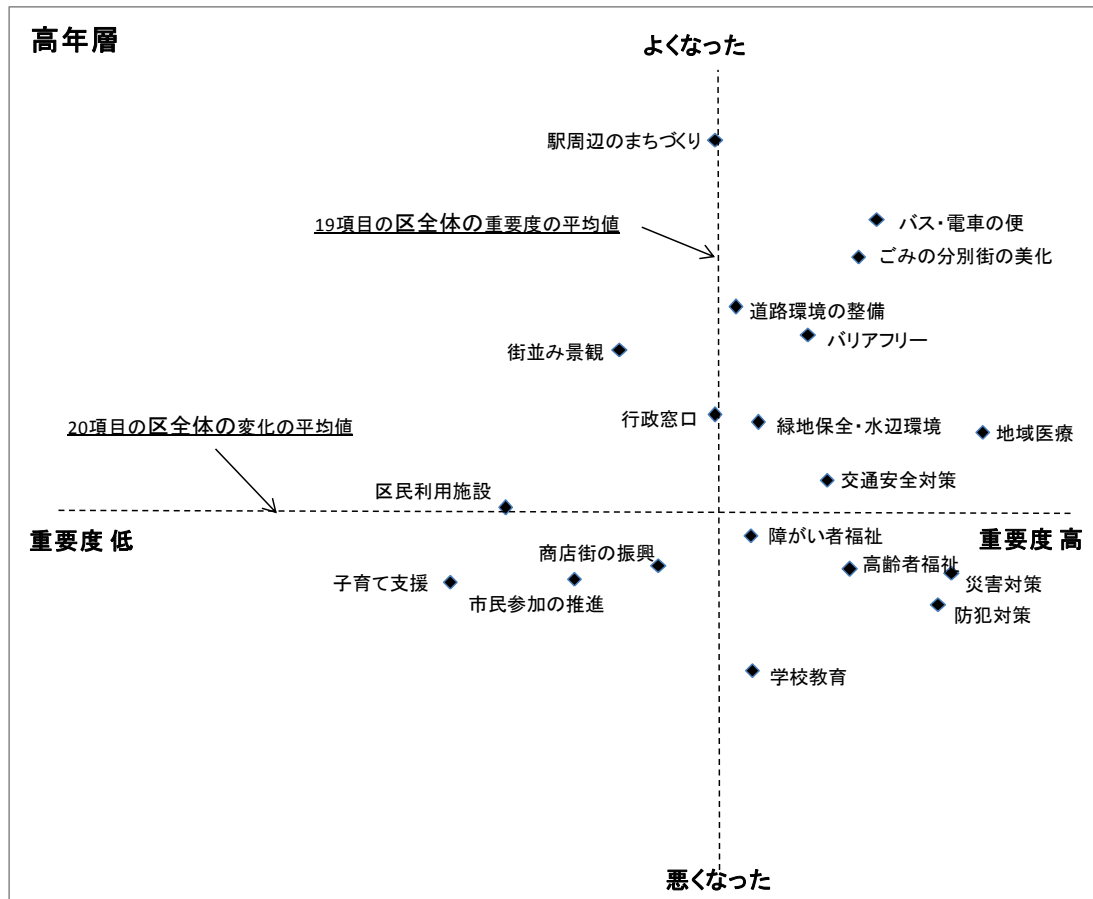
図 男女・年齢層別 項目の重要度と変化の関係

< 男女別 >



<年齢層別>

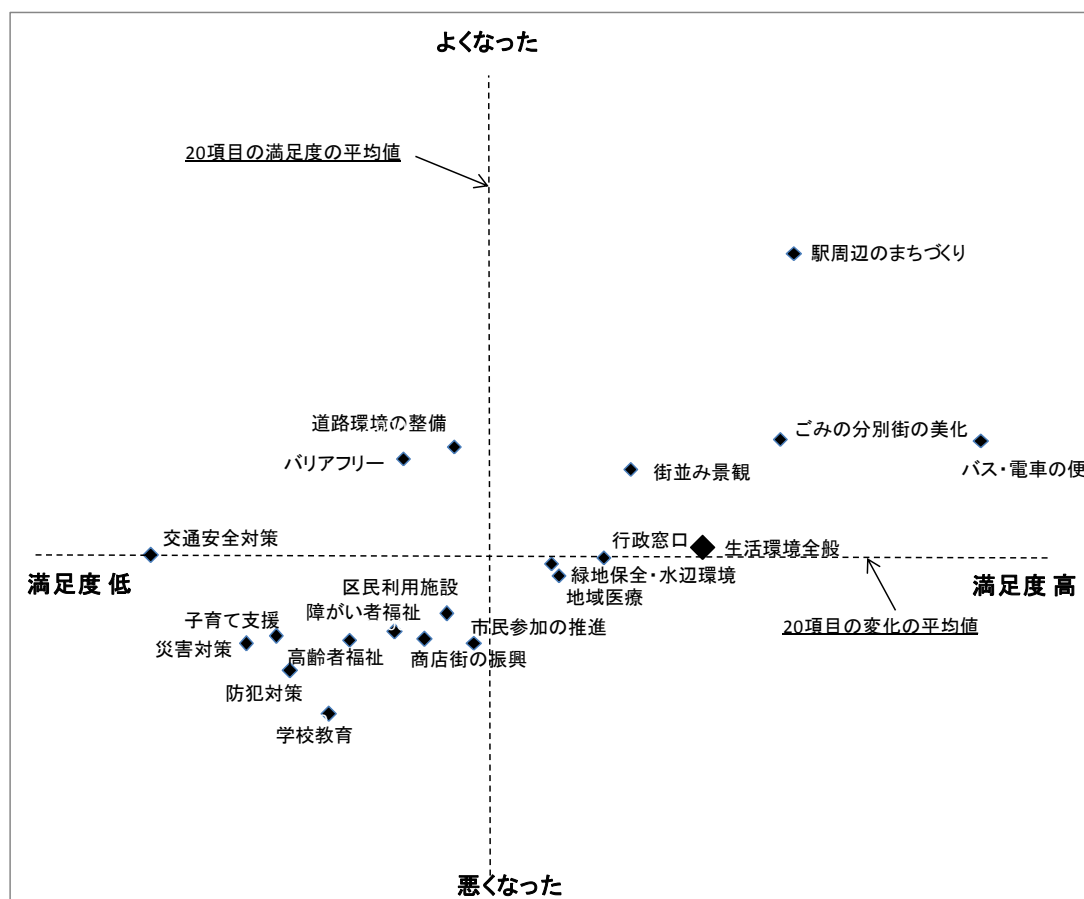




項目の満足度と以前に比べた変化との関係

- ・戸塚区民の20項目の指標に関する満足度と以前に比べた変化を、全20項目の平均値を中心のその分布を見たものが下図である（満足+2点、やや満足+1点、やや不満-1点、不満-2点、また、良くなった+1点、悪くなった-1点として項目ごとに満足度、変化の得点を算出し、満足度、変化の全項目の平均値を軸に指標間の比較をしたものである）。
- ・満足度も変化の数値もそれぞれ全項目の平均より高かった項目、すなわち、比較的満足しており、経過も良いとされている項目は、「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「①バス、電車の便」「⑤街並み景観の整備」の4指標であった。なお、「②⑩生活環境全般」についてもここにあてはまる。
- ・変化の数値は比較的高く、満足度の比較的高い項目、すなわち、比較的満足しているが、状況はあまり好転していない項目は「⑨身近な行政窓口・相談サービス」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑬病院や救急医療などの地域医療」の3項目であった。
- ・変化の数値は平均より高いが、満足度は平均より低かった項目、すなわち、状況が好転しているが、まだ不満に感じている項目は、「②道路環境の整備」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」の3項目であった。
- ・変化の数値は比較的高く、満足度も比較的低かった項目、すなわち、まだ満足していないが、状況も好転していない項目は、「⑪区民利用施設の充実」「⑥商店街や企業の振興」「⑨災害対策」「⑪保育など子育て支援」「⑫障がい者福祉」「⑮高齢者福祉」「⑮広報・広聴など区政への市民参加の推進」「⑩防犯対策」「⑬学校教育の充実や青少年の健全育成」の9項目であった。

図 施策の満足度【2】と以前に比べた変化【3】



■ 男女・年齢層別 項目の満足度と以前に比べた変化との関係

<男女別>

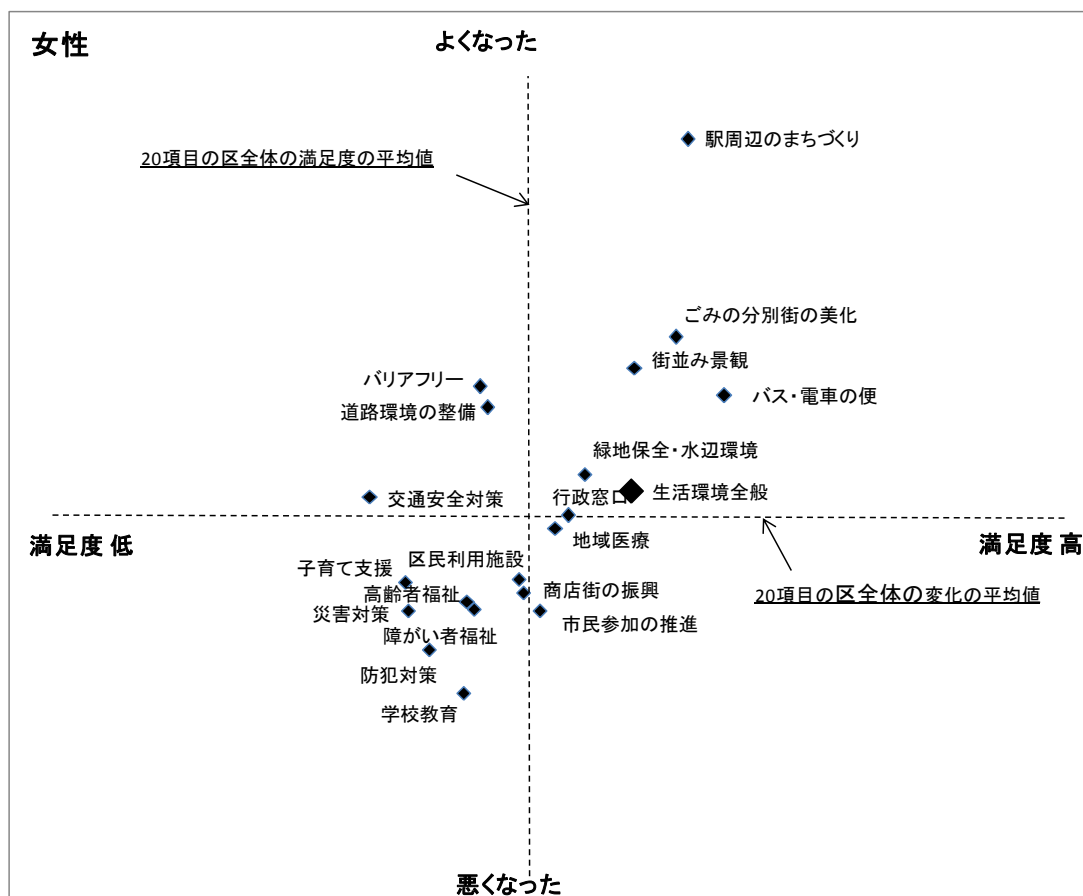
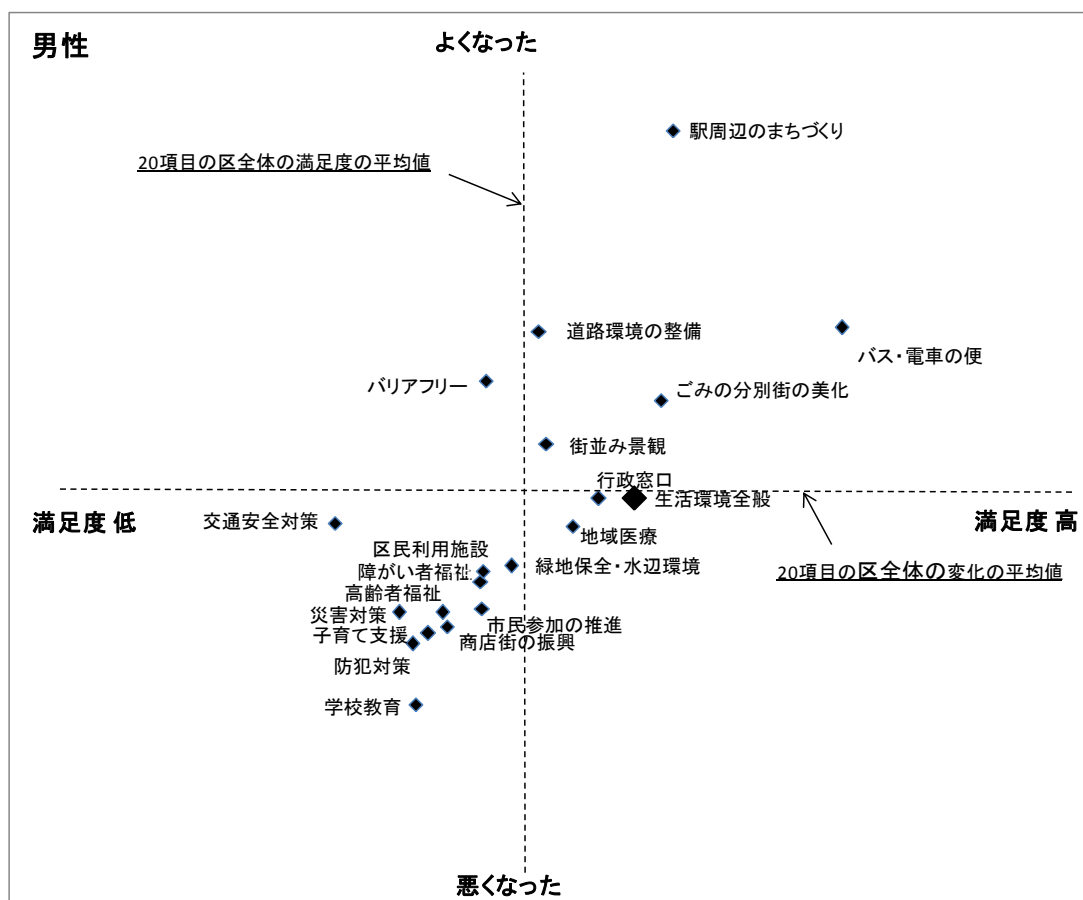
- ・ 「**男性**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の5項目である。
- ・ 「**女性**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑨身近な行政窓口・相談サービス」の6項目である。

<年齢層別>

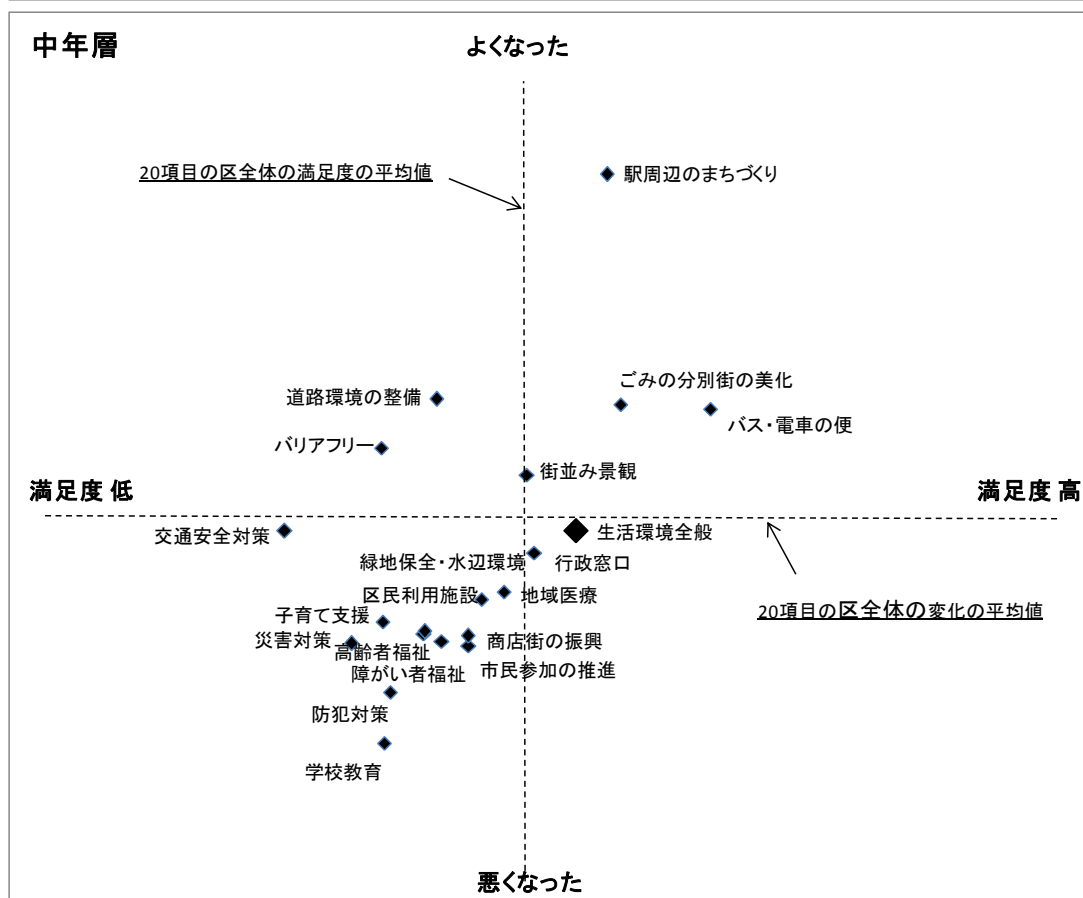
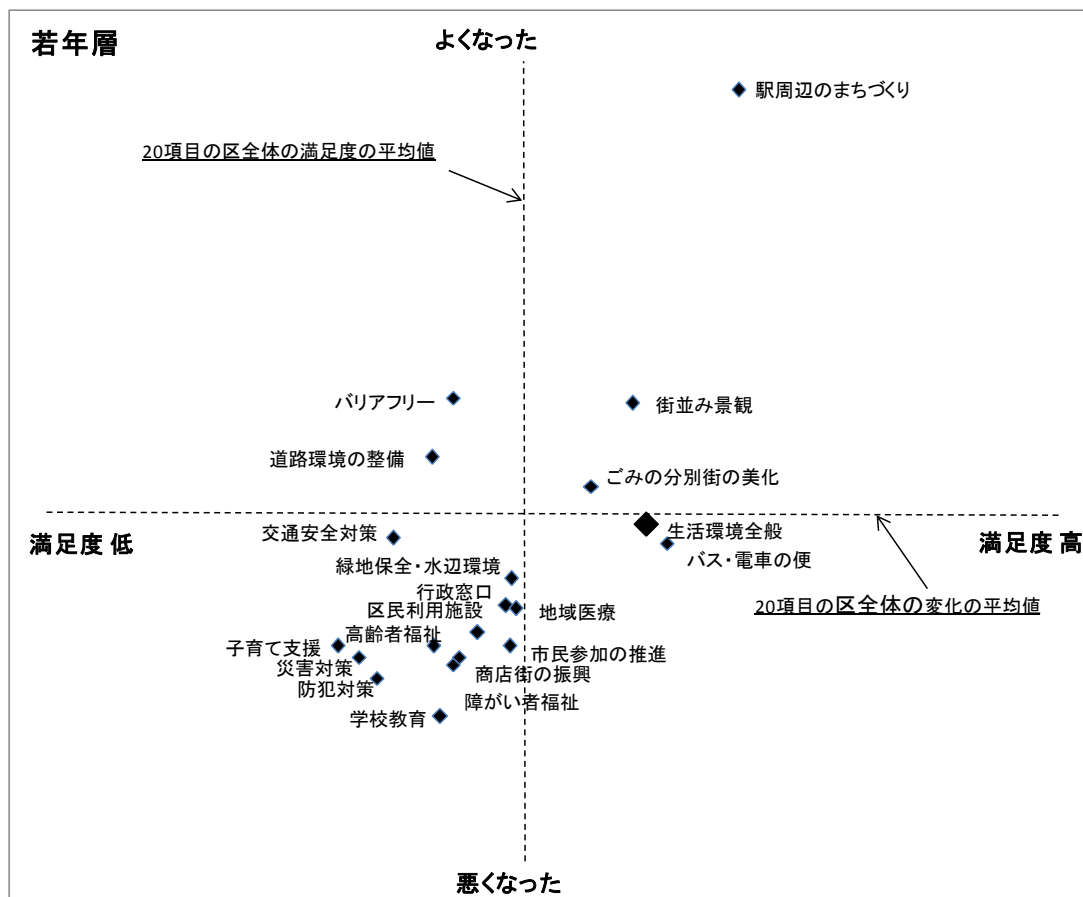
- ・ 「**若年層(40歳未満)**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の3項目のみである。特に「④最寄り駅周辺のまちづくり」は、満足度も変化の数値も高くなっている。また、満足度も変化の数値も区全体の平均値に達していない項目が13項目に及び、若年層では全体的に満足度も変化の数値も低く分布している。
- ・ 「**中年層(40歳以上 60歳未満)**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」の4項目である。
- ・ 「**高年層(60歳以上)**」では、満足度も変化の数値も区全体の平均値より高かった項目は、「①バス・電車の便」「②道路環境の整備」「④最寄り駅周辺のまちづくり」「⑤街並み景観の整備」「⑦緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」「⑬病院や救急医療などの地域医療」「⑭駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」「⑰区民利用施設の充実」「⑨身近な行政窓口・相談サービス」の10項目で、他世代に比べて満足度・変化共に高い位置に分布している。

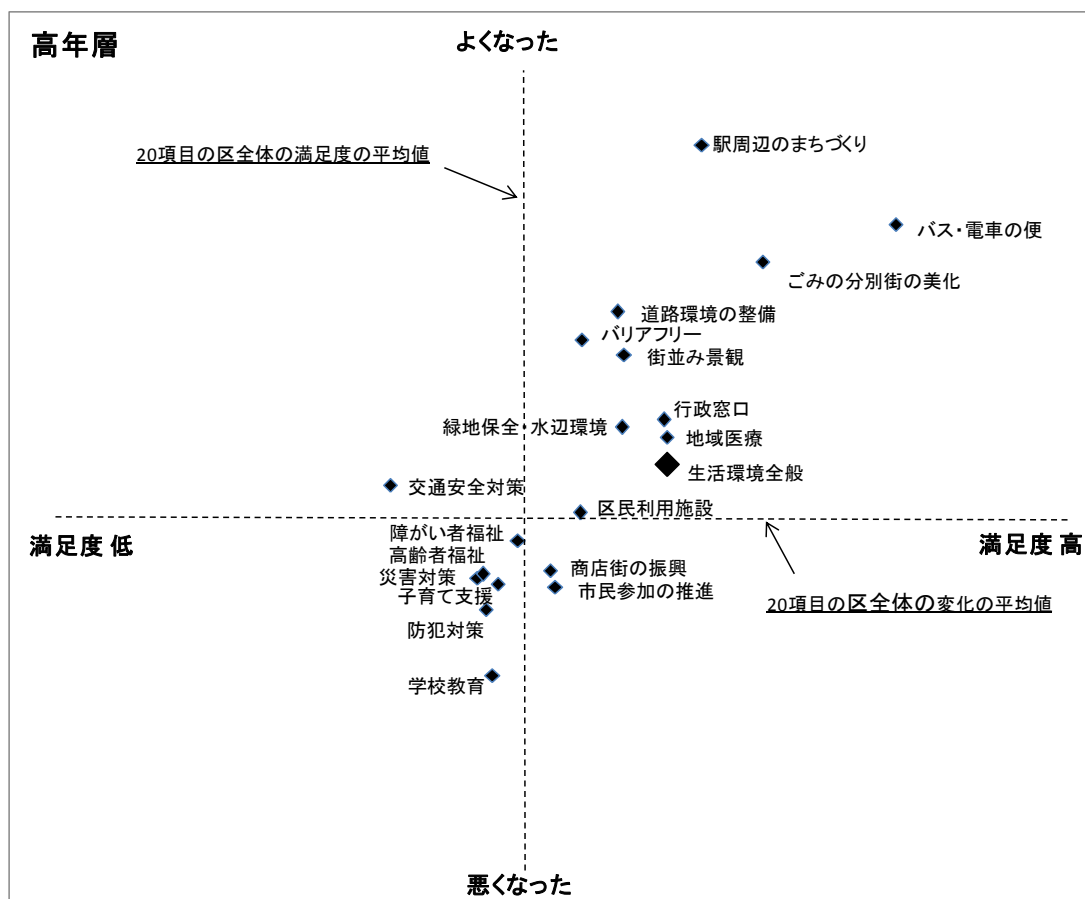
図 男女・年齢層別 項目の満足度と変化の関係

< 男女別 >



<年齢層別>



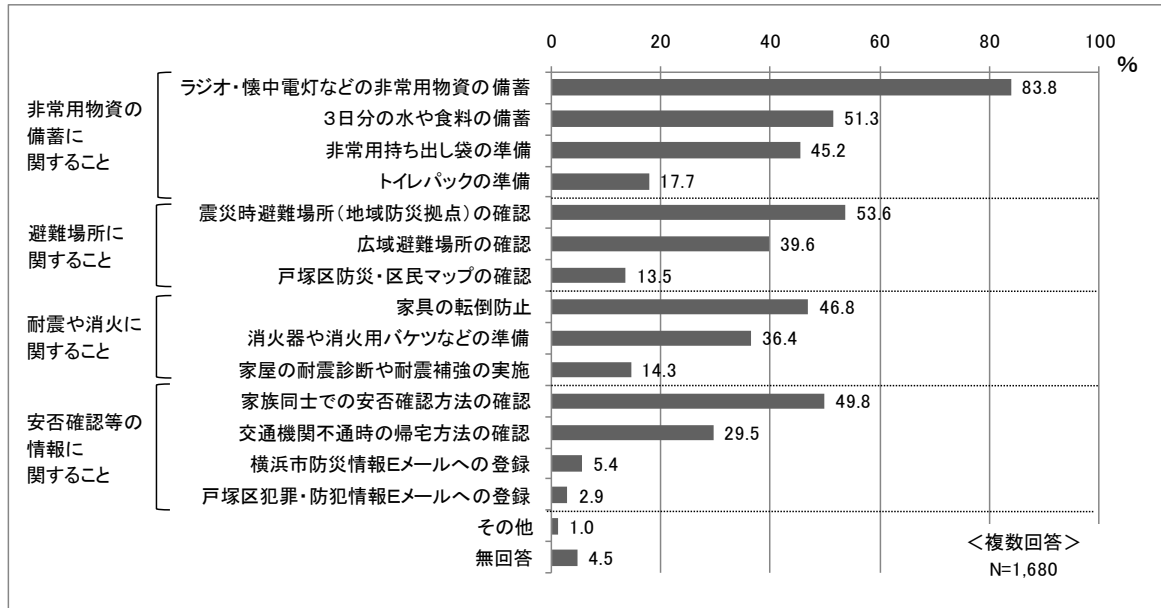


2. 地震への備えについて

問2 地震に備えて、家庭で普段から備えていることはなんですか。（〇はいくつでも）

- ・「ラジオ・懐中電灯などの非常用物資の備蓄」（83.8%）が最も多く8割以上の人が挙げており、突出している。次いで「震災時避難場所（地域防災拠点）の確認」の53.6%である。以下「3日分の水や食料の備蓄」（51.3%）、「家族同士での安否確認方法の確認」（49.8%）、「家具の転倒防止」（46.8%）、「非常用持ち出し袋の準備」（45.2%）の数値が高くなっている。

図 家庭で普段から行っている地震への備え



■ 年齢別 家庭で普段から行っている地震への備え（問2×問29）

- ・いずれも「ラジオ・懐中電灯などの非常用物資の備蓄」が最も多い。また学生が多い10代では「交通機関不通時の帰宅方法の確認」、70代では「3日分の水や食料の備蓄」、60代以上の高齢世代で「消火器や消火用バケツなどの準備」の数値が高くなっている。

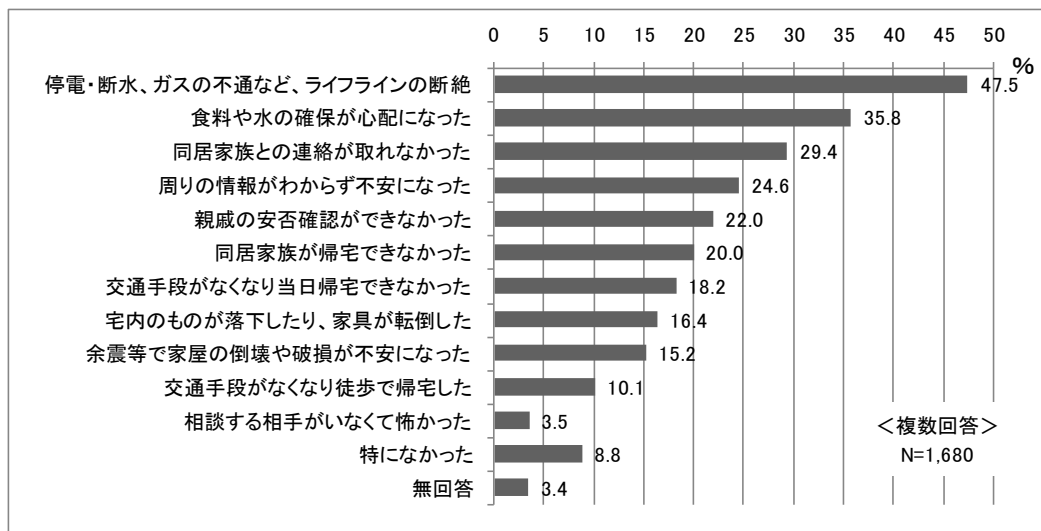
図 年齢別 家庭で普段から行っている地震への備え

		問2 地震に備えて家庭で普段から備えていること															
	合計	備蓄3日分の水や食料の	非常用物資・ラジオ・懐中電灯などの	非常用持ち出し袋の準備	トイレパックの準備	震災時避難場所（地域防災拠点）の確認	広域避難場所の確認	戸塚区防災・区民マップの確認	強家の耐震診断や耐震補強の実施	家具の転倒防止	ど消火器や消火用バケツなどの準備	法交通機関不通時の帰宅方法の確認	家族同士での安否確認方法の確認	横浜市の防災情報Eメールへの登録	戸塚区犯罪・防犯情報Eメールへの登録	その他	不明
全体	1680	51.3	83.8	45.2	17.7	53.6	39.6	13.5	14.3	46.8	36.4	29.5	49.8	5.4	2.9	1.0	4.5
問29-1 年齢																	
16～19歳	50	42.0	80.0	38.0	16.0	48.0	28.0	6.0	14.0	46.0	28.0	46.0	50.0	2.0	0.0	0.0	6.0
20～29歳	138	39.9	69.6	32.6	11.6	45.7	21.7	6.5	10.9	38.4	18.8	29.7	44.2	3.6	0.7	0.7	8.0
30～39歳	275	47.6	81.1	49.8	17.1	48.0	29.8	11.3	10.2	44.0	21.1	30.9	48.0	9.5	4.7	1.5	4.4
40～49歳	264	49.6	83.3	46.6	17.0	55.3	39.4	10.6	12.5	47.3	30.7	32.6	51.5	8.3	4.2	1.5	3.0
50～59歳	248	52.4	86.7	40.7	19.0	53.6	46.8	11.7	11.7	48.4	37.1	31.9	49.6	5.2	2.0	0.4	1.6
60～69歳	344	51.5	89.8	49.1	18.3	60.8	46.2	15.7	17.7	51.5	46.5	30.2	56.1	3.8	2.3	1.2	2.6
70～79歳	238	64.7	89.5	48.7	21.8	58.4	47.9	20.6	22.3	48.3	52.9	21.4	50.4	3.4	3.4	0.8	2.9
80歳以上	90	46.7	72.2	38.9	12.2	42.2	37.8	17.8	10.0	42.2	47.8	17.8	33.3	1.1	1.1	1.1	20.0
不明	33	63.6	78.8	45.5	24.2	48.5	39.4	24.2	18.2	45.5	33.3	30.3	48.5	6.1	3.0	0.0	12.1

問3 今回の大震災当日（3月11日）、困ったことはありませんでしたか。（〇はいくつでも）

- ・最も多かったのは「停電・断水、ガスの不通など、ライフラインの断絶」の47.5%で、半数近くの人が挙げている。次いで「食料や水の確保が心配になった」が35.8%で続く。以下「同居家族との連絡が取れなかった」（29.4%）、「周りの情報がわからず不安になった」（24.6%）、「親戚の安否確認ができなかった」（22.0%）、「同居家族が帰宅できなかった」（20.0%）について2割以上の人が挙げている。

図 東日本大震災当日（3月11日）、困ったこと（複数回答）



■ 年齢別 東日本大震災当日（3月11日）、困ったこと（問3×問29）

- ・20代で「食料や水の確保が心配になった」が最も多く、30代でもやや高くなっている。それ以外の世代では「停電・断水、ガスの不通など、ライフラインの断絶」が最も多い。10代では「同居家族との連絡が取れなかった」、50代では「同居家族が帰宅できなかった」、80代以上で「特になかった」の数値が高くなっている。

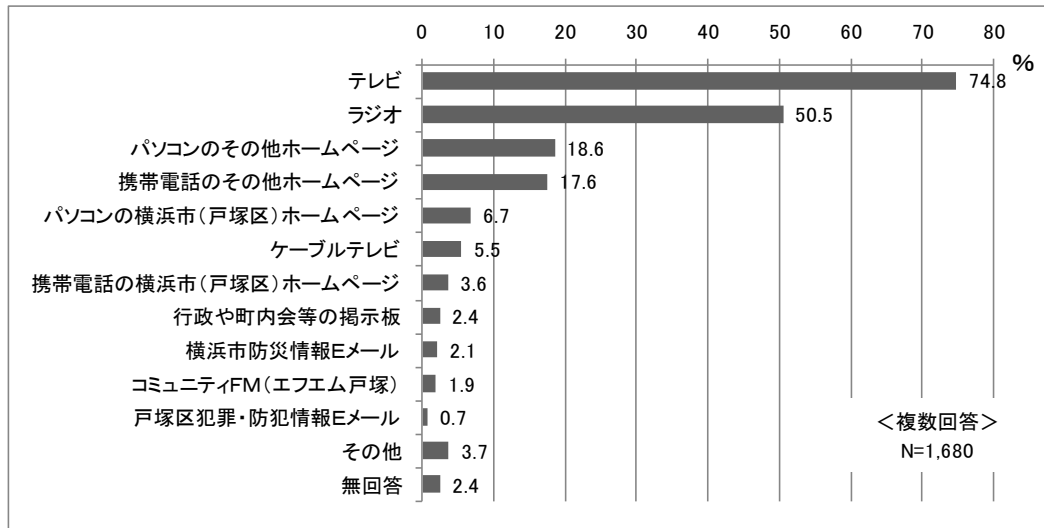
図 年齢別 東日本大震災当日（3月11日）、困ったこと

		問3 今回の大震災（3月11日）に困ったこと												
問29-1 年齢	年齢	合計	困ったこと											
			で交通手段がなくなり当日帰宅した	宅内交通手段がなくなり徒歩で帰宅した	同居家族が帰宅できなかった	同居家族との連絡が取れなかった	親戚の安否確認ができなかった	宅内のものが落下したり、家具が転倒した	余震等で家屋の倒壊や破損が不安になった	食料や水の確保が心配になった	停電・断水、ガスの断絶	相談する相手がいなくて怖かった	周りの情報がわからず不安になった	特になかった
	全体	1680	18.2	10.1	20.0	29.4	22.0	16.4	15.2	35.8	47.5	3.5	24.6	8.8
	16～19歳	50	26.0	10.0	26.0	44.0	10.0	20.0	22.0	42.0	66.0	2.0	24.0	6.0
	20～29歳	138	23.2	10.1	15.2	32.6	18.1	22.5	20.3	47.8	47.1	5.1	32.6	4.3
	30～39歳	275	22.2	11.6	16.7	37.1	20.4	18.5	18.2	50.5	52.4	3.3	31.6	3.6
	40～49歳	264	22.3	13.3	23.9	36.0	22.3	15.5	16.7	40.2	51.1	4.5	26.5	5.3
	50～59歳	248	27.8	14.5	32.7	33.9	23.8	16.9	12.5	29.4	47.6	2.0	26.2	5.2
	60～69歳	344	12.8	9.0	19.5	23.8	24.4	18.6	11.6	30.2	44.2	3.2	20.3	10.5
	70～79歳	238	8.0	4.6	11.8	18.5	23.9	10.9	16.8	26.1	46.2	2.5	19.3	17.2
	80歳以上	90	2.2	2.2	12.2	8.9	12.2	6.7	6.7	20.0	33.3	5.6	14.4	22.2
	不明	33	21.2	12.1	18.2	36.4	39.4	12.1	18.2	36.4	33.3	6.1	15.2	12.1

問 4 今回の大震災直後では、どのような媒体で情報を入手されましたか。（〇はいくつでも）

- ・「テレビ」が 74.8% で、圧倒的多数となっている。次いで「ラジオ」が 50.5% で半数強の人が挙げている。以下「パソコンのその他ホームページ」（18.6%）、「携帯電話のその他ホームページ」（17.6%）がそれぞれ 2 割弱である。

図 東日本大震災直後の情報入手媒体（複数回答）



■ 年齢別 東日本大震災直後の情報入手媒体（問 4 × 問 29）

- ・いずれも「テレビ」が最も多く、年齢が上がるほど数値が高い。また 10 代から 30 代までは「携帯電話のその他ホームページ」、20 代と 30 代で「パソコンのその他ホームページ」、70 代では「ラジオ」の数値が高く、年齢による差が明確になった。

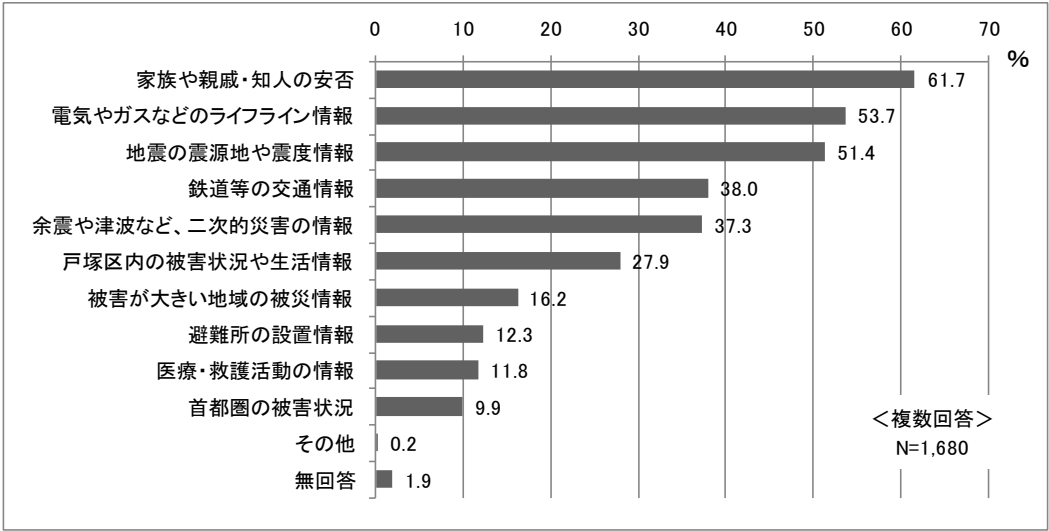
図 年齢別 東日本大震災直後の情報入手媒体

		合計	問4 今回の大震災直後に情報を入手された媒体												
			(区)携帯電話の横浜市（戸塚）ホームページ	区)パソコンの横浜市（戸塚）ホームページ	携帯電話のその他ホームページ	パソコンのその他ホームページ	横浜市防災情報Eメール	戸塚区犯罪・防犯情報Eメール	テレビ	ラジオ	エム戸塚） コミュニティFM（エフエム戸塚）	ケーブルテレビ	行政や町内会等の掲示板	その他	不明
全体		1680	3.6	6.7	17.6	18.6	2.1	0.7	74.8	50.5	1.9	5.5	2.4	3.7	2.4
問29-1 年齢	16～19歳	50	2.0	0.0	44.0	16.0	2.0	2.0	60.0	54.0	2.0	0.0	4.0	4.0	2.0
	20～29歳	138	5.1	5.1	31.9	30.4	0.7	0.0	68.8	40.6	2.2	2.2	0.0	5.8	1.4
	30～39歳	275	4.4	12.4	30.9	29.8	2.9	0.7	74.2	37.8	1.5	2.9	0.4	4.0	1.8
	40～49歳	264	4.9	8.3	17.0	25.8	2.7	0.4	70.1	45.5	1.1	5.3	2.3	5.3	0.8
	50～59歳	248	3.6	6.9	14.5	19.8	2.4	0.8	76.6	49.2	2.4	6.0	2.4	6.0	1.2
	60～69歳	344	2.3	6.4	11.3	12.5	0.9	0.3	77.9	59.9	2.0	6.7	2.6	2.6	1.7
	70～79歳	238	3.8	3.8	8.0	5.9	2.9	1.3	79.4	67.6	2.5	9.7	4.2	0.8	2.9
	80歳以上	90	1.1	2.2	1.1	3.3	2.2	2.2	81.1	45.6	1.1	5.6	5.6	0.0	11.1
	不明	33	0.0	0.0	12.1	9.1	0.0	0.0	69.7	36.4	3.0	3.0	3.0	3.0	15.2

**問 5 地震発生直後に、特に知りたいと思うことは何ですか。上位 3 つを選んでください
(○は 3 つまで)**

- ・最も多かったのは「家族や親戚・知人の安否」の 61.7%で、次いで「電気やガスなどのライフライン情報」(53.7%)、「地震の震源地や震度情報」(51.4%)について半数強の人が挙げている。以下「鉄道等の交通情報」(38.0%)、「余震や津波など、二次的災害の情報」(37.3%)、「戸塚区内の被害状況や生活情報」(27.9%)などの順となっている。

図 地震発生直後に、特に知りたいと思うこと（複数回答）



■ 年齢別 地震発生直後に、特に知りたいと思うこと（問 5 × 問 29）

- ・10代から50代までは「家族や親戚・知人の安否」、60代、70代は「電気やガスなどのライフライン情報」、80代以上は「地震の震源地や震度情報」が最も多く、世代により傾向が分かれた。また10代は「余震や津波など、二次的災害の情報」「鉄道等の交通情報」、80代以上では「戸塚区内の被害状況や生活情報」の数値が他に比べて高い。

図 年齢別 地震発生直後に、特に知りたいと思うこと

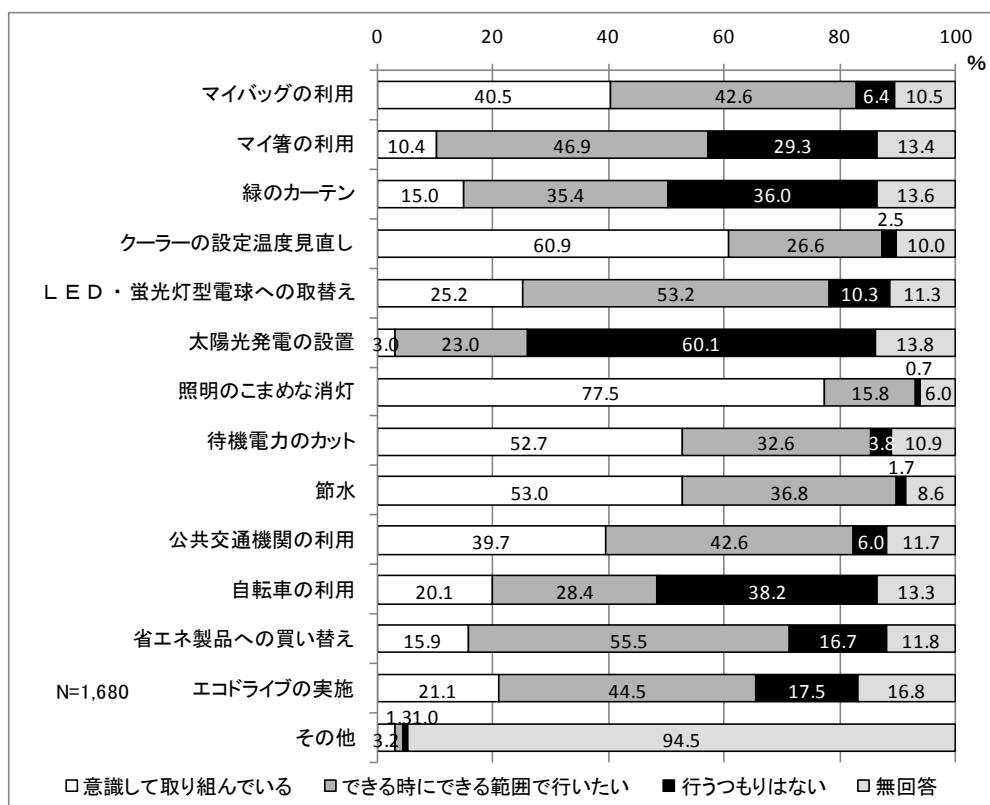
		問5 地震発生直後に特に知りたいと思うこと												
		合計	地震の震源地や震度情報	被災が大きい地域の被災情報	二次的災害や津波などの情報	首都圏の被害状況	や戸塚区内の被害状況	鉄道等の交通情報	電気やガスなどのライフライン情報	避難所の設置情報	家族や親戚・知人の安否	医療・救護活動の情報	その他	不明
全体		1680	51.4	16.2	37.3	9.9	27.9	38.0	53.7	12.3	61.7	11.8	0.2	1.9
問29-1 年齢	16～19歳	50	42.0	12.0	52.0	12.0	22.0	50.0	52.0	8.0	72.0	10.0	0.0	2.0
	20～29歳	138	42.0	19.6	41.3	13.8	23.9	44.9	47.1	15.9	70.3	8.0	0.0	0.7
	30～39歳	275	54.2	14.5	45.5	9.1	29.5	36.0	48.7	15.6	65.5	10.2	0.7	1.1
	40～49歳	264	47.0	17.0	40.9	11.7	22.3	44.7	54.2	15.5	72.0	14.0	0.0	0.4
	50～59歳	248	50.8	12.1	36.3	11.3	19.8	44.8	52.0	11.7	68.1	8.1	0.0	0.8
	60～69歳	344	54.9	14.8	33.4	7.8	29.9	35.2	59.3	10.2	55.5	12.2	0.0	1.5
	70～79歳	238	57.1	23.1	30.3	9.2	37.8	26.1	61.8	10.1	46.6	13.9	0.4	1.3
	80歳以上	90	53.3	13.3	22.2	7.8	41.1	26.7	42.2	6.7	46.7	17.8	1.1	14.4
	不明	33	36.4	18.2	42.4	3.0	18.2	48.5	48.5	9.1	60.6	18.2	0.0	9.1

3. 環境配慮行動について

問6 東日本大震災後、あなたが取り組んでいる環境配慮行動はなんですか。(○は1つ)

- ・「意識して取り組んでいる」が最も多かったのは、「照明のこまめな消灯」(77.5%)、「クーラーの設定温度見直し」(60.9%)、「節水」(53.0%)、「待機電力のカット」(52.7%)で、節電に関する項目が中心となっている。
- ・「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多かったのは、「省エネ製品への買い替え」(55.5%)、「LED・蛍光灯型電球への取替え」(53.2%)、「マイ箸の利用」(46.9%)、「エコドライブの実施」(44.5%)、「マイバッグの利用」(42.6%)、「公共交通機関の利用」(42.6%)となっている。
- ・「行うつもりはない」が最も多かったのは「太陽光発電の設置」(60.1%)、「自転車の利用」(38.2%)、「緑のカーテン」(36.0%)であるが、これらは居住条件を選んだり、初期投資が必要であることなどでハードルが高い項目であると考えられる。

図 環境配慮行動について



■ 男女・年齢別 環境配慮行動について（問6×問28, 29, 34）

1 マイバッグの利用

- ・女性では「意識して取り組んでいる」、男性では「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多い。
- ・50代、60代、80代以上で「意識して取り組んでいる」、それ以外は「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多い。

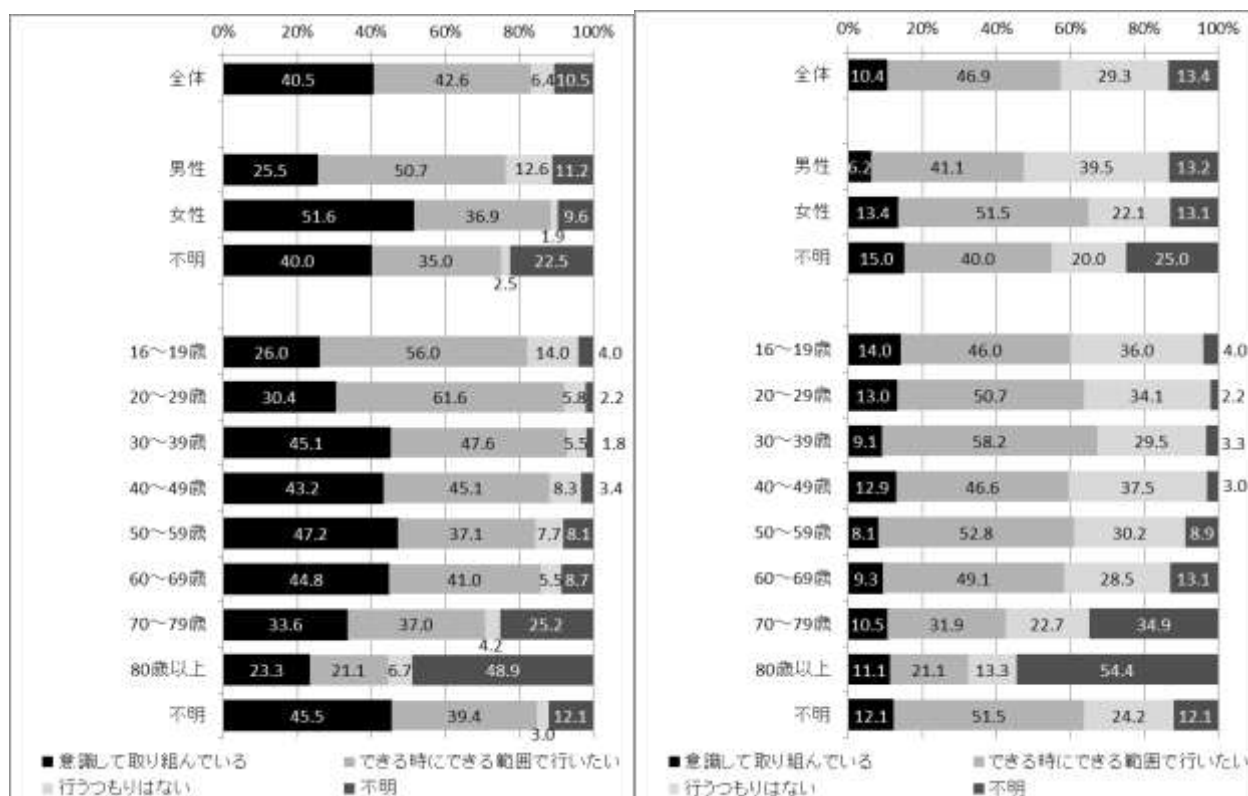
2 マイ箸の利用

- ・男女とも「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多いが、男性では「行うつもりはない」の数値が女性より17.4ポイント高い。

図 男女・年齢別 環境配慮行動について

1 マイバッグの利用

2 マイ箸の利用



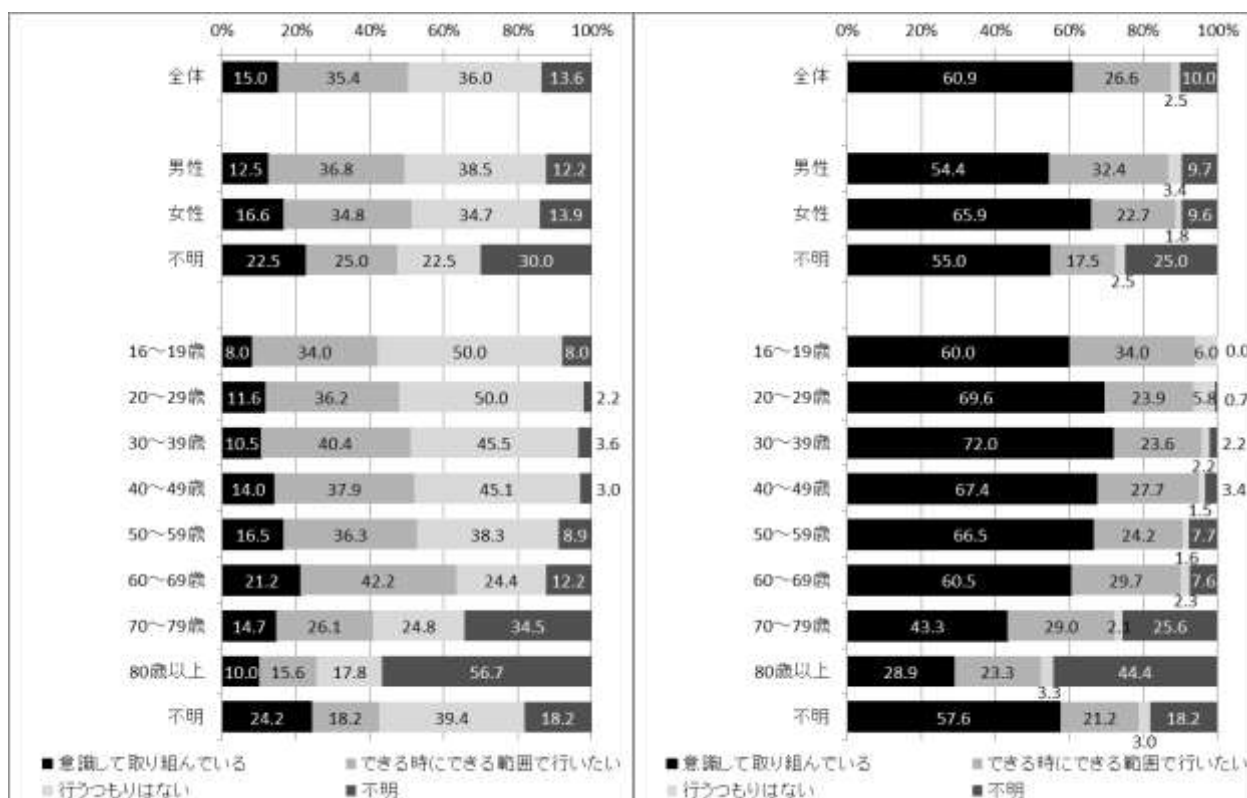
3 緑のカーテン

- ・年齢別では、60代、70代のみ「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多いが、それ以外は「行うつもりはない」が最も多い。

4 クーラーの設定温度見直し

- ・いずれの属性も「意識して取り組んでいる」が最も多い。
- ・女性は男性より「意識して取り組んでいる」の数値が11.5ポイント高い。
- ・年齢別では、30代で「意識して取り組んでいる」が7割を超えている。

図 男女・年齢別 環境配慮行動について
3 緑のカーテン 4 クーラーの設定温度見直し



5 LED・蛍光灯型電球への取替え

- ・いずれの属性も「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多い。
- ・10代では「行うつもりはない」の数値が高くなっている

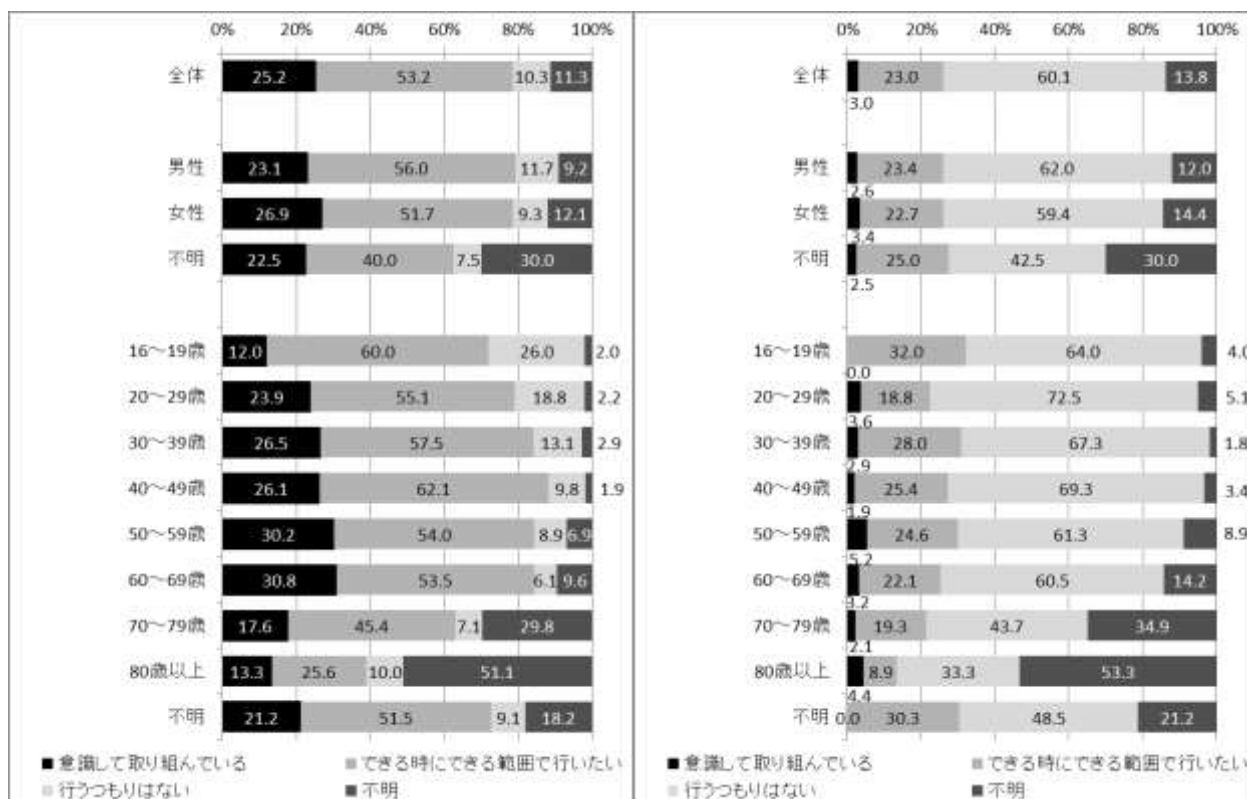
6 太陽光発電の設置

- ・いずれの属性も「行うつもりはない」が最も多く、特に20代で数値が高くなっている。

図 男女・年齢別 環境配慮行動について

5 LED・蛍光灯型電球への取替え

6 太陽光発電の設置



7 照明のこまめな消灯

- ・ いずれの属性も「意識して取り組んでいる」が最も多く、「行うつもりはない」の数値が非常に低くなっている。
- ・ 女性は「意識して取り組んでいる」が男性を 9.8 ポイント上回る。また、年齢別では 30 代から 60 代が 8 割を超える。

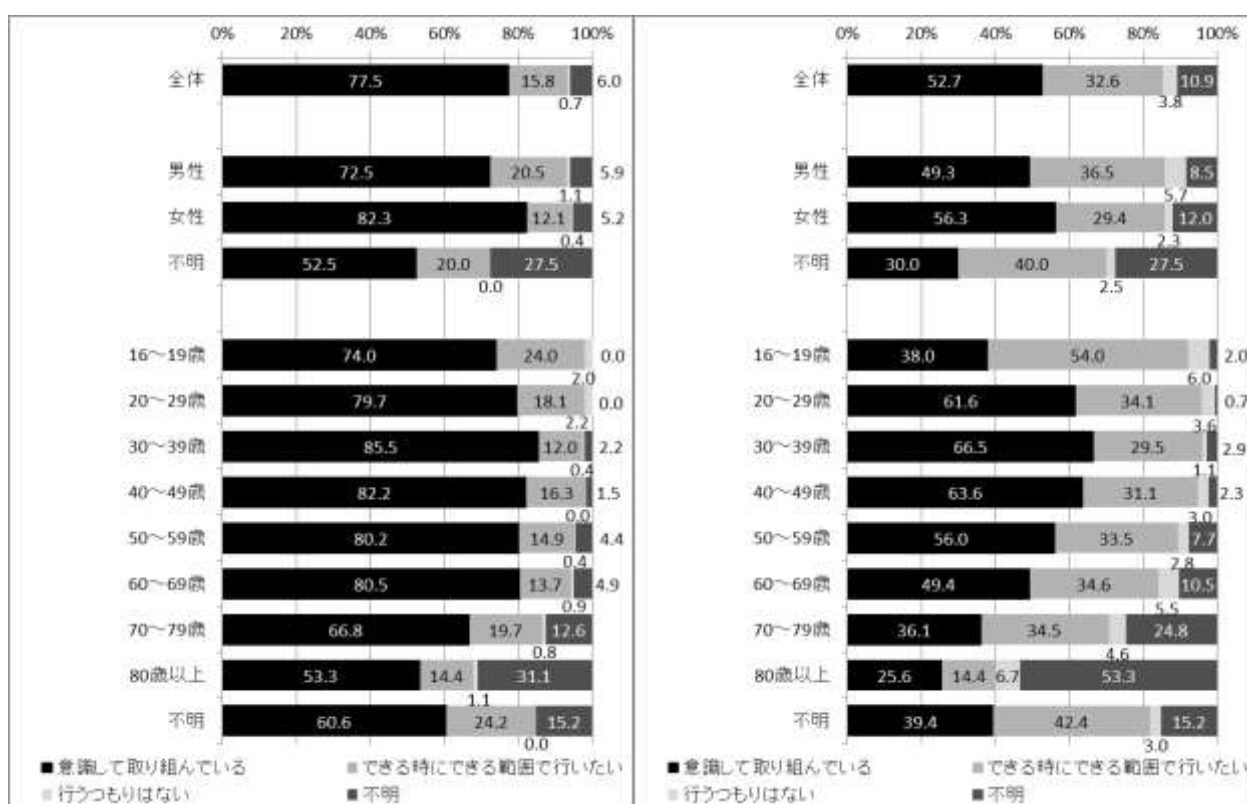
8 待機電力のカット

- ・ 概ね「意識して取り組んでいる」が最も多く、特に年齢別の 20 代から 40 代にかけての世代では 6 割を超える。一方、10 代のみ「できる時にできる範囲で行いたい」が最多となっている。

図 男女・年齢別 環境配慮行動について

7 照明のこまめな消灯

8 待機電力のカット



9 節水

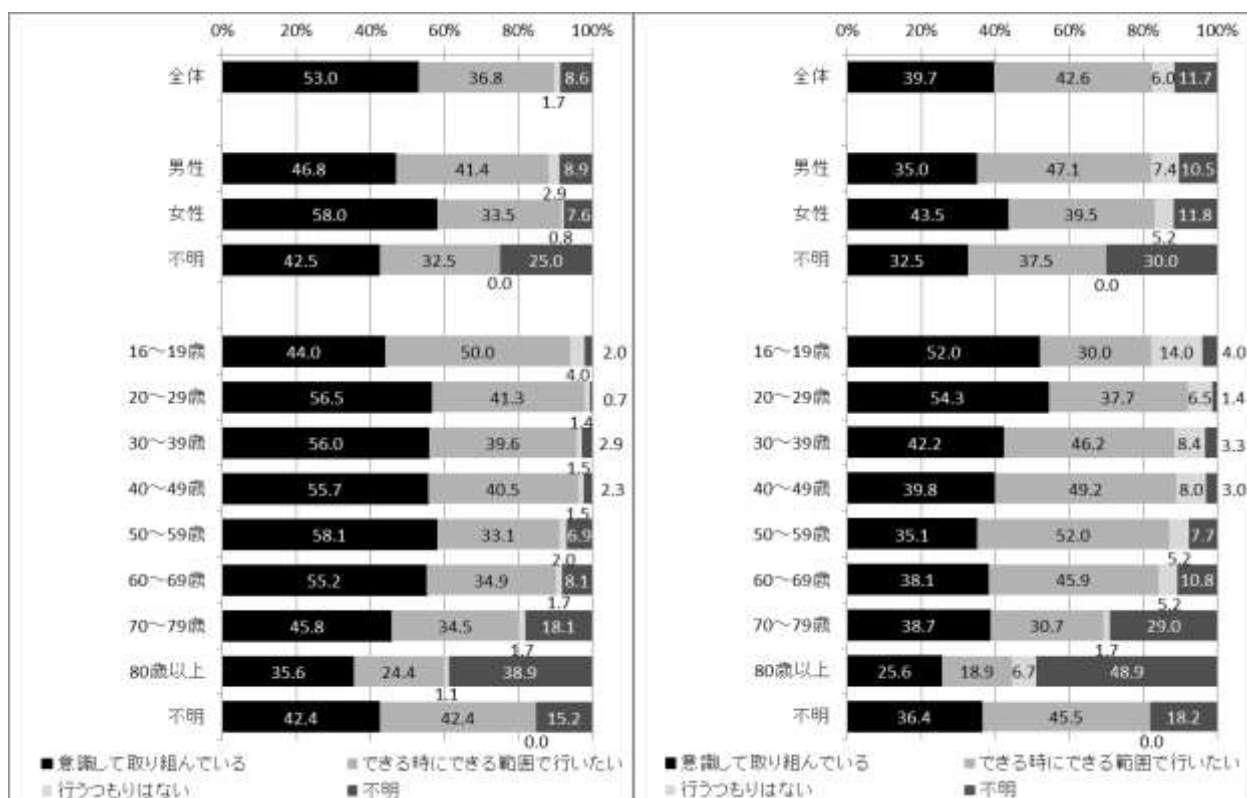
- ・概ね「意識して取り組んでいる」が最も多く、女性は男性より 11.2 ポイント高くなっている。なお、年齢別の 10 代のみで「できる時にできる範囲で行いたい」が最多となっている。

10 公共交通機関の利用

- ・女性、10 代、20 代、70 代、80 代以上で「意識して取り組んでいる」が最も多く、特に 10 代、20 代の若年層では数値が高い。それ以外は「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多い。

図 男女・年齢別 環境配慮行動について

9 節水 10 公共交通機関の利用



11 自転車の利用

- ・年齢別では、10代で「意識して取り組んでいる」、40代で「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多い。20代、30代は「できる時にできる範囲で行いたい」「行うつもりはない」がほぼ同率で、若年・中年層で積極的な傾向にある。50代より上の世代では「行うつもりはない」が最も多くなっている。

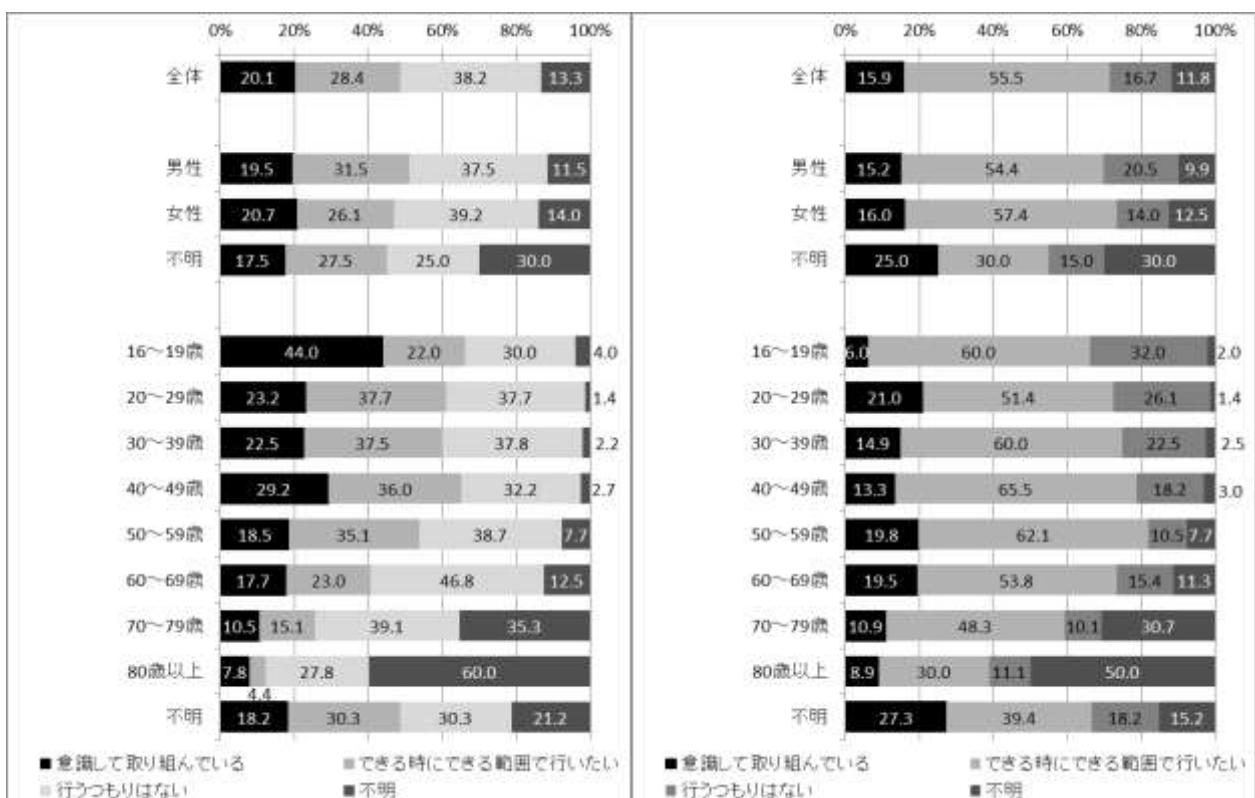
12 省エネ製品への買い替え

- ・いずれの属性も「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多いが、10代は「行うつもりはない」の数値が他に比べて高い。

図 男女・年齢別 環境配慮行動について

11 自転車の利用

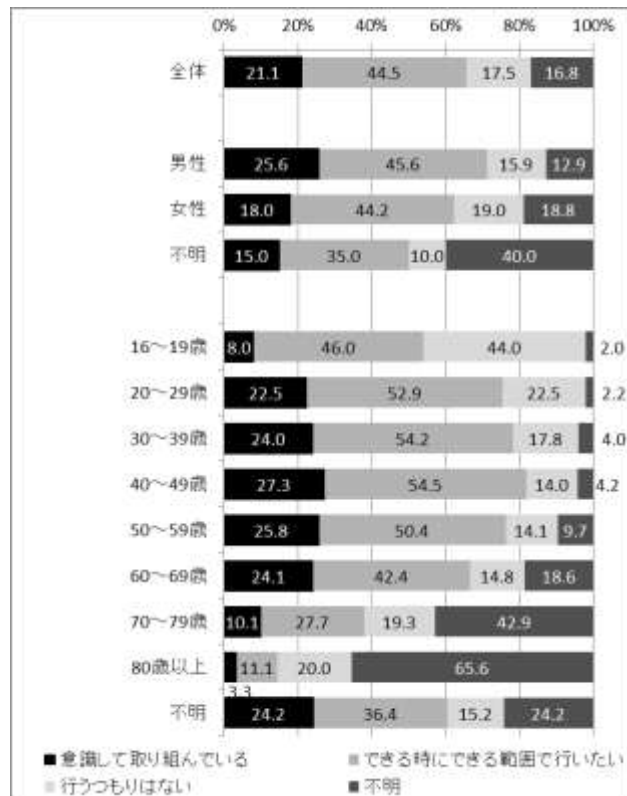
12 省エネ製品への買い替え



13 エコドライブの実施

- ・ 80 代以上では「行うつもりはない」が最も多い。それ以外では「できる時にできる範囲で行いたい」が最も多いが、10 代は「行うつもりはない」の数値が高くなっている。

図 男女・年齢別 環境配慮行動について
13 エコドライブの実施

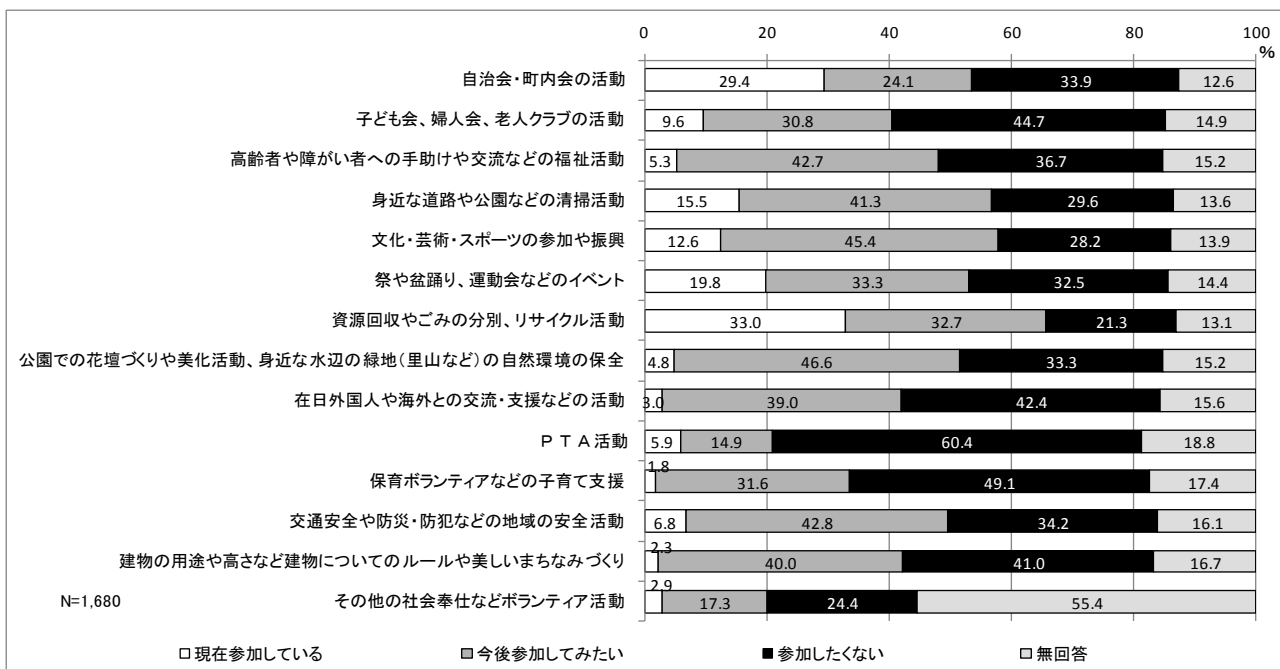


4. 地域活動・地域自治について

問7 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。（〇は1つ）

- ・「現在参加している」が最も多かったのは、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」（33.0％）のみである。
- ・「今後参加してみたい」が最も多かったのは、「公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全」（46.6％）、「文化・芸術・スポーツの参加や振興」（45.4％）、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」（42.8％）、「高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動」（42.7％）、「身近な道路や公園などの清掃活動」（41.3％）、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」（33.3％）である。
- ・「参加したくない」が最も多かったのは、「PTA活動」（60.4％）、「保育ボランティアなどの子育て支援」（49.1％）、「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」（44.7％）、「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」（42.4％）、「建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり」（41.0％）、「自治会・町内会の活動」（33.9％）、「その他の社会奉仕などボランティア活動」（24.4％）となっている。

図 現在、仕事や学業以外に参加している活動



■ 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動（問7×問28, 29, 34）

1 自治会・町内会の活動

- ・年齢別では、10代から40代は「参加したくない」、50代以上は「現在参加している」が最も多く、50代を境に年齢層で傾向が二分した。なお、10代で「今後参加してみたい」が他に比べて多くなっているのは特筆に値する。

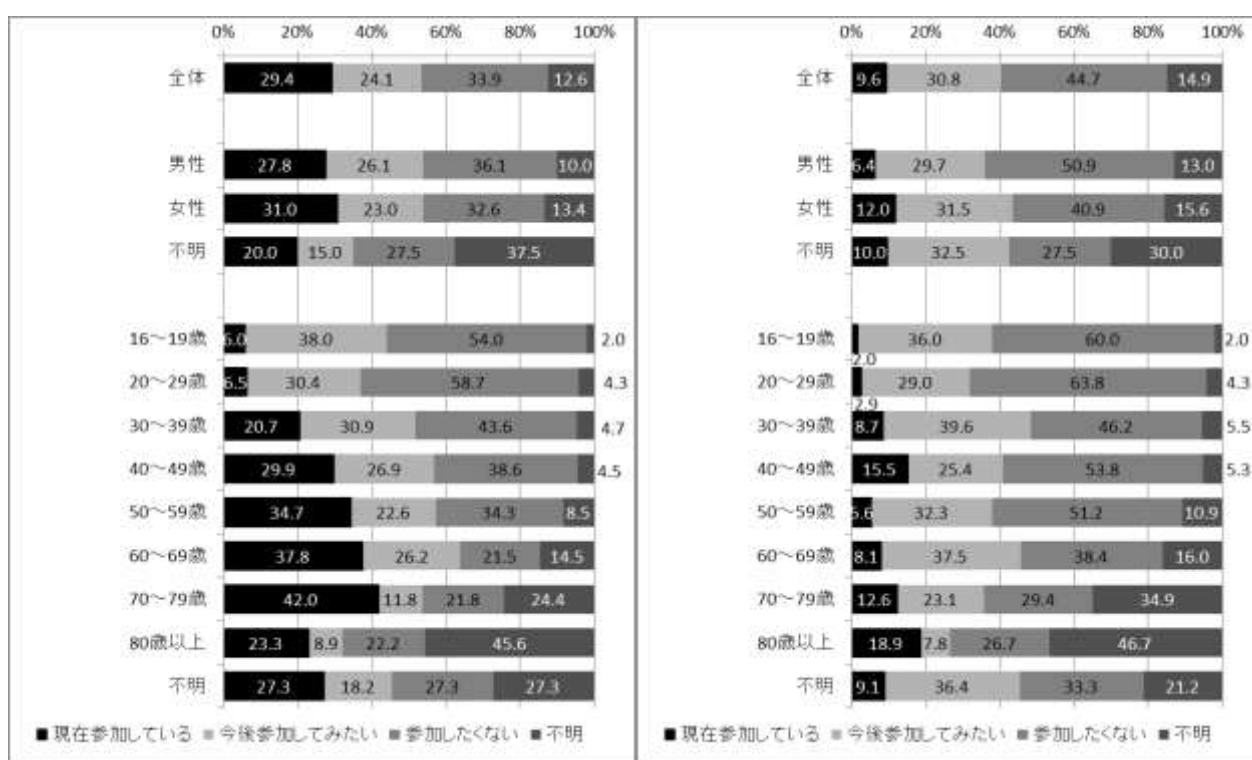
2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動

- ・いずれの属性も「参加したくない」が最も多く、特に年齢別では20代を中心に若年層ほど数値が高い傾向にある。

図 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動

1 自治会・町内会の活動

2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動



3 高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動

- ・ 年齢別では 20 代と、70 代・80 代以上の高齢者層で「参加したくない」が最も多く、それ以外の属性では「今後参加してみたい」が最多である。

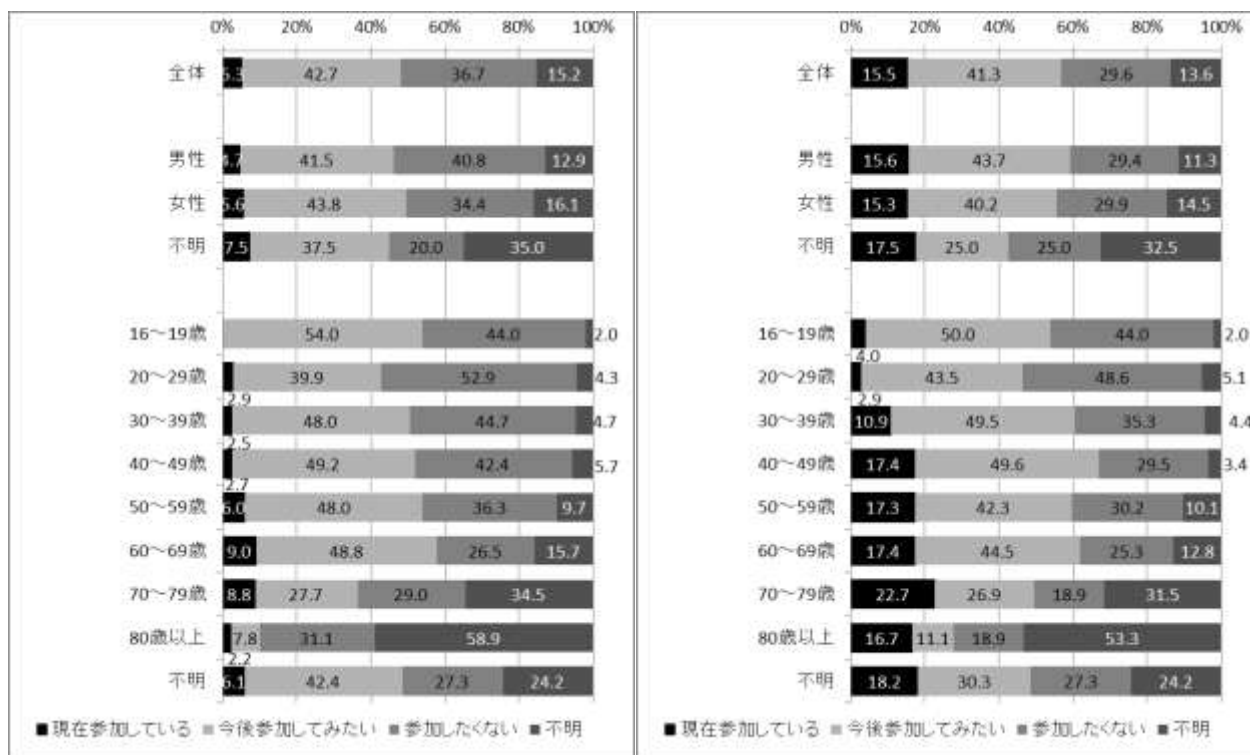
4 身近な道路や公園などの清掃活動

- ・ 年齢別では、20 代と 80 代以上で「参加したくない」が最も多く、それ以外の属性では「今後参加してみたい」が最多となっている。なお、10 代でも「参加したくない」の数値が高く、若年層での参加意欲が低くなっている。

図 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動

3 高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動

4 身近な道路や公園などの清掃活動



5 文化・芸術・スポーツの参加や振興

- ・年齢別では、70代・80代以上の高齢者層で「参加したくない」が最も多い以外は、いずれの属性でも「今後参加してみたい」が最多となっている。特に10代の数値が非常に高い。

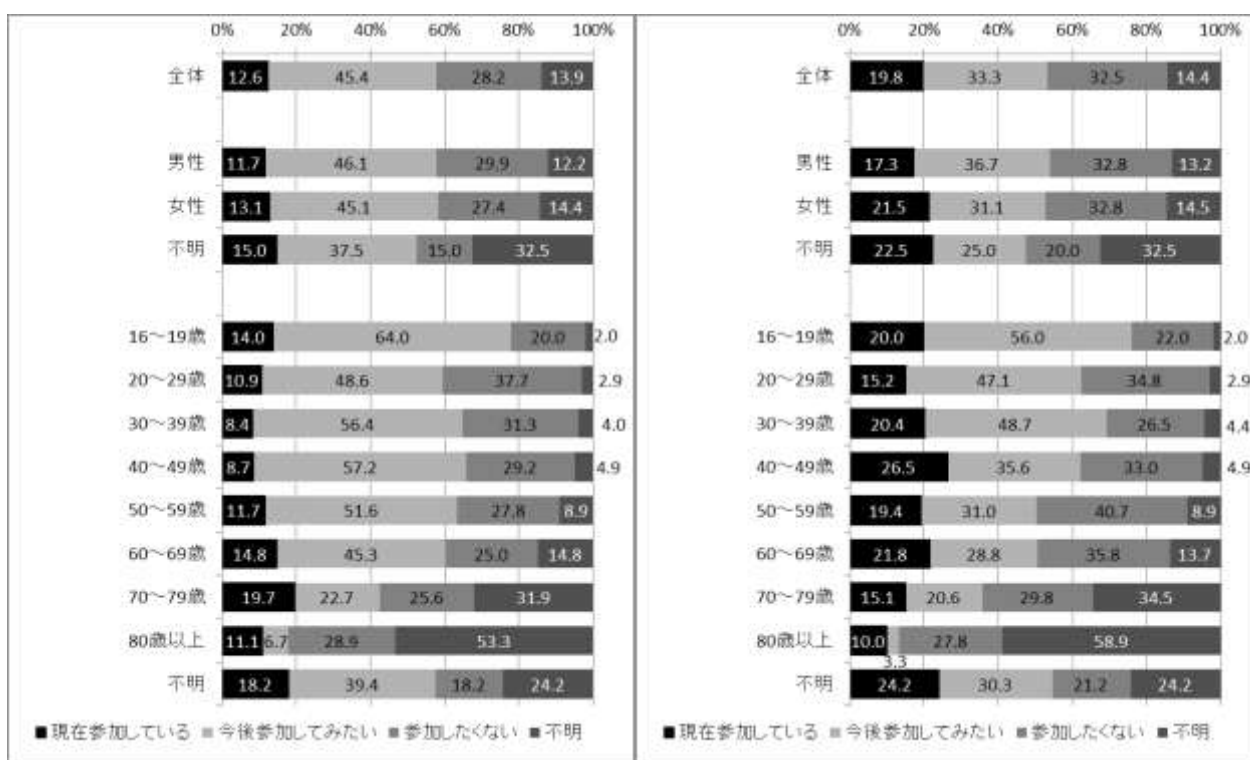
6 祭や盆踊り、運動会などのイベント

- ・「今後参加してみたい」が最も多いのは男性、10代から40代までの世代で、特に10代では今後の参加意向が高い。一方、女性は僅かに「参加したくない」が「今後参加してみたい」を上回っているほか、50代より上の世代でも「参加したくない」が最も多く、傾向は二分した。

図 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動

5 文化・芸術・スポーツの参加や振興

6 祭や盆踊り、運動会などのイベント



7 資源回収やごみの分別、リサイクル活動

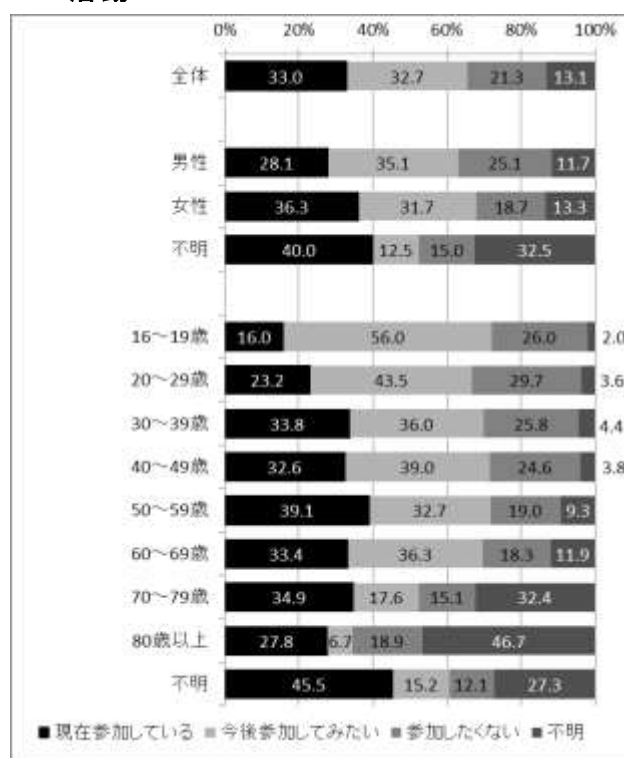
- ・ 女性は「現在参加している」、男性は「今後参加してみたい」が最多で、男女で傾向が分かれた。年齢別では 50 代と 70 代以上の高齢者層で「現在参加している」が最も多い。

8 公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全

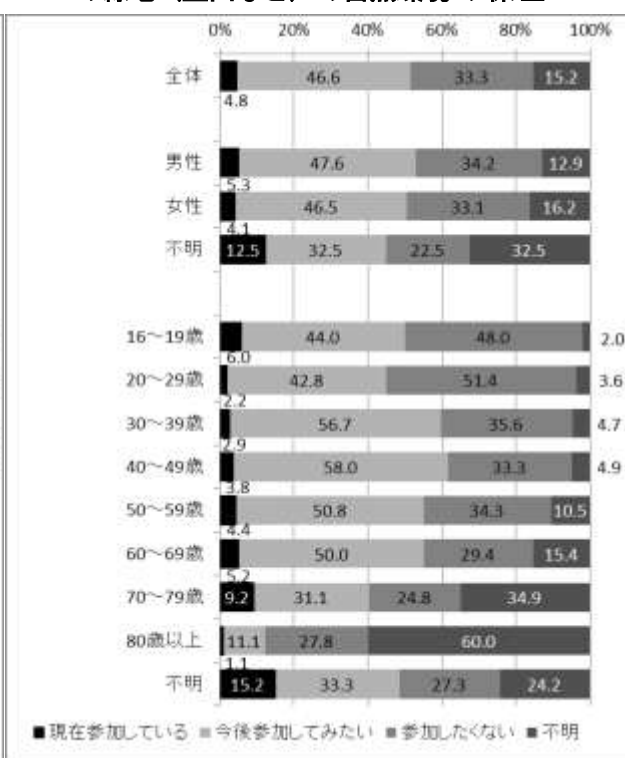
- ・ 年齢別では、10 代、20 代の若年層と 80 代以上で「参加したくない」が最も多いそれ以外ではいずれの属性も「今後参加してみたい」が最も多い。特に 30 代、40 代では今後の参加意向が高い。

図 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動

7 資源回収やごみの分別、リサイクル活動



8 公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全



9 在日外国人や海外との交流・支援などの活動

- ・ 10代から40代までは「今後参加してみたい」、50代より上の世代では「参加したくない」が最も多く、50代を境に傾向が分かれ、若年～中年層にかけての意欲が高い。

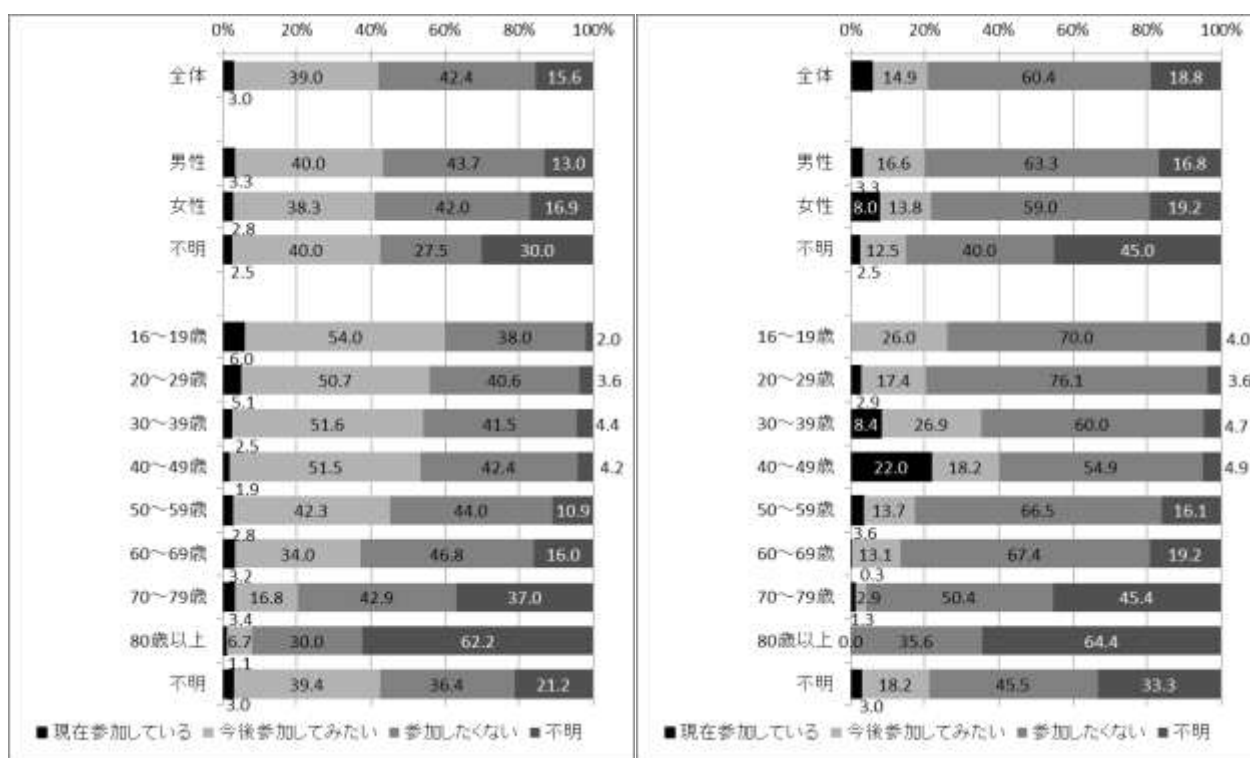
10 PTA活動

- ・ いずれの属性も「参加したくない」が最も多く、男女別では大きな差がみられない。一方、年齢による差は顕著で、40代で「現在参加している」の数値が突出して高いほか、10代と30代で「今後参加してみたい」の数値が他に比べて高くなっている。逆に20代では「参加したくない」の数値が高くなっている。

図 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動

9 在日外国人や海外との交流・支援などの活動

10 PTA活動



11 保育ボランティアなどの子育て支援

- ・ 30代で「今後参加してみたい」が最も多くなっているのを除き、いずれの属性も「参加したくない」が最も多くなっている。また、10代と40代で「今後参加してみたい」の数値が高くなっている。

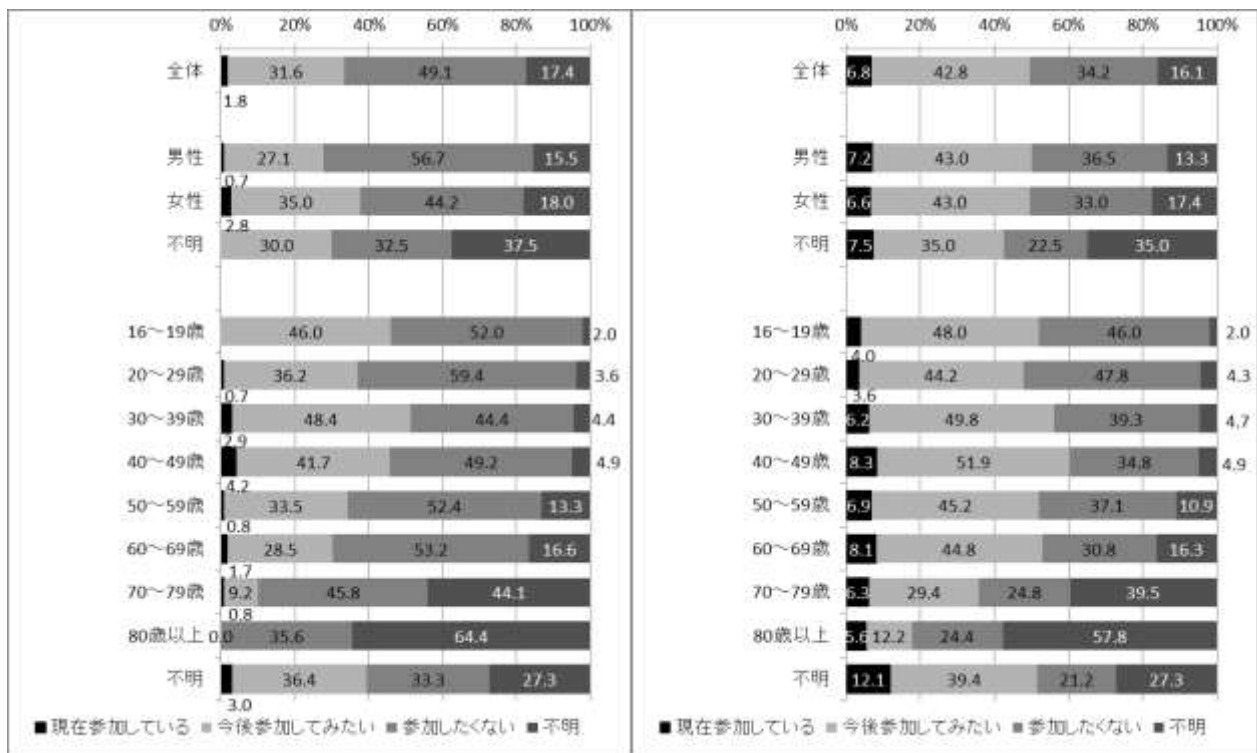
12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動

- ・ 年齢別では20代と80代以上で「参加したくない」が最も多い。それ以外の属性では「今後参加してみたい」が最も多い。

図 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動

11 保育ボランティアなどの子育て支援

12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動

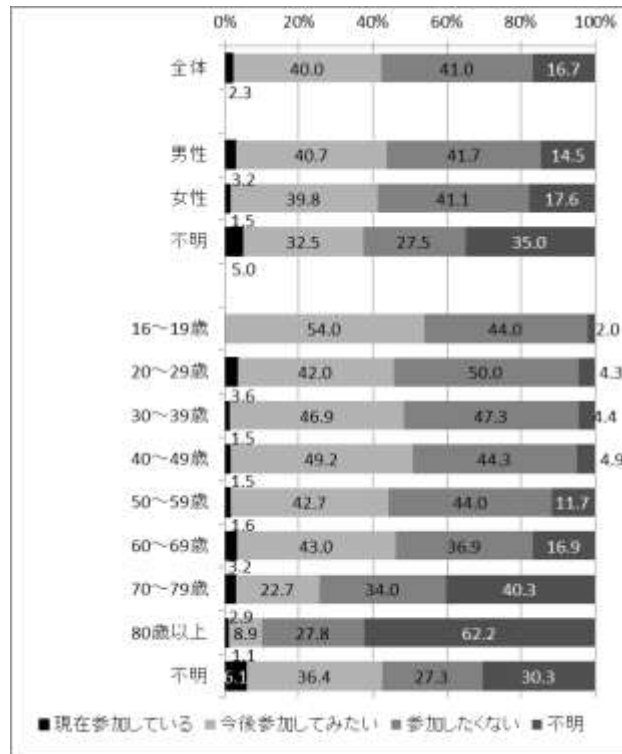


13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり

- ・ 年齢別では 10 代、40 代、60 代で「今後参加してみたい」が最も多くなっている。
それ以外の属性では「参加したくない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢別 仕事や学業以外に参加している活動

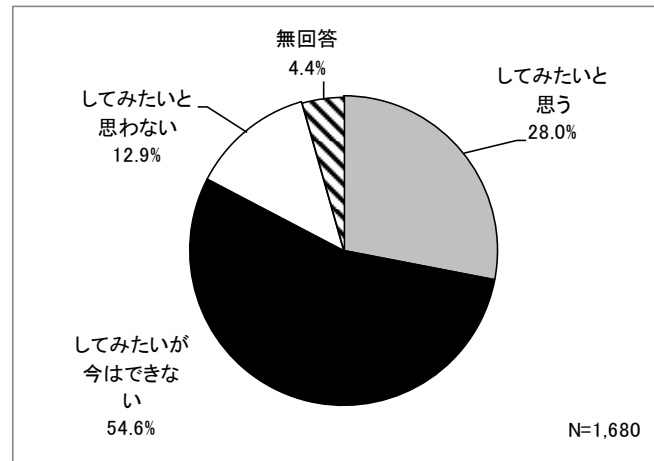
13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり



問 8 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。（○は1つ）

- ・「してみたいが今はできない」が最も多く 54.6%で、過半数を占めている。次いで「してみたいと思う」が 28.0%で続き、地域社会活動の担い手は潜在層を含めれば 8 割を超える。「してみたいと思わない」は 1 割程度にとどまっている（12.9%）。

図 今後の地域活動への参加意欲



■ 愛着度別 今後の地域活動への参加意欲（問 8 × 問 38）

- ・ いずれも「してみたいが今はできない」が最も多いが、愛着度が高いほど「してみたいと思う」の数値が高く、低いほど「してみたいと思わない」の数値が高くなっており、愛着度と社会活動への参加意向は比例関係にある。

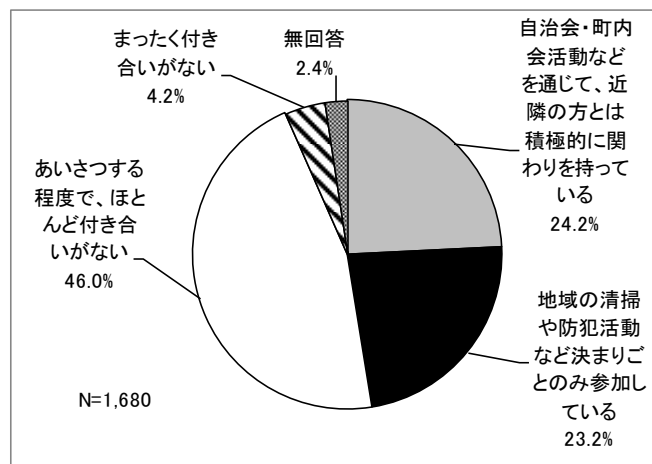
図 愛着度別 今後の地域活動への参加意欲

		合計	問8 社会に役立つ活動参加			
			してみたいと思う	してみたいが今はできない	してみたいと思わない	不明
全体		1680	28.0	54.6	12.9	4.4
問38 戸塚への 愛着・誇り	感じている	592	35.0	50.7	9.8	4.6
	やや感じている	563	25.8	59.5	11.7	3.0
	どちらともいえない	260	22.3	56.9	15.0	5.8
	あまり感じていない	179	27.9	53.1	17.9	1.1
	全く感じていない	37	13.5	54.1	32.4	0.0
	わからない	26	7.7	46.2	30.8	15.4
	不明	23	17.4	34.8	8.7	39.1

問 9 近隣の方との関わりについてお聞かせください。(〇は1つ)

- ・「あいさつする程度で、ほとんど付き合いがない」が 46.0%で最も多く、半数弱を占める。次いで「自治会・町内会活動などを通じて、近隣の方とは積極的に関わりを持っている」(24.2%)、「地域の清掃や防犯活動など決まりごとのみ参加している」(23.2%)がそれぞれ全体の4分の1弱である。「まったく付き合いがない」は 4.2%で、「あいさつする程度で、ほとんど付き合いがない」と合わせると全体の約半数が近隣とほとんど付き合いがない様子が見えてくる。

図 近隣の方との関わりについて



■ 年齢別 近隣の方との関わりについて (問 9 × 問 29)

- ・ 70代で「自治会・町内会活動などを通じて、近隣の方とは積極的に関わりを持っている」が最も多い。それ以外の世代では「あいさつする程度で、ほとんど付き合いがない」が最も多く、特に 10代、20代では高い数値となっている。10代、20代では「まったく付き合いがない」も他よりやや高いなど、若年層では近隣との関わりが浅い傾向が表れている。

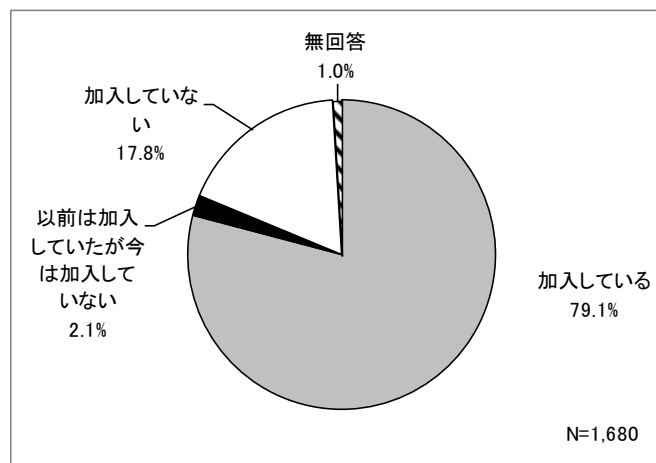
図 年齢別 近隣の方との関わりについて

		合計	問9 近隣との関わりについて				
			自治会・町内会活動などを通じて、近隣の方とは積極的に関わりを持っている	地域の清掃や防犯活動など決まりごとのみ参加している	あいさつする程度で、ほとんど付き合いがない	まったく付き合いがない	不明
全体		1680	24.2	23.2	46.0	4.2	2.4
問29-1 年齢	16～19歳	50	14.0	12.0	62.0	12.0	0.0
	20～29歳	138	4.3	8.7	73.2	13.8	0.0
	30～39歳	275	15.6	18.2	59.3	5.8	1.1
	40～49歳	264	22.0	21.2	52.7	2.3	1.9
	50～59歳	248	28.2	24.2	44.8	2.4	0.4
	60～69歳	344	29.9	32.3	33.4	2.6	1.7
	70～79歳	238	36.1	31.1	27.7	1.3	3.8
	80歳以上	90	25.6	16.7	38.9	3.3	15.6
	不明	33	33.3	18.2	33.3	9.1	6.1

問 10 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

- ・「加入している」が79.1%で8割近くを占めており、前項で見た近隣との付き合いの度合いから勘案すると、自治会・町内会の加入率は比較的高いといえる。「加入していない」は17.8%、「以前は加入していたが今は加入していない」は2.1%となっている。

図 自治会・町内会への加入について



■ 年齢別 自治会・町内会への加入について（問10×問29）

- ・ いずれも「加入している」が最も多く、特に高齢世代での数値が高くなっており、70代では9割を超えている。一方10代から30代では「加入していない」が3割を超えている。

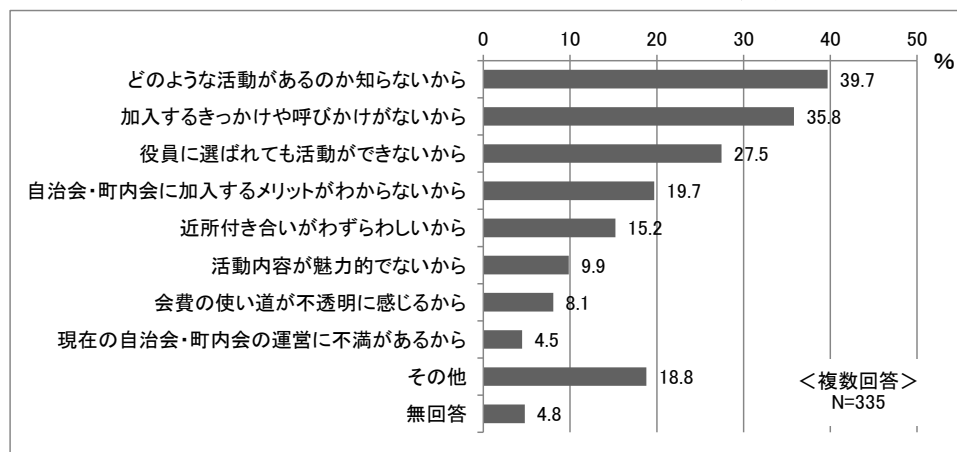
図 年齢別 自治会・町内会への加入について

		合計	問10 自治会・町内会の加入			
			加入している	以前は加入していたが今は加入していない	加入していない	不明
全体		1680	79.1	2.1	17.8	1.0
問29-1 年齢	16～19歳	50	56.0	4.0	36.0	4.0
	20～29歳	138	55.1	4.3	39.9	0.7
	30～39歳	275	67.6	0.7	31.6	0.0
	40～49歳	264	76.5	1.9	21.2	0.4
	50～59歳	248	86.7	1.6	10.9	0.8
	60～69歳	344	88.1	2.6	9.3	0.0
	70～79歳	238	92.0	1.3	5.5	1.3
	80歳以上	90	87.8	2.2	5.6	4.4
	不明	33	63.6	9.1	18.2	9.1

問 11 自治会・町内会に加入していない理由をお聞かせください。（〇はいくつでも）

- ・「どのような活動があるのか知らないから」が 39.7%で最も多く、これに「加入するきっかけや呼びかけがないから」が 35.8%で続いており、P R や勧誘の少なさを挙げるものが上位に来ている。以下「役員に選ばれても活動ができないから」（27.5%）、「自治会・町内会に加入するメリットがわからないから」（19.7%）、「近所付き合いがわずらわしいから」（15.2%）などとなっている。
- ・「その他」63 件のうち 60 件に具体的な記述があり、最も多かったのは「マンションに自治会がない（管理組合に入っている）」の 19 件であった。次いで「多忙だから」（11 件）、「自治会・町内会がないから」（10 件）などとなっている。

図 自治会・町内会に加入していない理由（複数回答）



■ 年齢別 自治会・町内会に加入していない理由（問 11×問 29）

- ・10 代から 30 代では「どのような活動があるのか知らないから」、40 代では「加入するきっかけや呼びかけがないから」、50 代では「どのような活動があるのか知らないから」と「役員に選ばれても活動ができないから」が同率、60 代では「役員に選ばれても活動ができないから」、70 代より上の世代では「その他」が最も多く、世代により回答が分かれた。10 代では「活動内容が魅力的でないから」も高い数値となっている。

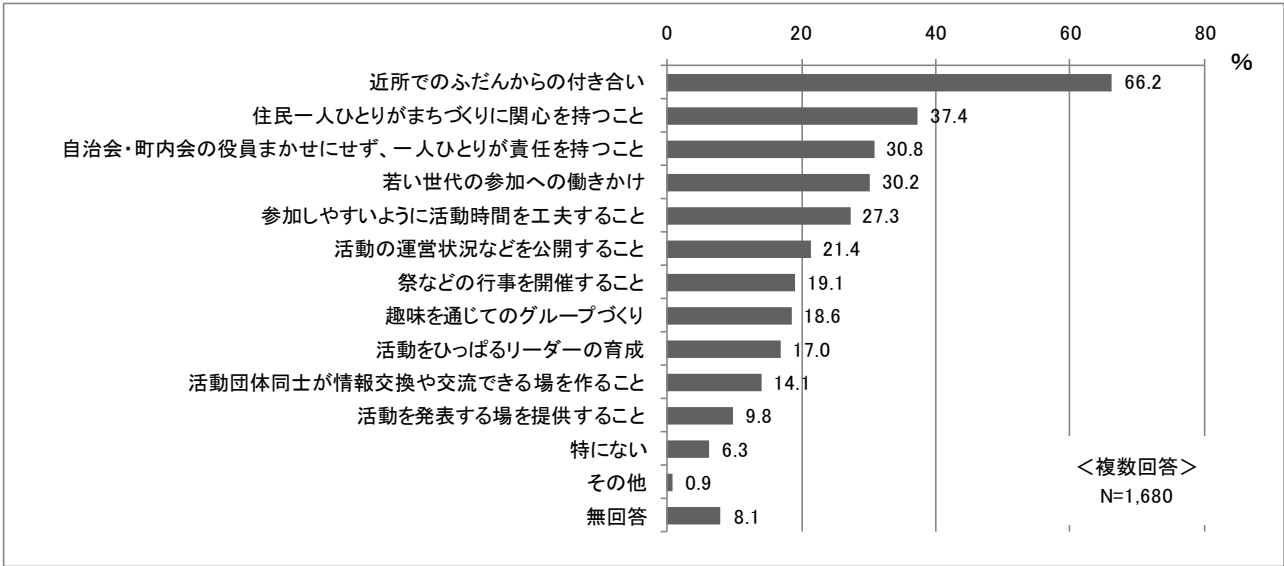
図 年齢別 自治会・町内会に加入していない理由

		合計	問11（問10で現在加入していないと答えた方）自治会・町内会に加入していない理由									
			のど かの 知ら ない 活 動 が あ る	わ近 し所 い付 かき ら合 い が わ ず ら	なす 自 治 会 メ リ ツ が わ か ら な い	び加 入 す る き つ か け や 呼	い活 動 内 容 が 魅 力 的 で な	が役 員 に 選 ば れ て も 活 動	に会 費 の 使 い 道 が 不 透 明	ら現 在 の 運 営 に 不 満 が あ る か	そ の 他	不 明
全体		335	39.7	15.2	19.7	35.8	9.9	27.5	8.1	4.5	18.8	4.8
問29-1 年齢	16～19歳	20	55.0	20.0	20.0	40.0	20.0	25.0	15.0	10.0	10.0	5.0
	20～29歳	61	59.0	18.0	24.6	42.6	9.8	31.1	14.8	4.9	11.5	1.6
	30～39歳	89	43.8	18.0	14.6	41.6	5.6	30.3	3.4	3.4	14.6	2.2
	40～49歳	61	36.1	14.8	27.9	37.7	13.1	27.9	6.6	3.3	19.7	4.9
	50～59歳	31	29.0	12.9	12.9	25.8	12.9	29.0	3.2	3.2	25.8	6.5
	60～69歳	41	22.0	12.2	22.0	24.4	4.9	29.3	9.8	2.4	24.4	7.3
	70～79歳	16	18.8	0.0	12.5	25.0	12.5	6.3	12.5	12.5	43.8	12.5
	80歳以上	7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6
	不明	9	33.3	22.2	22.2	44.4	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0

問 12 住民による地域課題の解決に向けた活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- ・「近所でのふだんからの付き合い」が 66.2%で、突出して多くなっている。以下「住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと」(37.4%)、「自治会・町内会の役員まかせにせず、一人ひとりが責任を持つこと」(30.8%)、「若い世代の参加への働きかけ」(30.2%)、「参加しやすいように活動時間を工夫すること」(27.3%)、「活動の運営状況などを公開すること」(21.4%)などと続く。

図 地域課題の解決に向けた活動を活発にするために必要なこと（複数回答）



■ 年齢別 地域課題の解決に向けた活動を活発にするために必要なこと（問 12×問 29）

- ・いずれの世代も「近所でのふだんからの付き合い」が最も多いが、10代20代では他に比べて数値が低い。70代では「趣味を通じてのグループづくり」の数値が他に比べて高くなっている。

図 年齢別 地域課題の解決に向けた活動を活発にするために必要なこと

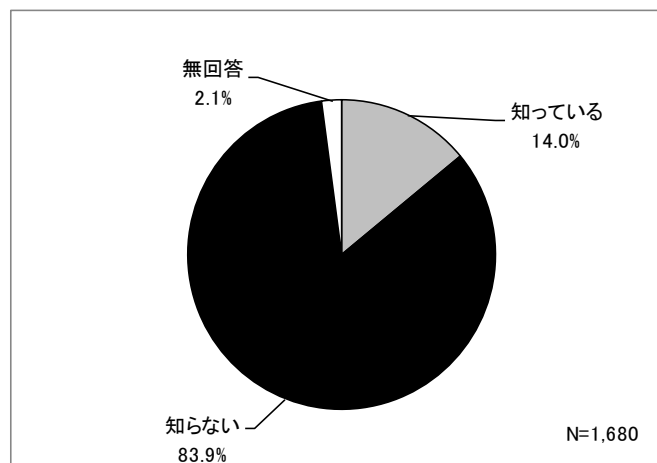
		問12 住民による地域課題の解決に向けた活動を活発にするために必要なこと													
		合計	近所でのふだんからの付き合い	住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと	趣味を通じてのグループづくり	活動をひっぱりリーダーの育成	若い世代の参加への働きかけ	自治会・町内会の役員まかせにせず、一人ひとりが責任を持つこと	祭などの行事を開催すること	参加しやすいように活動時間を工夫すること	活動の運営状況などを公開すること	活動を発表する場を提供すること	活動団体同士が情報交換や交流できる場を作ること	特にない	その他
全体		1680	66.2	37.4	18.6	17.0	30.2	30.8	19.1	27.3	21.4	9.8	14.1	6.3	0.9
問29-1 年齢	16～19歳	50	52.0	32.0	16.0	14.0	40.0	26.0	18.0	20.0	18.0	14.0	14.0	12.0	4.0
	20～29歳	138	48.6	32.6	12.3	10.9	28.3	15.9	26.8	21.7	25.4	13.0	17.4	4.3	1.4
	30～39歳	275	67.6	36.7	12.0	14.5	34.5	23.6	26.9	34.5	23.3	10.5	15.6	6.5	0.7
	40～49歳	264	66.3	34.1	14.8	18.9	24.2	30.7	20.5	31.4	20.8	8.7	17.0	8.0	0.8
	50～59歳	248	65.7	37.5	16.5	19.0	35.9	35.9	13.3	34.7	21.0	8.5	12.1	6.9	0.8
	60～69歳	344	70.1	41.9	20.1	18.0	31.7	36.9	18.6	27.0	24.1	9.3	13.1	3.2	0.3
	70～79歳	238	76.5	39.9	31.9	21.4	30.7	37.0	15.5	18.9	19.3	10.9	13.4	6.7	1.7
	80歳以上	90	57.8	33.3	27.8	11.1	14.4	23.3	10.0	8.9	7.8	5.6	5.6	8.9	0.0
不明		33	60.6	42.4	12.1	9.1	18.2	36.4	12.1	24.2	27.3	12.1	18.2	9.1	0.0

5. 児童虐待について

問 13 あなたは、児童虐待防止のオレンジリボンを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「知らない」が 83.9%、「知っている」が 14.0%と、認知度は低い。

図 オレンジリボンの認知度



■ 子どもの有無と段階別 オレンジリボンの認知度（問 13×問 32）

- ・いずれの世代も「知らない」が「知っている」を上回っている。特に子どもが中学生・高校生の場合は「知らない」が9割を超え、特に認知度が低くなっている。

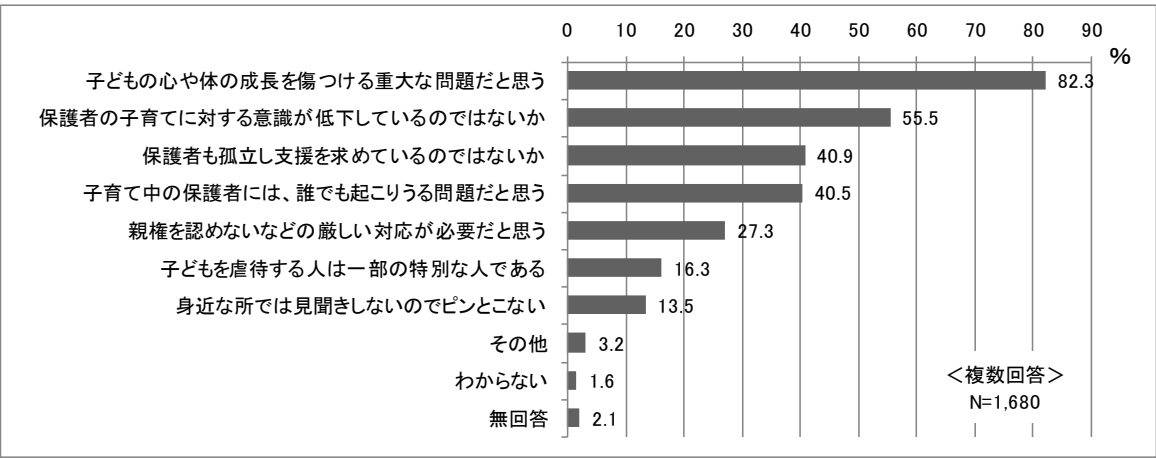
図 子どもの有無と段階別 オレンジリボンの認知度

		合計	問13 児童虐待防止のオレンジリボン		
			知っている	知らない	不明
全体		1680	14.0	83.9	2.1
問32 お子さんの段階	小学校入学前	181	14.4	85.6	0.0
	小学校在学中	166	12.0	88.0	0.0
	中学校在学中	83	4.8	95.2	0.0
	高校在学中	78	9.0	91.0	0.0
	各種学校、専修・専門学校在学中	13	15.4	84.6	0.0
	短大・大学・大学院在学中	88	13.6	86.4	0.0
	学校教育終了-未婚-同居	300	14.3	84.0	1.7
	学校教育終了-未婚-別居	152	14.5	84.2	1.3
	学校教育終了-既婚-同居	72	12.5	86.1	1.4
	学校教育終了-既婚-別居	422	17.1	80.6	2.4
	その他	26	15.4	80.8	3.8
	子どもはいない	473	13.1	86.0	0.8
不明	103	12.6	71.8	15.5	

問 14 最近保護者による児童虐待が問題となっています。この事をどのように思いますか。
(○はいくつでも)

- ・「子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う」が 82.3% で最も多く、8割を超える人が挙げている。次いで「保護者の子育てに対する意識が低下しているのではないか」(55.5%) を半数強の人が挙げている。一方「保護者も孤立し支援を求めているのではないか」(40.9%)、「子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う」(40.5%) と保護者の閉塞感を指摘する意見も 4 割程度挙がっている。

図 保護者による児童虐待の問題について（複数回答）



■ 子どもの有無と段階別 保護者による児童虐待の問題について（問 14×問 32）

- ・いずれも「子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う」が最も多くなっている。また子どもが小学校入学前、小学校在学中の場合、「保護者も孤立し支援を求めているのではないか」「子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う」の数値が他に比べて特に高く、幼い子供を育てている親としての視点が反映されている。一方、子どもが各種学校、専修・専門学校在学中とその他では「保護者の子育てに対する意識が低下しているのではないか」、学校教育終了-既婚-同居では「身近な所では見聞きしないのでピンとこない」の数値が他に比べて高い。

図 子どもの有無と段階別 保護者による児童虐待の問題について

		問14 最近保護者による児童虐待が問題になっていることについて										
		合計	大成長を傷つける重大な問題だと思う	保護者の子育てに対する意識が低下しているのではないか	保護者も孤立し支援を求めているのではないか	子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う	親権を認めないなどの厳しい対応が必要だと思う	子どもを虐待する人は一部の特別な人である	身近な所では見聞きしないのでピンとこない	その他（具体的な見聞きしない）	わからない	不明
全体		1680	82.3	55.5	40.9	16.3	27.3	40.5	13.5	3.2	1.6	2.1
問32 お子さんの段階	小学校入学前	181	90.6	37.6	57.5	9.9	24.3	64.1	6.6	5.0	0.0	0.0
	小学校在学中	166	83.1	37.3	54.8	10.8	25.9	57.8	7.2	1.8	1.8	0.0
	中学校在学中	83	78.3	47.0	43.4	18.1	28.9	47.0	8.4	1.2	2.4	0.0
	高校在学中	78	85.9	62.8	39.7	17.9	30.8	41.0	7.7	5.1	1.3	0.0
	各種学校、専修・専門学校在学中	13	84.6	69.2	30.8	15.4	30.8	38.5	15.4	0.0	0.0	0.0
	短大・大学・大学院在学中	88	90.9	55.7	46.6	12.5	34.1	55.7	10.2	2.3	0.0	0.0
	学校教育終了-未婚-同居	300	85.7	63.0	42.7	20.0	30.7	44.3	15.3	3.0	0.3	0.7
	学校教育終了-未婚-別居	152	88.2	61.2	42.8	19.1	27.6	36.8	15.1	4.6	0.7	0.7
	学校教育終了-既婚-同居	72	76.4	62.5	29.2	23.6	27.8	31.9	23.6	0.0	2.8	1.4
	学校教育終了-既婚-別居	422	83.4	61.4	37.0	19.7	25.4	34.1	14.0	2.8	1.2	1.7
	その他	26	76.9	69.2	42.3	23.1	7.7	34.6	15.4	3.8	0.0	0.0
	子どもはいない	473	80.1	56.9	40.6	13.5	30.2	36.8	15.9	4.0	3.0	0.6
	不明	103	60.2	43.7	18.4	15.5	14.6	26.2	12.6	1.9	2.9	23.3

問 15 あなたは、児童虐待を見たり感じたりした時にどのように対応しましたか。又は、どう対応しますか。(〇はいくつでも)

- ・「専門機関に連絡」が最も多く 36.3%の人が挙げている。次いで「警察に相談」(25.8%)、「知り合いに相談」(24.2%)、「地域の役員(民生委員・児童委員、主任児童委員)に連絡」(18.9%)、「虐待されている子どもが通っている保育園や幼稚園、小中学校に相談」(10.6%)と、いずれかの機関に連絡または相談するという回答が上位を占めている。
- ・また、「専門機関に連絡する」と回答した人に、どの専門機関に連絡するかを尋ねると、「戸塚区役所こども家庭支援課(866-8472)に連絡」(45.2%)、「よこはまこども虐待ホットライン(0120-805-240)に連絡」(35.6%)、「南部児童相談所(831-4735)に連絡」(13.6%)の順となっている。

図 児童虐待を見たり感じたりした時の対応について(複数回答)

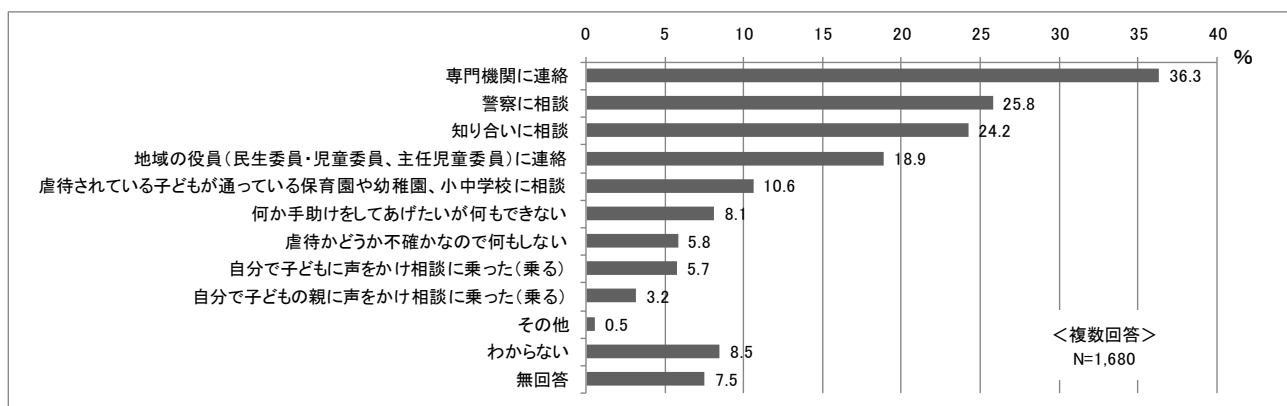
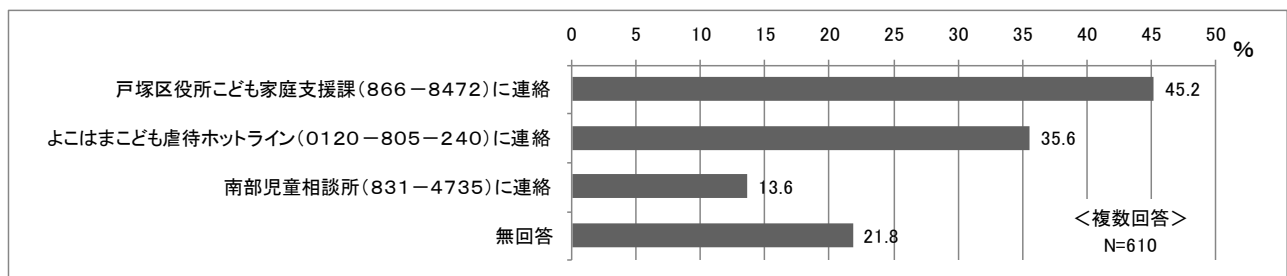


図 連絡する専門機関(複数回答)



■ 年齢別 児童虐待を見たり感じたりした時の対応について（問 15×問 29）

- ・10代、20代では「知り合いに相談」、30代から60代までの世代では「専門機関に連絡」、70代より上の世代では「地域の役員（民生委員・児童委員、主任児童委員）に連絡」が最も多くなっており、世代により対応が分かれた。30代では「知り合いに相談」も高い数値となっている。また、10代では他の世代に比べて「自分で子どもに声をかけ相談に乗った（乗る）」の数値が高い。
- ・連絡する専門機関としては、10代から50代までの世代では「よこはまこども虐待ホットラインに連絡」、60代より上の世代では「戸塚区役所こども家庭支援課に連絡」が最も多くなっている。

図 年齢別 児童虐待を見たり感じたりした時の対応について

		合計	問15 児童虐待を見たり感じたりした時のあなたの対応												
			専門機関に連絡	児童委員、主任児童委員・に連絡	警察に相談	知り合いに相談	園通達されている子どもが小中学校に相談	虐待されている子どもが相談に乗った（乗る）	自分で子どもに声をかけ相談に乗った（乗る）	自分でも親に声をかけ相談に乗った（乗る）	虐待かもしれない	何か手助けをしてあげた	その他（具体的に）	わからない	不明
全体		1680	36.3	18.9	25.8	24.2	10.6	5.7	3.2	5.8	8.1	0.5	8.5	7.5	
問29-1 年齢	16～19歳	50	20.0	4.0	24.0	40.0	16.0	22.0	10.0	4.0	2.0	2.0	18.0	6.0	
	20～29歳	138	37.7	3.6	29.7	38.4	17.4	10.9	5.8	6.5	8.0	0.7	4.3	2.9	
	30～39歳	275	42.9	7.6	23.3	36.7	13.5	6.5	3.6	5.8	9.5	0.0	7.3	2.2	
	40～49歳	264	33.3	11.0	22.7	29.5	9.5	4.9	2.7	7.6	7.2	1.1	12.5	3.0	
	50～59歳	248	39.5	17.7	33.5	24.2	10.5	3.6	1.6	6.0	10.1	0.4	6.5	3.6	
	60～69歳	344	37.8	28.5	25.9	14.8	7.0	5.2	2.6	4.4	8.7	0.3	9.3	11.3	
	70～79歳	238	31.5	33.6	25.2	13.9	9.2	3.4	2.1	6.3	8.0	0.4	6.3	13.9	
	80歳以上	90	25.6	30.0	16.7	6.7	8.9	1.1	4.4	3.3	4.4	1.1	10.0	23.3	
	不明	33	48.5	33.3	27.3	15.2	12.1	9.1	3.0	6.1	3.0	0.0	6.1	9.1	

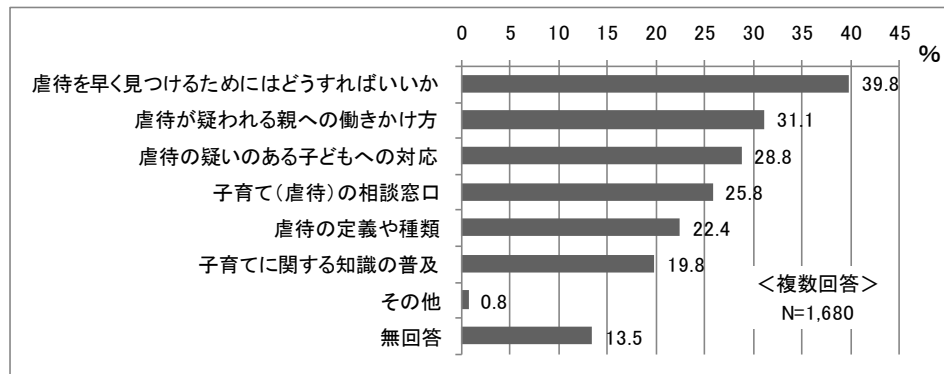
図 年齢別 連絡する専門機関

		合計	問15-1 連絡する専門機関			
			A 南部児童相談所に連絡	B よこはまこども虐待ホットラインに連絡	C 戸塚区役所こども家庭支援課に連絡	不明
全体		610	13.6	35.6	45.2	21.8
問29-1 年齢	16～19歳	10	0.0	60.0	30.0	20.0
	20～29歳	52	19.2	38.5	32.7	25.0
	30～39歳	118	12.7	41.5	33.9	24.6
	40～49歳	88	19.3	39.8	35.2	23.9
	50～59歳	98	11.2	42.9	39.8	24.5
	60～69歳	130	11.5	28.5	61.5	16.9
	70～79歳	75	13.3	21.3	58.7	22.7
	80歳以上	23	21.7	21.7	60.9	13.0
	不明	16	0.0	43.8	50.0	12.5

問 16 あなたは、児童虐待についてどのようなことを知りたいですか。(〇はいくつでも)

- ・「虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか」が最も多く 39.8%で、4割程度の人が挙げている。以下「虐待が疑われる親への働きかけ方」(31.1%)、「虐待の疑いのある子どもへの対応」(28.8%)、「子育て(虐待)の相談窓口」(25.8%)、「虐待の定義や種類」(22.4%)、「子育てに関する知識の普及」(19.8%)、「その他」(0.8%)の順となっている。

図 児童虐待について知りたいこと（複数回答）



■ 年齢別 児童虐待について知りたいこと（問 16×問 29）

- ・10代、30代では「虐待の疑いのある子どもへの対応」が最も多く、20代、40代では「虐待が疑われる親への働きかけ方」が最も多い。また、「虐待が疑われる親への働きかけ方」は10代、30代でも数値が高くなっており、子ども世代～子育て現役世代では直接的な対応方法を知りたいと考えていることが伺われる。50代より上の世代では「虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか」が最も多くなっている。

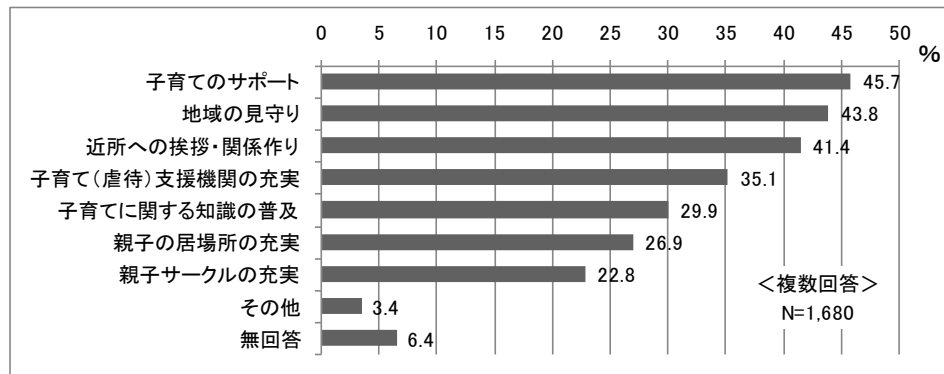
図 年齢別 児童虐待について知りたいこと

		問16 児童虐待について知りたいこと							
		合計	虐待の定義や種類	虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか	虐待が疑われる親への働きかけ方	虐待の疑いのある子どもへの対応	子育て(虐待)の相談窓口	子育てに関する知識の普及	その他
全体		1680	22.4	39.8	31.1	28.8	25.8	19.8	0.8
問29-1 年齢	16～19歳	50	32.0	46.0	44.0	50.0	14.0	22.0	0.0
	20～29歳	138	29.0	37.0	43.5	37.7	31.2	29.0	0.7
	30～39歳	275	22.9	41.1	41.8	44.0	32.0	27.6	1.8
	40～49歳	264	24.6	33.3	34.1	28.8	29.2	18.6	0.4
	50～59歳	248	18.5	39.5	29.8	28.2	23.8	15.7	0.0
	60～69歳	344	22.4	47.7	29.7	26.5	23.3	17.4	0.3
	70～79歳	238	20.2	39.1	16.8	15.5	24.8	18.5	1.3
	80歳以上	90	15.6	23.3	13.3	5.6	14.4	12.2	2.2
不明		33	24.2	51.5	21.2	18.2	21.2	9.1	0.0

問 17 あなたは、児童虐待を防止するためにはどのようなことが必要だと考えますか。(〇はいくつでも)

- ・「子育てのサポート」が最も多く 45.7%、次いで「地域の見守り」(43.8%)、「近所への挨拶・関係作り」(41.4%)と続く。以下「子育て(虐待)支援機関の充実」(35.1%)、「子育てに関する知識の普及」(29.9%)、「親子の居場所の充実」(26.9%)、「親子サークルの充実」(22.8%)、「その他」(3.4%)となっており、回答は比較的分散した。

図 児童虐待を防止するために必要なこと(複数回答)



■ 男女別 児童虐待を防止するために必要なこと(問 17×問 28)

- ・男性では「地域の見守り」、女性では「子育てのサポート」が最も多くなっており、男女で見方が分かれた。また、女性は男性より「親子の居場所の充実」の数値が 8.3 ポイント高い。

図 男女別 児童虐待を防止するために必要なこと

		問17 児童虐待を防止するために必要なこと								
		合計	近所への挨拶・関係作り	地域の見守り	親子サークルの充実	子育てのサポート	親子の居場所の充実	子育て(虐待)支援機関の充実	子育てに関する知識の普及	その他
全体		1680	41.4	43.8	22.8	45.7	26.9	35.1	29.9	3.4
問28 性別	男性	698	39.8	40.5	20.2	39.3	22.2	36.0	29.1	4.0
	女性	942	42.3	46.8	24.4	51.1	30.5	34.6	31.2	3.1
	不明	40	47.5	30.0	30.0	32.5	25.0	32.5	15.0	0.0

■ 年齢別 児童虐待を防止するために必要なこと(問 17×問 29)

- ・10代から50代では「子育てのサポート」、60代、70代では「地域の見守り」、80代以上では「近所への挨拶・関係作り」が最も多い。また、10代も「近所への挨拶・関係作り」、20代、30代では「親子の居場所の充実」の数値が高くなっている。

図 年齢別 児童虐待を防止するために必要なこと

		問17 児童虐待を防止するために必要なこと								
		合計	近所への挨拶・関係作り	地域の見守り	親子サークルの充実	子育てのサポート	親子の居場所の充実	子育て(虐待)支援機関の充実	子育てに関する知識の普及	その他
全体		1680	41.4	43.8	22.8	45.7	26.9	35.1	29.9	3.4
問29-1 年齢	16~19歳	50	54.0	36.0	20.0	58.0	36.0	42.0	28.0	2.0
	20~29歳	138	40.6	38.4	28.3	52.2	41.3	39.9	32.6	11.6
	30~39歳	275	49.5	39.6	25.1	60.7	41.1	33.8	31.6	3.3
	40~49歳	264	40.9	39.8	25.0	48.1	26.5	37.5	28.0	4.9
	50~59歳	248	35.9	49.2	21.8	51.2	24.2	39.9	31.5	2.0
	60~69歳	344	36.9	53.2	21.2	40.4	23.0	37.2	30.8	2.3
	70~79歳	238	44.5	46.6	21.8	34.9	16.4	27.7	31.5	1.3
	80歳以上	90	33.3	26.7	14.4	16.7	11.1	22.2	21.1	1.1
	不明	33	48.5	33.3	21.2	27.3	18.2	27.3	15.2	3.0

■ 子どもの有無と段階別 児童虐待を防止するために必要なこと（問 17×問 32）

- ・子どもが入学前・小学校在学中と、その他、子どものいない世帯では「子育てのサポート」が最も多い。また、子どもが入学前・小学校在学中と比較的若い場合、「親子の居場所の充実」の数値が他に比べて高くなっている。子どもが中学、高校では「近所への挨拶・関係作り」、子どもが各種・専修・専門学校の場合は「近所への挨拶・関係作り」と「子育て（虐待）支援機関の充実」が同率、子どもが短大・大学・大学院以上の年齢である場合は「地域の見守り」が最も多く、子どもの段階によって傾向が分かれた。

図 子どもの有無と段階別 児童虐待を防止するために必要なこと

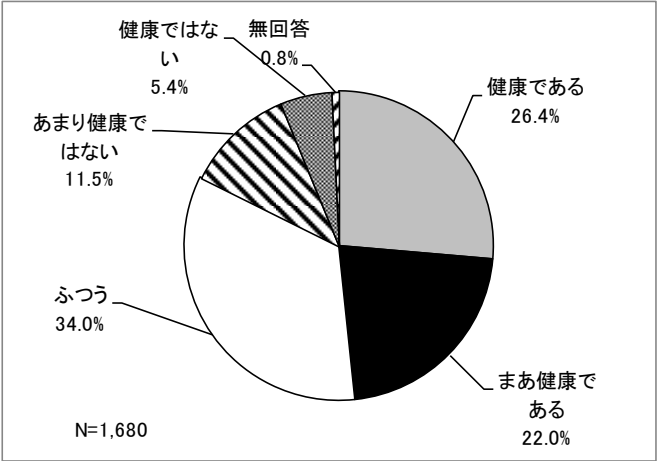
		合計	問17 児童虐待を防止するために必要なこと								
			近所への挨拶・関係作り	地域の見守り	親子サークルの充実	子育てのサポート	親子の居場所の充実	子育て（虐待）支援機関の充実	子育てに関する知識の普及	その他	不明
全体		1680	41.4	43.8	22.8	45.7	26.9	35.1	29.9	3.4	6.4
問32 お子さんの段階	小学校入学前	181	45.9	37.0	29.3	59.7	46.4	37.6	27.1	3.3	2.2
	小学校在学中	166	42.2	38.0	22.3	53.6	39.2	33.1	23.5	3.6	0.6
	中学校在学中	83	42.2	34.9	19.3	41.0	30.1	32.5	21.7	3.6	1.2
	高校在学中	78	56.4	43.6	21.8	37.2	20.5	41.0	24.4	3.8	3.8
	各種学校、専修・専門学校在学中	13	46.2	38.5	15.4	30.8	0.0	46.2	0.0	7.7	0.0
	短大・大学・大学院在学中	88	39.8	52.3	23.9	40.9	29.5	42.0	29.5	4.5	2.3
	学校教育終了-未婚-同居	300	39.7	51.3	21.3	46.0	20.3	36.7	29.0	2.3	6.7
	学校教育終了-未婚-別居	152	36.2	55.9	17.8	38.2	20.4	30.9	28.9	2.6	5.9
	学校教育終了-既婚-同居	72	37.5	41.7	27.8	33.3	22.2	25.0	30.6	2.8	12.5
	学校教育終了-既婚-別居	422	42.2	50.2	22.5	39.6	20.4	34.4	32.9	2.4	6.6
	その他	26	30.8	34.6	23.1	38.5	30.8	34.6	34.6	0.0	3.8
	子どもはいない	473	40.8	42.5	23.3	51.2	29.0	37.4	32.8	5.5	6.1
	不明	103	37.9	25.2	21.4	26.2	22.3	21.4	19.4	1.0	23.3

6. 健康づくりについて

問 18 あなたは現在、健康だと思いますか。（○は 1 つだけ）

- ・「ふつう」が最も多く 34.0%となっている。次いで「健康である」が 26.4%、「まあ健康である」が 22.0%で、これらを合わせると 8 割以上の人 が現時点で健康には問題ないとしている。以下「あまり健康ではない」が 11.5%、「健康ではない」が 5.4%である。

図 現在の健康状態



■ 年齢別 現在の健康状態（問 18×問 29）

- ・ 10 代から 30 代では「健康である」、40 代より上の世代では「ふつう」が最も多い。また、80 代以上では「あまり健康ではない」の数値が他に比べて高くなっている。

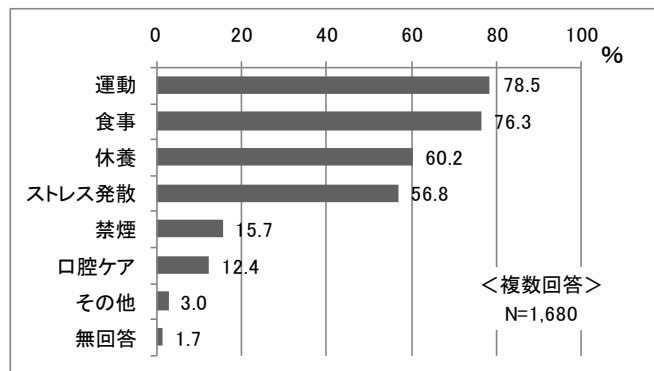
図 年齢別 現在の健康状態

		合計	問18 現在健康であるか					
			健康である	まあ健康である	ふつう	あまり健康ではない	健康ではない	不明
問29-1 年齢	全体	1680	26.4	22.0	34.0	11.5	5.4	0.8
	16～19歳	50	52.0	14.0	26.0	4.0	2.0	2.0
	20～29歳	138	39.1	22.5	28.3	9.4	0.7	0.0
	30～39歳	275	38.9	21.1	30.5	7.6	1.5	0.4
	40～49歳	264	25.0	24.6	37.5	7.6	4.9	0.4
	50～59歳	248	23.4	21.8	37.9	12.1	4.4	0.4
	60～69歳	344	22.4	24.4	32.8	12.5	7.6	0.3
	70～79歳	238	16.8	18.5	39.5	15.1	8.4	1.7
	80歳以上	90	12.2	18.9	30.0	23.3	14.4	1.1
	不明	33	12.1	27.3	24.2	21.2	6.1	9.1

問 19 あなたは、自身の健康づくりのために必要なことはどのようなことだと思いますか。
(○はいくつでも)

- ・「運動」が 78.5%、「食事」が 76.3%でほぼ並んでいる。以下「休養」(60.2%)、「ストレス発散」(56.8%)についても過半数の人が挙げている。

図 健康づくりのために必要なこと（複数回答）



■ 男女別 健康づくりのために必要なこと（問 19×問 28）

- ・男性は「運動」、女性は「食事」が最も多い。また、女性は「ストレス発散」で 14.4 ポイント、「休養」で 9.5 ポイント男性を上回っている。

図 男女別 健康づくりのために必要なこと

		問19 健康づくりのために必要なこと							
		合計	運動	食事	休養	ストレス 発散	禁煙	口腔ケア	その他
全体		1680	78.5	76.3	60.2	56.8	15.7	12.4	3.0
問28 性別	男性	698	81.9	74.4	55.0	48.9	19.8	8.7	3.2
	女性	942	76.3	77.9	64.5	63.3	12.3	15.0	2.7
	不明	40	67.5	72.5	50.0	45.0	22.5	17.5	10.0

■ 年齢別 健康づくりのために必要なこと（問 19×問 29）

- ・10代から30代と80代以上では「食事」、40代から70代では「運動」が最も多い。また、10代から40代では「休養」、10代から30代で「ストレス発散」の数値が高くなっている。

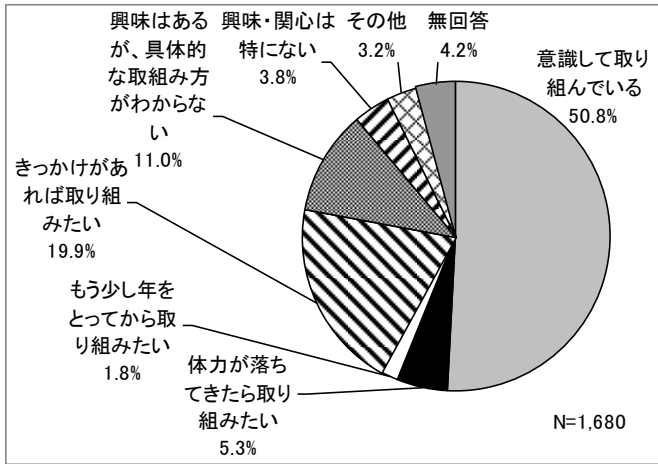
図 年齢別 健康づくりのために必要なこと

		問19 健康づくりのために必要なこと							
		合計	運動	食事	休養	ストレス 発散	禁煙	口腔ケア	その他
全体		1680	78.5	76.3	60.2	56.8	15.7	12.4	3.0
問29-1 年齢	16～19歳	50	78.0	84.0	82.0	68.0	22.0	6.0	0.0
	20～29歳	138	75.4	77.5	74.6	71.0	14.5	11.6	4.3
	30～39歳	275	76.0	76.4	75.6	68.7	16.4	10.9	2.2
	40～49歳	264	81.1	74.2	71.6	59.8	15.2	11.4	2.7
	50～59歳	248	79.8	75.0	60.5	56.5	14.9	10.1	4.0
	60～69歳	344	80.8	78.2	47.7	52.6	16.9	13.1	2.3
	70～79歳	238	83.6	80.3	45.0	48.7	15.1	17.6	2.9
	80歳以上	90	61.1	64.4	40.0	26.7	11.1	12.2	2.2
	不明	33	66.7	69.7	42.4	45.5	18.2	21.2	12.1

問 20 あなたは現在、健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つだけ)

- ・「意識して取り組んでいる」が 50.8% でほぼ半数を占め、最も多くなっている。次に「きっかけがあれば取り組みたい」が 19.9% で 2 割程度である。以下、「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」(11.0%)、「体力が落ちてきたら取り組みたい」(5.3%)、「興味・関心は特にない」(3.8%)、「もう少し年をとってから取り組みたい」(1.8%) の順となっている。

図 健康づくりへの取り組み



■ 年齢別 健康づくりへの取り組み (問 20×問 29)

- ・いずれも「意識して取り組んでいる」が最も多く、特に 60 代、70 代では数値が高くなっている。また、20 代、30 代では「きっかけがあれば取り組みたい」の数値が他の世代に比べて特に高い。

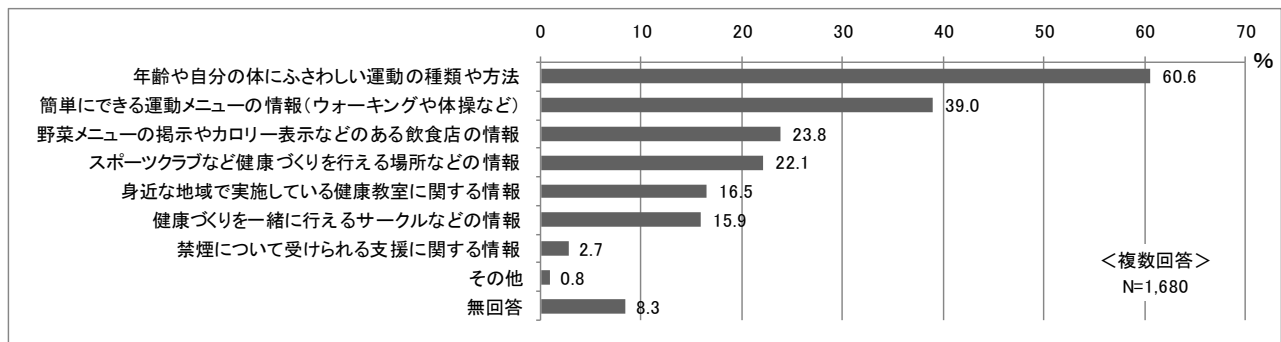
図 年齢別 健康づくりへの取り組み

		合計	問20 健康づくりに取り組んでいるか							
			意識して 取り組ん でいる	体力が落 ちてきた ら取り組 みたい	もう少し 年をとっ てから取 り組みた い	きっかけ があれば 取り組み たい	興味はあ るが、具 体的な取 組み方が わからない	興味・関 心は特に ない	その他	不明
全体		1680	50.8	5.3	1.8	19.9	11.0	3.8	3.2	4.2
問29-1 年齢	16～19歳	50	50.0	4.0	6.0	14.0	12.0	8.0	4.0	2.0
	20～29歳	138	34.8	10.9	5.8	32.6	8.0	2.9	2.9	2.2
	30～39歳	275	38.9	6.5	1.5	30.2	14.5	2.2	4.0	2.2
	40～49歳	264	45.8	5.3	2.7	22.0	12.9	4.2	4.5	2.7
	50～59歳	248	49.6	5.6	1.2	21.0	15.3	2.0	3.2	2.0
	60～69歳	344	61.3	4.4	0.9	14.8	9.0	4.7	1.7	3.2
	70～79歳	238	66.4	2.5	1.3	10.5	6.7	4.6	2.1	5.9
	80歳以上	90	54.4	4.4	0.0	6.7	5.6	5.6	4.4	18.9
	不明	33	36.4	3.0	0.0	24.2	9.1	6.1	3.0	18.2

問 21 あなたが知りたいと思う健康づくりの情報はどれですか。（〇はいくつでも）

- ・「年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法」が 60.6% で飛びぬけて多く、6 割強の人が挙げている。次いで「簡単にできる運動メニューの情報（ウォーキングや体操など）」が 39.0% である。以下「野菜メニューの掲示やカロリー表示などのある飲食店の情報」（23.8%）、「スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報」（22.1%）についても 2 割以上の人が挙げている。

図 知りたいと思う健康づくりの情報（複数回答）



■ 年齢別 知りたいと思う健康づくりの情報（問 21×問 29）

- ・いずれも「年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法」が最も多い。また、10 代では「野菜メニューの掲示やカロリー表示などのある飲食店の情報」、30 代では「スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報」の数値が他の世代に比べて高い。なお「簡単にできる運動メニューの情報（ウォーキングや体操など）」は 50 代から 70 代の中高年層で高い傾向になっている。

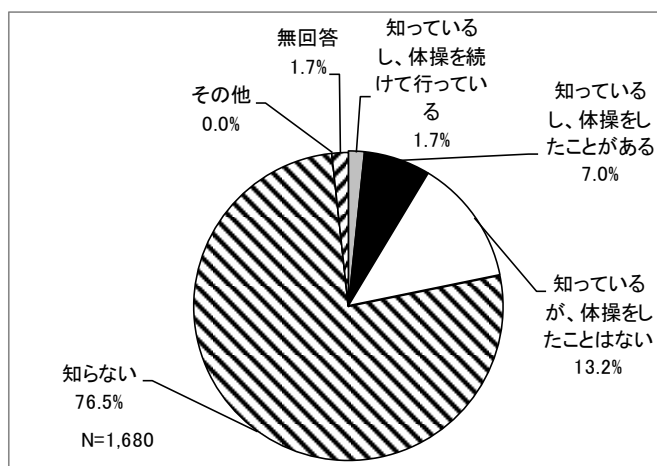
図 年齢別 知りたいと思う健康づくりの情報

		問21 知りたいと思う健康づくりの情報								
		合計	年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法	野菜メニューの掲示やカロリー表示などのある飲食店の情報	簡単にできる運動メニューの情報(ウォーキングや体操など)	スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報	健康づくりを一緒にできるサークルなどの情報	身近な地域で実施している健康教室に関する情報	禁煙について受けられる支援に関する情報	その他
全体		1680	60.6	23.8	39.0	22.1	15.9	16.5	2.7	0.8
問29-1 年齢	16～19歳	50	58.0	46.0	36.0	32.0	14.0	4.0	4.0	0.0
	20～29歳	138	60.1	29.0	32.6	28.3	13.0	3.6	3.6	2.2
	30～39歳	275	54.9	25.8	36.0	38.2	18.2	16.0	1.8	1.5
	40～49歳	264	57.6	25.8	37.5	25.4	17.8	20.1	1.9	1.1
	50～59歳	248	66.9	23.0	43.5	19.0	13.7	16.5	4.4	0.0
	60～69歳	344	63.7	21.2	44.8	16.0	16.0	19.8	2.6	0.6
	70～79歳	238	66.8	19.7	41.2	12.6	18.1	20.6	1.3	0.4
	80歳以上	90	50.0	15.6	25.6	6.7	8.9	5.6	2.2	1.1
不明		33	42.4	21.2	33.3	21.2	15.2	30.3	9.1	0.0

問 22 戸塚区では、「はまちゃん体操」をみなさんにお勧めしていますが、この体操を知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「知らない」が 76.5%と全体の 4 分の 3 以上を占め、認知度は低い。「知っているが、体操をしたことはない」は 13.2%である。「知っているし、体操をしたことがある」は 7.0%、「知っているし、体操を続けて行っている」は 1.7%で、これらを合わせると認知度は 2 割程度、実際に「はまちゃん体操」に取り組んでいるのは全体の 1 割に満たない。

図 「はまちゃん体操」の認知度



■ 年齢別 「はまちゃん体操」の認知度 (問 22×問 29)

- ・いずれも「知らない」が最も多くなっており、10 代から 40 代までは「知っているし、体操を続けて行っている」の数値が 0 である。
- ・「知っているし、体操を続けて行っている」「知っているし、体操をしたことがある」「知っているが、体操をしたことはない」を合わせて、程度の差はあれ「はまちゃん体操を知っている」割合を見てみると、50 代を境に「知っている」が 2 割を超え、中高年齢層での認知度が高いことがわかる。特に 70 代では 4 割近くが「知っている」としている。逆に若年層、特に 10 代での認知度は極めて低い。

図 年齢別 「はまちゃん体操」の認知度

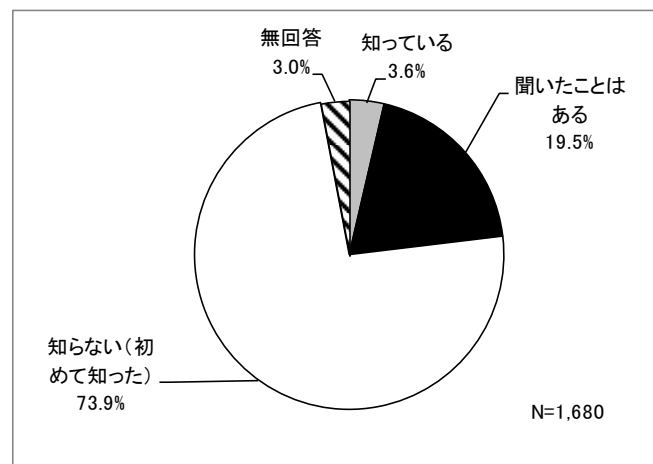
		合計	問22 「はまちゃん体操」を知っているか								
			知っているし、体操を続けて行っている	知っているし、体操をしたことがある	知っているが、体操をしたことはない	知らない	その他	不明	知っている	知らない	不明
全体		1680	1.7	7.0	13.2	76.5	0.0	1.7	13.2	76.5	1.7
問29-1 年齢	16～19歳	50	0.0	2.0	0.0	96.0	0.0	2.0	2.0	96.0	2.0
	20～29歳	138	0.0	1.4	5.1	92.8	0.0	0.7	6.5	92.8	0.7
	30～39歳	275	0.0	4.4	13.8	80.7	0.0	1.1	18.2	80.7	1.1
	40～49歳	264	0.0	3.4	11.7	84.1	0.0	0.8	15.2	84.1	0.8
	50～59歳	248	0.4	6.5	13.7	79.0	0.0	0.4	20.6	79.0	0.4
	60～69歳	344	1.7	8.7	15.7	73.0	0.0	0.9	26.2	73.0	0.9
	70～79歳	238	5.5	14.3	18.5	60.1	0.0	1.7	38.2	60.1	1.7
	80歳以上	90	7.8	12.2	7.8	60.0	0.0	12.2	27.8	60.0	12.2
	不明	33	3.0	6.1	18.2	63.6	0.0	9.1	27.3	63.6	9.1

7. 戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～について

問 23 あなたは、戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～を知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「知らない(初めて知った)」が73.9%と全体の4分の3弱で、認知度は低い。「聞いたことはある」が19.5%、「知っている」は3.6%で、これらを合わせると認知度は2割強である。

図 「戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～」の認知度



■ 年齢別 「戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～」の認知度(問23×問29)

- ・いずれも「知らない(初めて知った)」が最も多くなっており、10代は「知っている」の数値が0であるなど、若年層ほど認知度が低い。

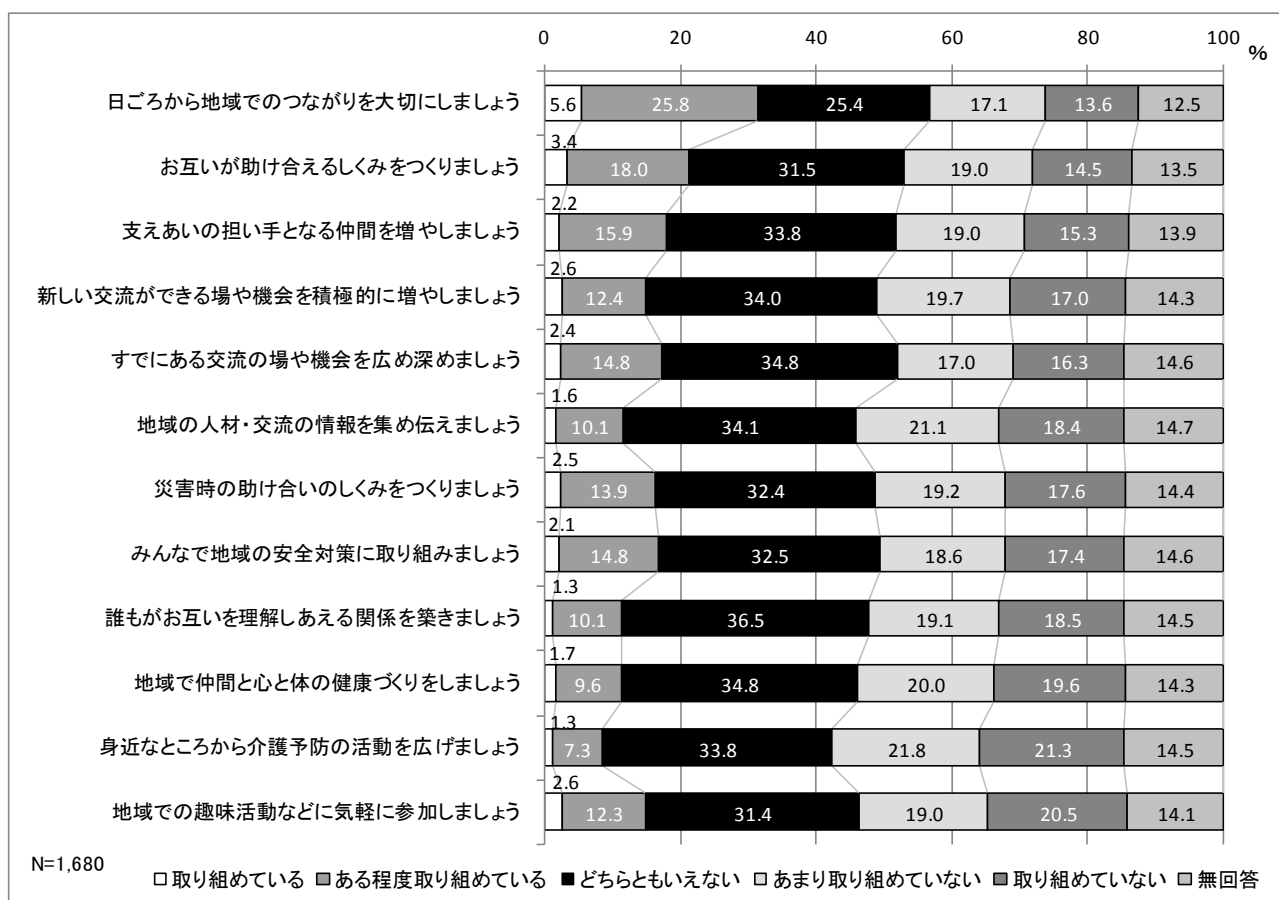
図 年齢別 「戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～」の認知度

		合計	問23 「とつかハートプラン」を知っているか			
			知っている	聞いたことはある	知らない (初めて知った)	不明
全体		1680	3.6	19.5	73.9	3.0
問29-1 年齢	16～19歳	50	0.0	10.0	88.0	2.0
	20～29歳	138	1.4	10.9	87.7	0.0
	30～39歳	275	2.5	16.4	80.7	0.4
	40～49歳	264	1.1	20.1	78.0	0.8
	50～59歳	248	2.4	21.8	73.8	2.0
	60～69歳	344	4.9	22.4	70.1	2.6
	70～79歳	238	7.6	23.1	63.4	5.9
	80歳以上	90	3.3	22.2	61.1	13.3
不明		33	15.2	9.1	57.6	18.2

問 24 下記の取組についてあなたの近所では、どの程度取り組んでいると思われますか。
(それぞれに○は1つ)

- ・「日ごろから地域でのつながりを大切にしましょう」で「ある程度取り組んでいる」が最も多くなっている以外は、いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・また、「取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」を合わせたものと「あまり取り組めていない」「取り組めていない」を合わせたものを比較してみると、「日ごろから地域でのつながりを大切にしましょう」で「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」の方が多くなっている以外は、いずれも「あまり取り組めていない」「取り組めていない」の方が多く、特に「身近なところから介護予防の活動を広げましょう」では4割以上となっている。

図 地域での取り組みについて



■ 年齢別 地域での取り組みについて（問 24×問 29，34）

1 日ごろから地域でのつながりを大切にしましょう

- ・ 20代で「取り組めていない」が最も多い。30代、70代、80代以上では「ある程度取り組んでいる」、「10代と60代では「ある程度取り組んでいる」「どちらともいえない」が同率、40代と50代では「どちらともいえない」が最も多い。

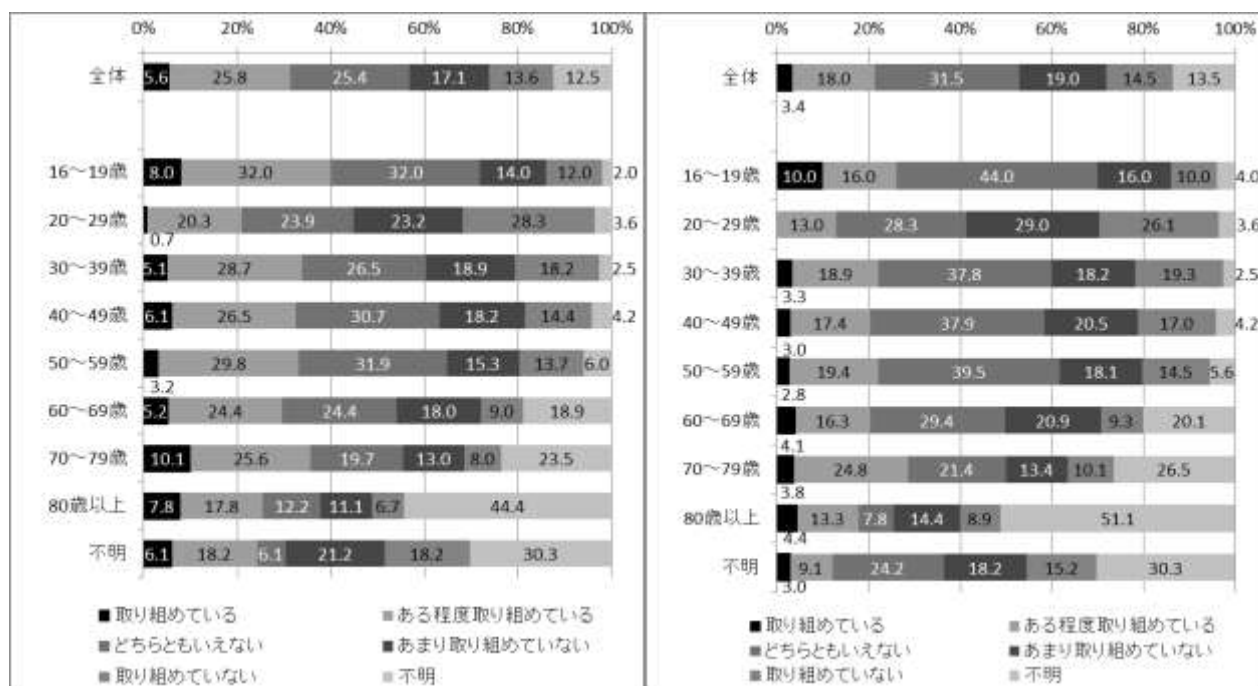
2 お互いが助け合えるしくみをつくりましょう

- ・ 70代で「ある程度取り組んでいる」、20代と80代以上で「あまり取り組めていない」、それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。20代では「取り組めていない」の数値も他世代に比べて特になくなっている。

図 年齢別 地域での取り組みについて

1 日ごろから地域でのつながりを大切にしましょう

2 お互いが助け合えるしくみをつくりましょう



3 支えあいの担い手となる仲間を増やしましょう

- ・ 80代以上で「あまり取り組めていない」、「どちらともいえない」が最も多い。ただし、20代では「取り組めていない」の数値が他世代に比べて高くなっている。

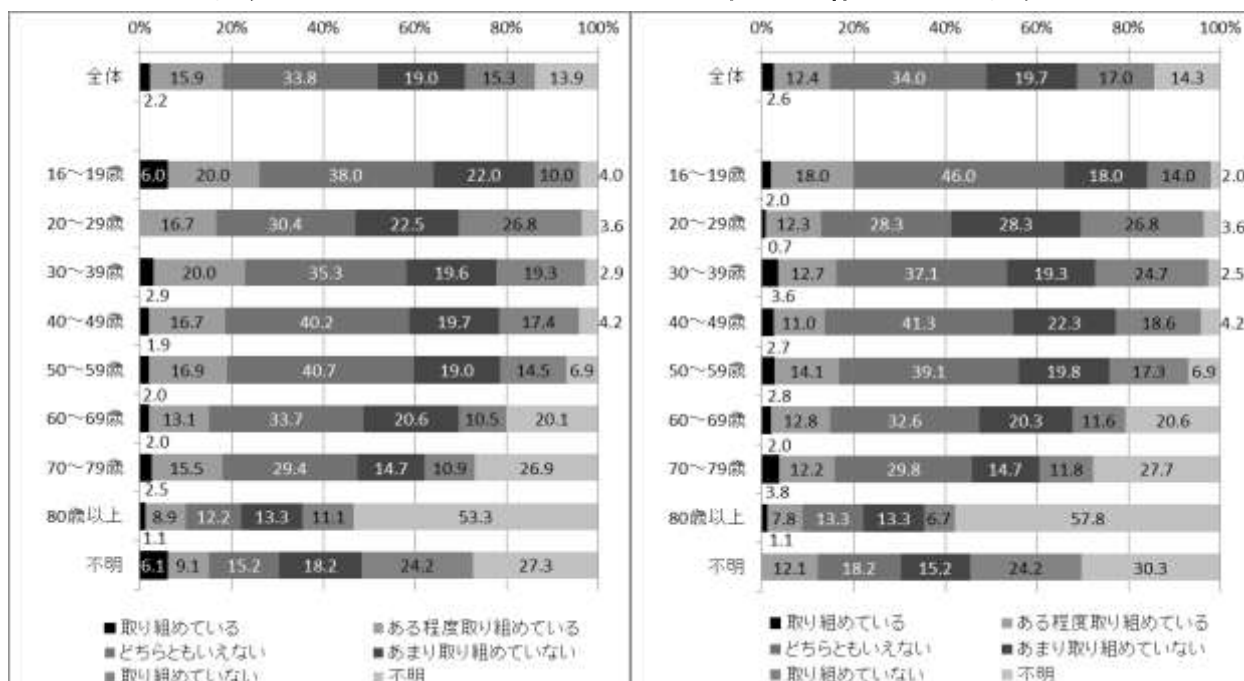
4 新しい交流ができる場や機会を積極的に増やしましょう

- ・ 20代と80代以上で「どちらともいえない」「あまり取り組めていない」が同率、それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。

図 年齢別 地域での取り組みについて

3 支えあいの担い手となる仲間を増やしましょう

4 新しい交流ができる場や機会を積極的に増やしましょう



5 すでにある交流の場や機会を広め深めましょう

- ・ 80 代以上で「どちらともいえない」「あまり取り組めていない」が同率である以外は、いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっている。

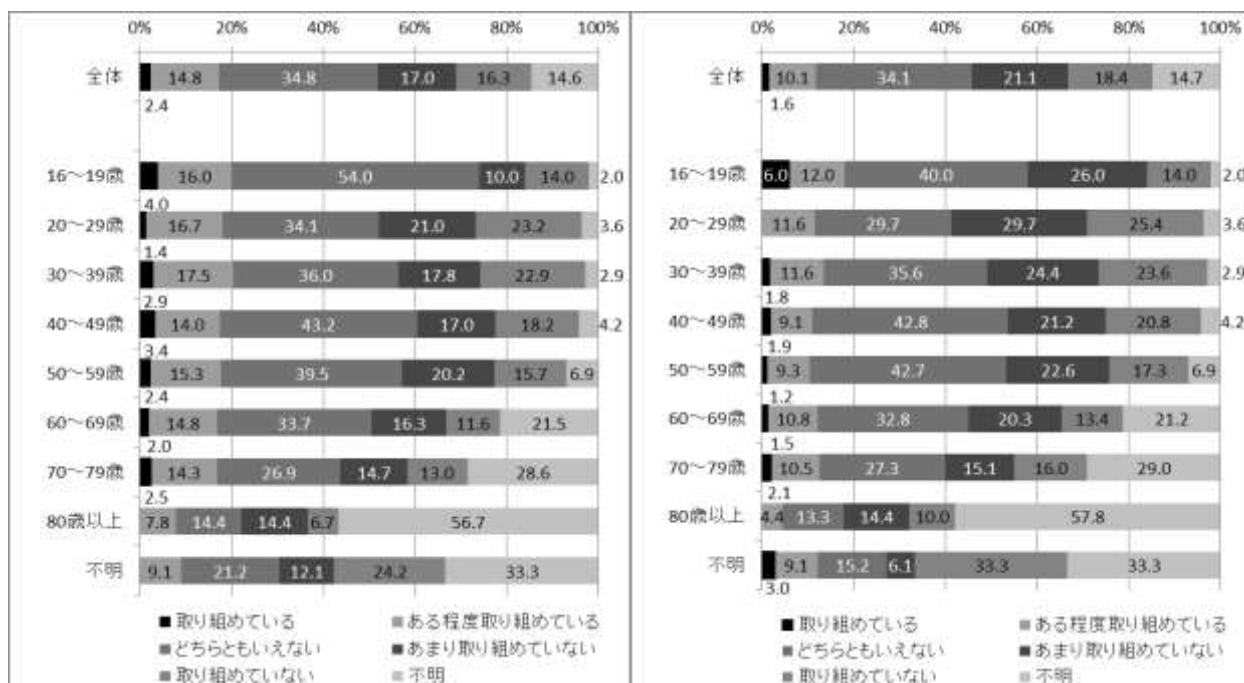
6 地域の人材・交流の情報を集め伝えましょう

- ・ 80 代以上で「あまり取り組めていない」が最も多く、20 代では「どちらともいえない」「あまり取り組めていない」が同率である。それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。

図 年齢別 地域での取り組みについて

5 すでにある交流の場や機会を広め 深めましょう

6 地域の人材・交流の情報を集め伝え ましょう



7 災害時の助け合いのしくみをつくりましょう

- ・ 80 代以上で「あまり取り組めていない」が最も多く、それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。

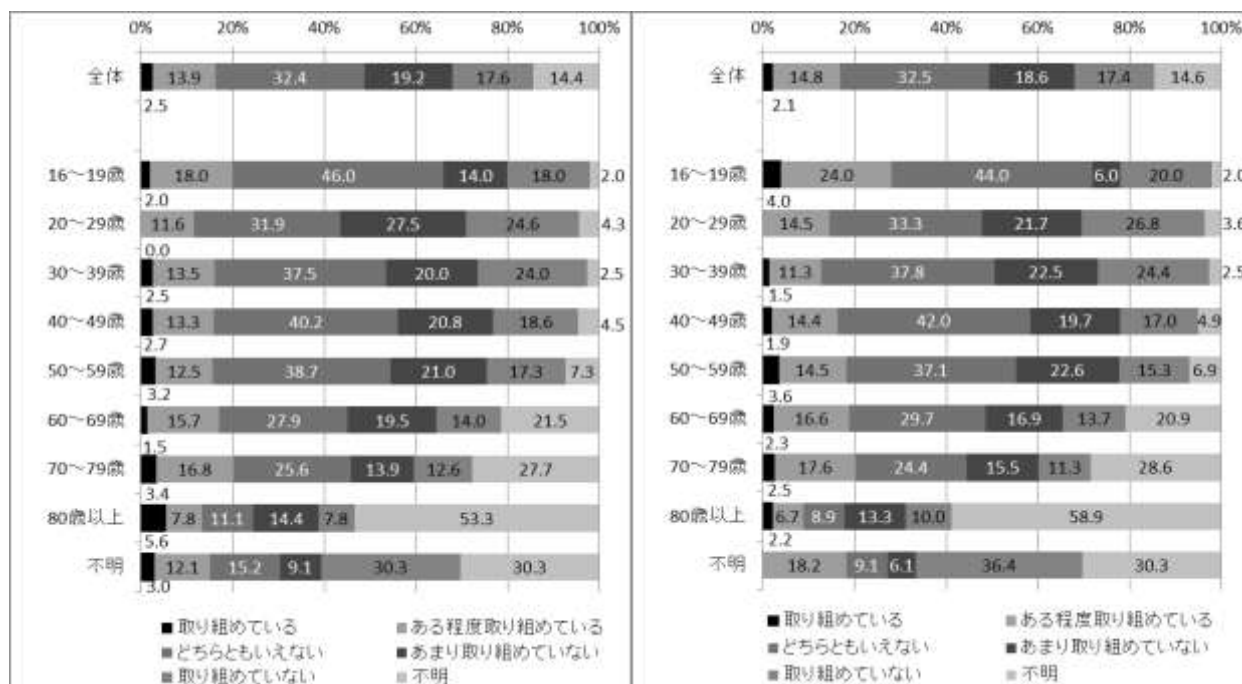
8 みんなで地域の安全対策に取り組みましょう

- ・ 80 代以上で「あまり取り組めていない」が最も多く、それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。

図 年齢別 地域での取り組みについて

7 災害時の助け合いのしくみをつくりましょう

8 みんなで地域の安全対策に取り組みましょう



9 誰もお互いを理解しあえる関係を築きましょう

- ・ 80 代以上で「あまり取り組めていない」「どちらともいえない」が同率、それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。

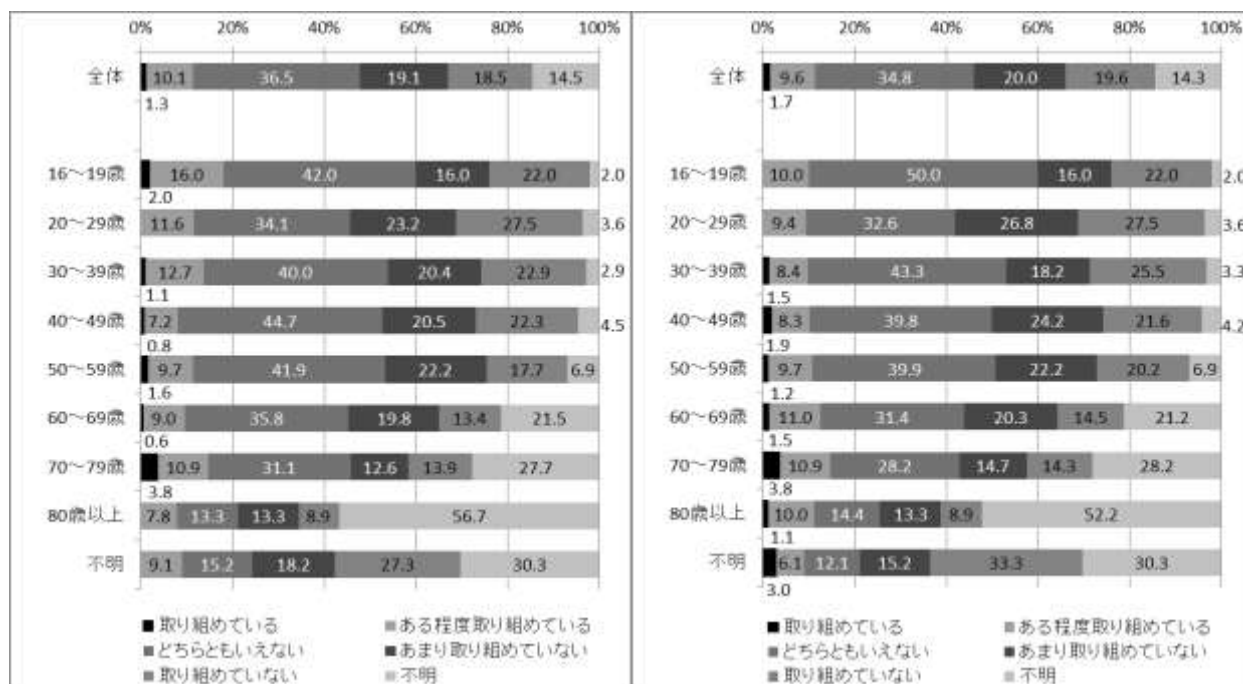
10 地域で仲間と心と体の健康づくりをしましょう

- ・ いずれの属性も「どちらともいえない」が最も多い。

図 年齢別 地域での取り組みについて

9 誰もお互いを理解しあえる関係を築きましょう

10 地域で仲間と心と体の健康づくりをしましょう



11 身近なところから介護予防の活動を広げましょう

- ・ 20代で「取り組めていない」、80代以上で「あまり取り組めていない」、それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。

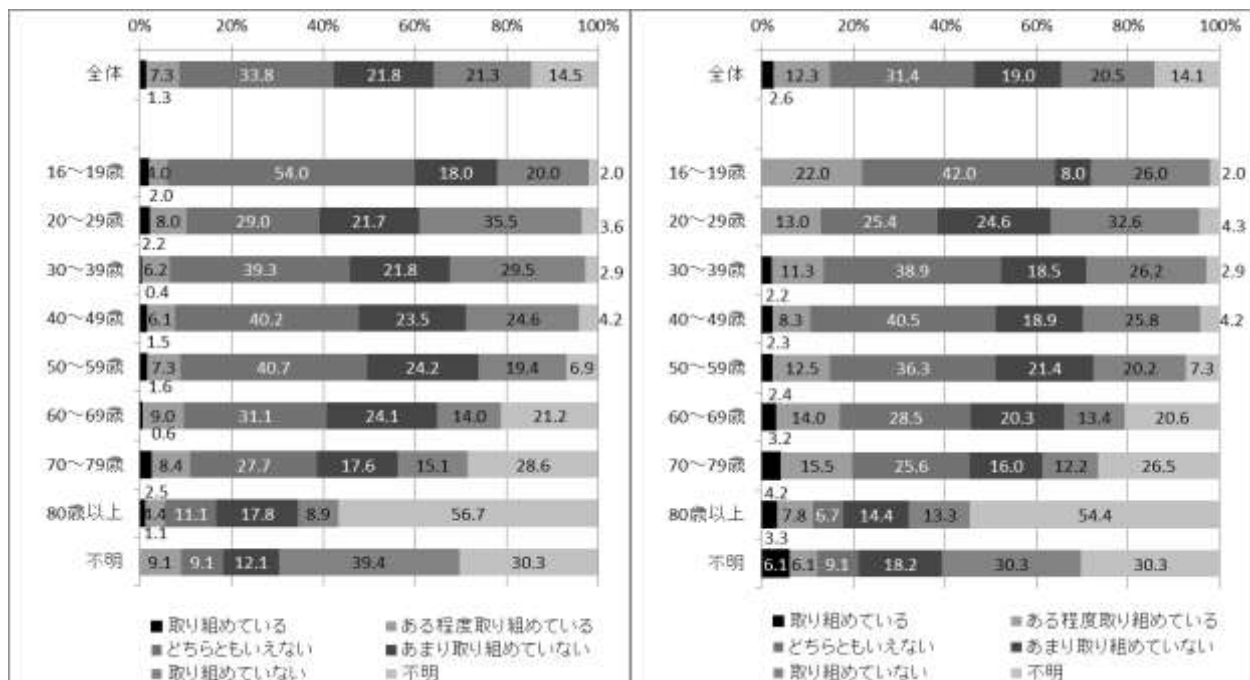
12 地域での趣味活動などに気軽に参加しましょう

- ・ 20代で「取り組めていない」、80代以上で「あまり取り組めていない」、それ以外は「どちらともいえない」が最も多い。

図 年齢別 地域での取り組みについて

11 身近なところから介護予防の活動を広げましょう

12 地域での趣味活動などに気軽に参加しましょう

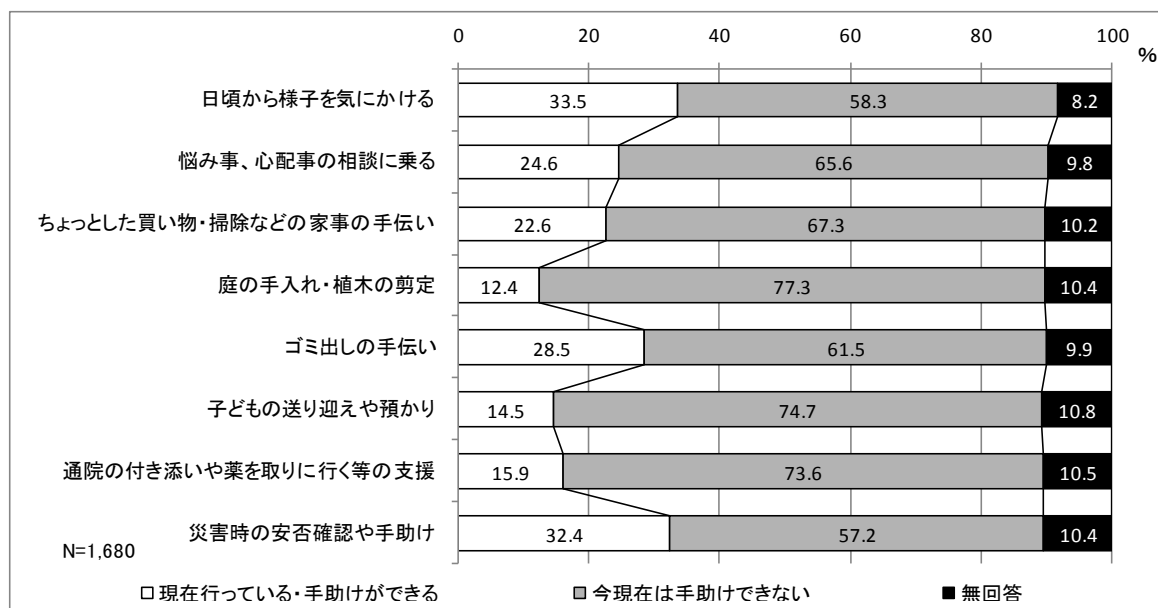


問 25 近所で困っている人がいた場合、

○どのようなことなら関わることができる（手助けができる）と思いますか。

- ・ いずれの項目でも「今現在は手助けできない」の方が多く、特に「庭の手入れ・植木の剪定」（77.3%）、「子どもの送り迎えや預かり」（74.7%）、「通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援」（73.6%）では7割を超えている。一方「日頃から様子を気にかける」「災害時の安否確認や手助け」については「現在行っている・手助けができる」の数値がそれぞれ 33.5%、32.4%と3割を超えており、他に比べて「できる」とする率が比較的高い。

図 困っている人に対してできる手助け



■ 年齢別 困っている人に対してできる手助け（問 25-1×問 29, 34）

1 日ごろから様子を気にかける

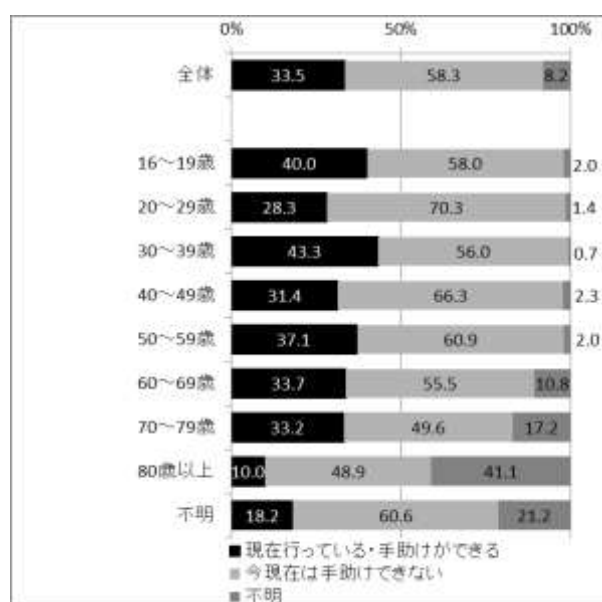
- ・ いずれの属性でも「今現在は手助けできない」の方が多い。また、80代以上では「現在行っている・手助けができる」の数値が低く、不明が多くなっているが、これらはすべての項目に共通である。
- ・ 年齢別では、20代で「今現在は手助けできない」が7割に達している。一方最も「現在行っている・手助けができる」の数値が高いのは30代である。

2 悩み事、心配事の相談に乗る

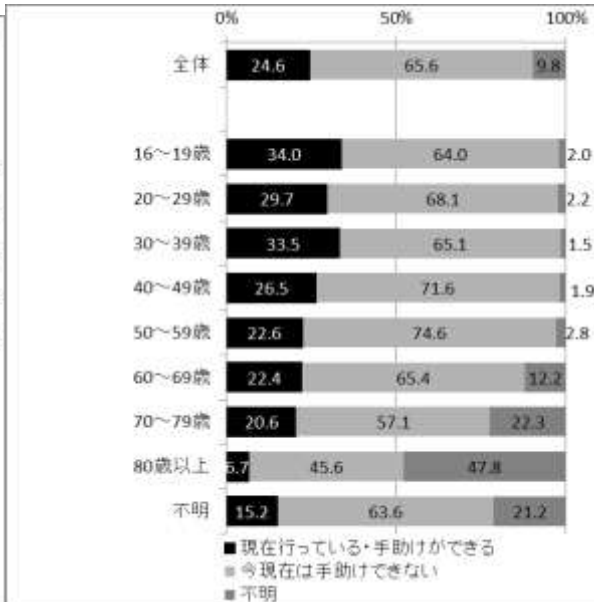
- ・ 年齢別では若年層で「現在行っている・手助けができる」の数値が高い傾向にあり、40代、50代では「今現在は手助けできない」が7割を超える。

図 年齢別 困っている人に対してできる手助け

1 日ごろから様子を気にかける



2 悩み事、心配事の相談に乗る



3 ちょっとした買い物・掃除などの家事の手伝い

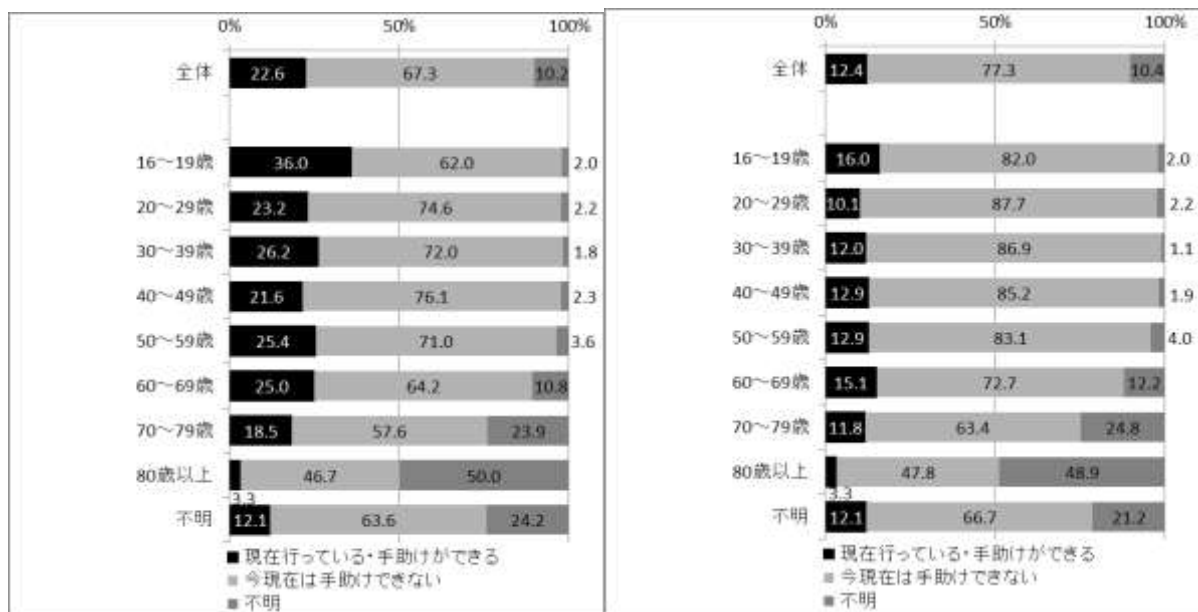
- ・10代で「現在行っている・手助けができる」の数値が他に比べて高くなっている。
一方20代から50代では「今現在は手助けできない」が7割を超える。

4 庭の手入れ・植木の剪定

- ・80代以上を除き、いずれの属性も「現在行っている・手助けができる」の数値は1割前後である。

図 年齢別 困っている人に対してできる手助け

3 ちょっとした買い物・掃除などの家事の手伝い 4 庭の手入れ・植木の剪定



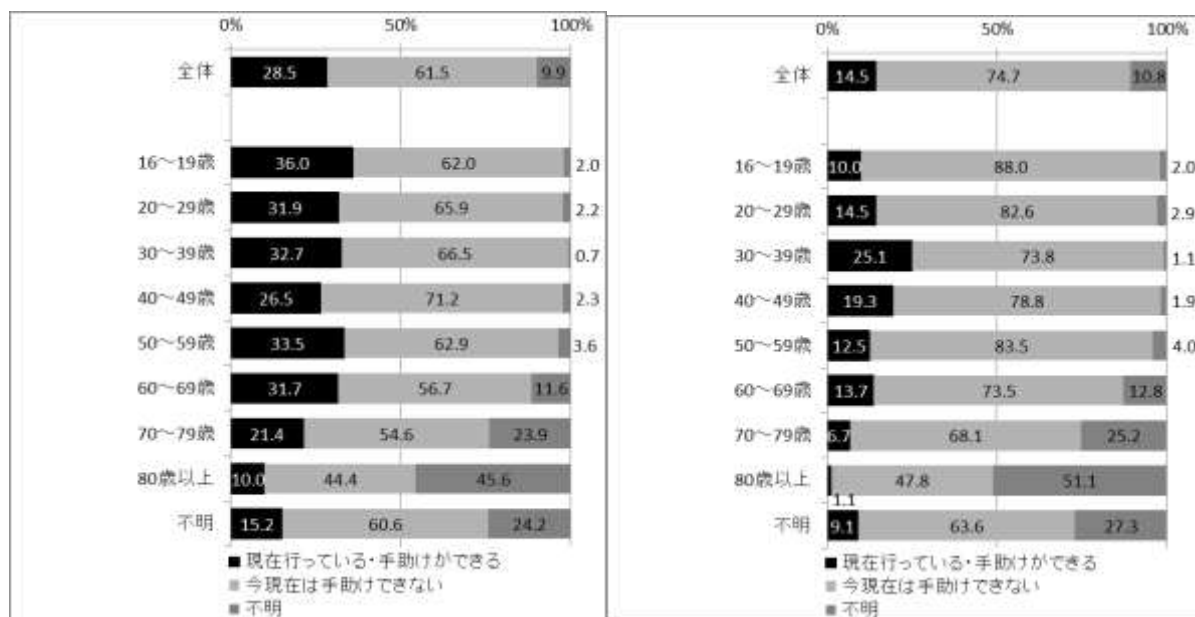
5 ゴミ出しの手伝い

- ・ いずれの属性も概ね「現在行っている・手助けができる」の数値は3割前後であるが、高齢者層では数値が低くなっている。なお40代で「今現在は手助けできない」が7割を超える。

6 子どもの送り迎えや預かり

- ・ 不明が多い80代以上を除き、いずれも「今現在は手助けできない」が7～8割に達しているが、30代では「現在行っている・手助けができる」の数値が他世代に比べて高くなっている。

図 年齢別 困っている人に対してできる手助け
5 ゴミ出しの手伝い 6 子どもの送り迎えや預かり



7 通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援

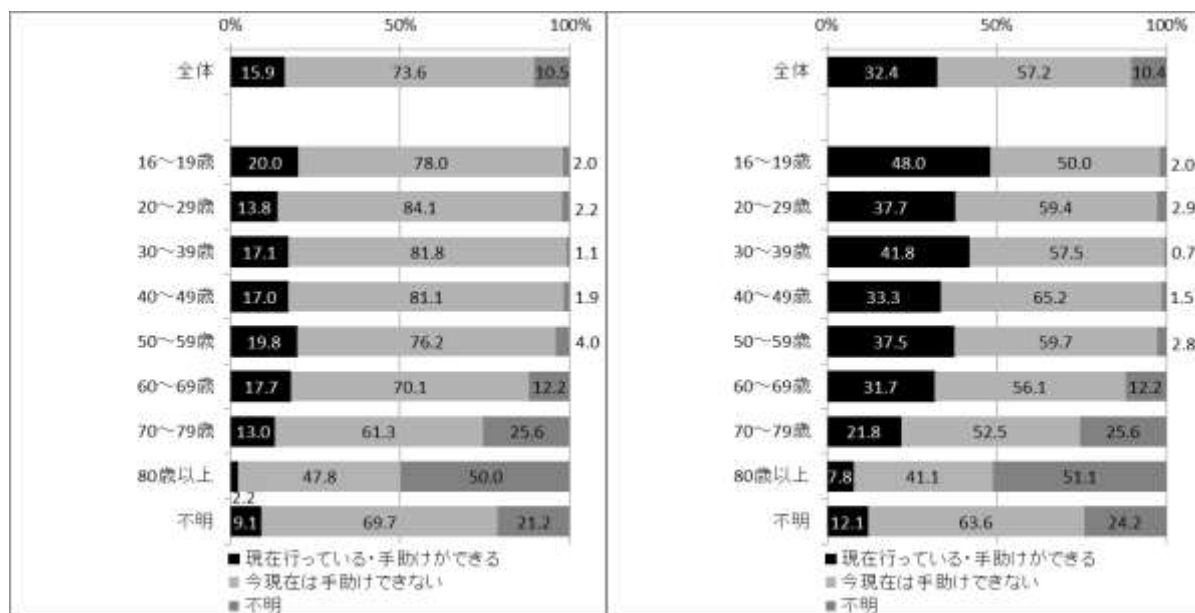
- ・ 不明が多い高齢者層を除き、いずれも「現在行っている・手助けができる」が1～2割、「今現在は手助けできない」が7～8割となっている。20代から40代では「今現在は手助けできない」が8割を超える。

8 災害時の安否確認や手助け

- ・ 10代では「現在行っている・手助けができる」の数値が他に比べて特に高く、「今現在は手助けできない」とほぼ拮抗している。

図 年齢別 困っている人に対してできる手助け

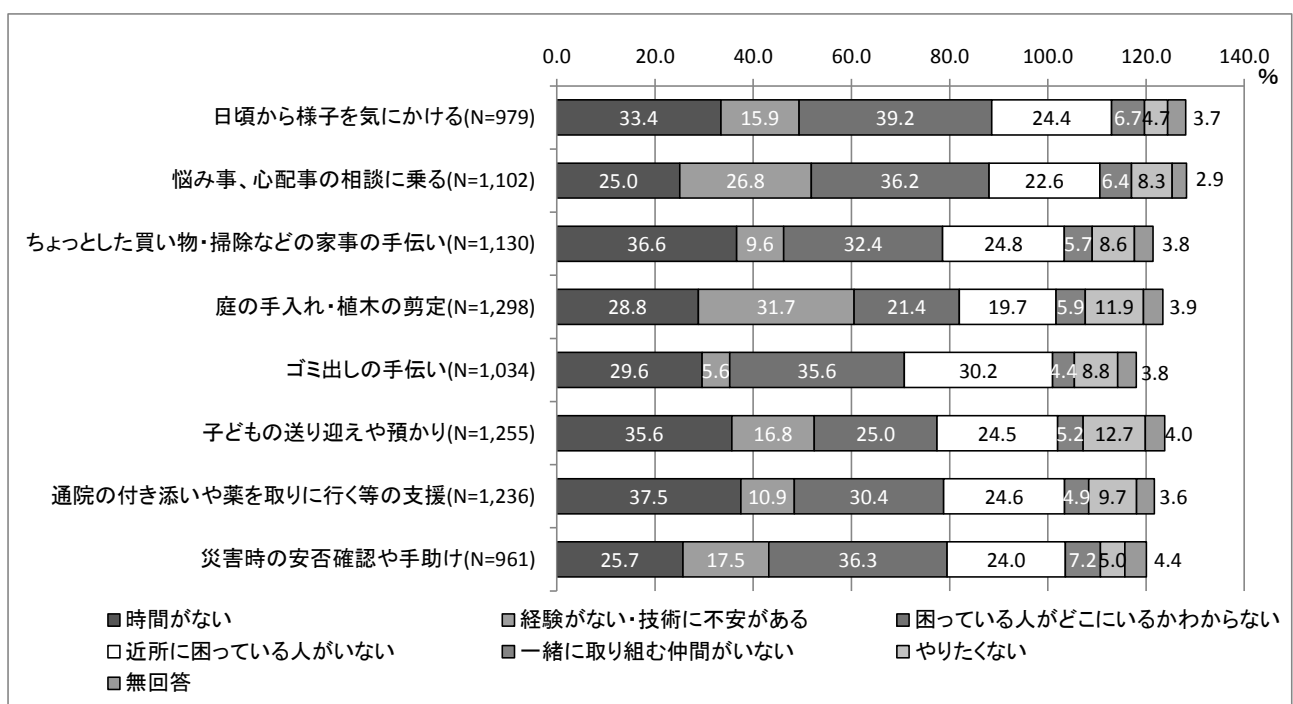
7 通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援 8 災害時の安否確認や手助け



○今現在行えない理由はなんですか。

- ・できない理由として「時間がない」が最も多く挙がっているのは、「通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援」(37.5%)、「ちょっとした買い物・掃除などの家事の手伝い」(36.6%)、「子どもの送り迎えや預かり」(35.6%)の3項目である。
- ・「経験がない・技術に不安がある」については「庭の手入れ・植木の剪定」(31.7%)で最も多くなっている。
- ・「困っている人がどこにいるかわからない」については「日頃から様子を気にかける」(39.2%)、「災害時の安否確認や手助け」(36.3%)「悩み事、心配事の相談に乗る」(36.2%)、「ゴミ出しの手伝い」(35.6%)において、最も多く挙げられている。

図 現在行えない理由



■ 年齢別 現在行えない理由（問 25-2×問 29, 34）

1 日ごろから様子を気にかける

- ・20代、40代では「時間がない」、80代以上では「近所に困っている人がいない」、それ以外の世代では「困っている人がどこにいるかわからない」が最も多い。また、10代で「経験がない・技術に不安がある」の数値が高くなっている。

2 悩み事、心配事の相談に乗る

- ・年齢別で傾向の差がみられ、10代と50代で「経験がない・技術に不安がある」、80代以上で「近所に困っている人がいない」、40代では「時間がない」「困っている人がどこにいるかわからない」が同率、それ以外の世代では「困っている人がどこにいるかわからない」が最も多い。また、30代で「時間がない」、10代で「やりたくない」の数値が他に比べて高くなっている。

図 年齢別 現在行えない理由
1 日ごろから様子を気にかける

		合計	1 日ごろから様子を気にかける						
			時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		979	33.4	15.9	39.2	24.4	6.7	4.7	3.7
問29-1 年齢	16～19歳	29	34.5	27.6	37.9	24.1	3.4	10.3	0.0
	20～29歳	97	39.2	19.6	35.1	16.5	9.3	8.2	0.0
	30～39歳	154	41.6	18.2	44.8	18.8	5.2	2.6	1.3
	40～49歳	175	46.9	10.9	39.4	26.9	8.0	4.6	1.1
	50～59歳	151	39.7	15.9	41.1	23.2	5.3	5.3	0.7
	60～69歳	191	25.7	14.7	39.8	26.7	6.3	3.7	3.7
	70～79歳	118	11.9	20.3	39.0	33.1	8.5	3.4	7.6
	80歳以上	44	6.8	6.8	20.5	25.0	9.1	9.1	29.5
	不明	20	35.0	15.0	40.0	20.0	0.0	0.0	10.0

2 悩み事、心配事の相談に乗る

		合計	2 悩み事、心配事の相談に乗る						
			時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		1102	25.0	26.8	36.2	22.6	6.4	8.3	2.9
問29-1 年齢	16～19歳	32	18.8	31.3	28.1	21.9	3.1	18.8	0.0
	20～29歳	94	26.6	19.1	40.4	19.1	8.5	9.6	0.0
	30～39歳	179	37.4	25.7	42.5	20.7	6.7	7.3	1.7
	40～49歳	189	35.4	26.5	35.4	23.3	5.8	6.3	1.6
	50～59歳	185	27.0	38.4	35.7	20.5	4.9	8.6	0.0
	60～69歳	225	17.8	26.2	36.0	20.4	7.6	9.3	2.7
	70～79歳	136	10.3	24.3	34.6	31.6	8.1	8.1	5.1
	80歳以上	41	4.9	7.3	24.4	26.8	4.9	7.3	29.3
	不明	21	23.8	23.8	23.8	23.8	0.0	0.0	4.8

3 ちょっとした買い物・掃除などの家事の手伝い

- ・60代では「困っている人がどこにいるかわからない」、70代、80代以上では「近所に困っている人がいない」、それ以外の世代では「時間がない」が最も多い。

4 庭の手入れ・植木の剪定

- ・20代、30代、50代では「時間がない」、80代以上では「近所に困っている人がいない」、それ以外の世代では「経験がない・技術に不安がある」が最も多い。

図 年齢別 現在行えない理由

3 ちょっとした買い物・掃除などの家事の手伝い

		合計	3　ちょっとした買い物・掃除などの家事の手伝い						
			時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		1130	36.6	9.6	32.4	24.8	5.7	8.6	3.8
問29-1　年齢	16～19歳	31	48.4	12.9	29.0	19.4	0.0	6.5	3.2
	20～29歳	103	47.6	8.7	33.0	13.6	11.7	12.6	1.0
	30～39歳	198	50.5	9.6	32.3	21.7	5.6	8.6	1.0
	40～49歳	201	46.3	8.0	34.8	22.9	5.0	7.5	0.5
	50～59歳	176	46.0	8.5	35.2	25.6	3.4	6.3	1.1
	60～69歳	221	22.6	9.0	32.1	27.6	7.2	9.5	5.4
	70～79歳	137	10.9	13.1	32.8	35.8	5.8	9.5	7.3
	80歳以上	42	9.5	9.5	14.3	28.6	2.4	11.9	26.2
	不明	21	33.3	14.3	23.8	19.0	0.0	0.0	14.3

4 庭の手入れ・植木の剪定

		合計	4 庭の手入れ・植木の剪定						
			時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		1298	28.8	31.7	21.4	19.7	5.9	11.9	3.9
問29-1 年齢	16～19歳	41	24.4	31.7	22.0	29.3	12.2	14.6	0.0
	20～29歳	121	41.3	16.5	24.8	14.9	9.9	18.2	0.8
	30～39歳	239	38.1	33.9	23.0	18.4	3.8	10.9	2.5
	40～49歳	225	35.1	36.4	21.8	18.2	4.4	8.0	1.8
	50～59歳	206	34.5	34.0	20.4	19.4	5.8	13.1	1.5
	60～69歳	250	20.4	33.2	20.4	20.8	6.4	10.8	4.0
	70～79歳	151	7.9	35.1	19.9	22.5	7.3	13.9	8.6
	80歳以上	43	9.3	16.3	16.3	20.9	4.7	14.0	25.6
	不明	22	27.3	13.6	22.7	27.3	0.0	4.5	13.6

5 ゴミ出しの手伝い

- ・20代、30代では「時間がない」、10代、40代、50代では「困っている人がどこにいるかわからない」、60代以上の高齢層では「近所に困っている人がいない」が最も多い。

6 子どもの送り迎えや預かり

- ・10代から50代までの世代では「時間がない」、60代以上の高齢層では「近所に困っている人がいない」が最も多い。

図 年齢別 現在行えない理由

5 ゴミ出しの手伝い

			5 ゴミ出しの手伝い						
		合計	時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		1034	29.6	5.6	35.6	30.2	4.4	8.8	3.8
問29-1 年齢	16～19歳	31	25.8	12.9	35.5	25.8	0.0	16.1	0.0
	20～29歳	91	40.7	4.4	35.2	16.5	8.8	16.5	1.1
	30～39歳	183	43.2	6.0	37.2	23.5	3.8	9.8	0.5
	40～49歳	188	35.6	8.0	36.7	30.9	3.7	6.9	2.7
	50～59歳	156	34.6	2.6	41.0	32.1	3.8	6.4	1.9
	60～69歳	195	19.0	4.6	33.8	34.9	7.2	7.7	4.1
	70～79歳	130	10.0	5.4	33.8	41.5	2.3	8.5	7.7
	80歳以上	40	10.0	7.5	22.5	27.5	2.5	10.0	22.5
	不明	20	35.0	5.0	25.0	25.0	0.0	0.0	10.0

6 子どもの送り迎えや預かり

			6 子どもの送り迎えや預かり						
		合計	時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		1255	35.6	16.8	25.0	24.5	5.2	12.7	4.0
問29-1 年齢	16～19歳	44	36.4	25.0	27.3	22.7	2.3	13.6	0.0
	20～29歳	114	40.4	22.8	21.9	15.8	8.8	15.8	1.8
	30～39歳	203	52.7	18.7	25.6	18.2	5.4	10.8	2.0
	40～49歳	208	44.7	18.8	26.0	24.5	4.3	11.5	1.9
	50～59歳	207	43.0	15.9	24.6	22.2	4.8	14.0	1.4
	60～69歳	253	27.3	14.6	26.1	27.7	5.5	12.6	4.3
	70～79歳	162	9.9	14.2	27.8	34.6	4.3	12.3	9.3
	80歳以上	43	7.0	7.0	9.3	39.5	2.3	14.0	23.3
	不明	21	38.1	4.8	23.8	14.3	9.5	9.5	4.8

7 通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援

- ・年齢別では傾向が分かれ、60代、70代では「困っている人がどこにいるかわからない」、80代以上では「近所に困っている人がいない」、10代から50代では「時間がない」が最も多い。また10代で「経験がない・技術に不安がある」、70代では「近所に困っている人がいない」の数値も高い。

8 災害時の安否確認や手助け

- ・10代では「経験がない・技術に不安がある」「困っている人がどこにいるかわからない」が同率、80代以上では「近所に困っている人がいない」、それ以外の世代では「困っている人がどこにいるかわからない」が最も多い。

図 年齢別 現在行えない理由

7 通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援

		合計	7 通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援						
			時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		1236	37.5	10.9	30.4	24.6	4.9	9.7	3.6
問29-1 年齢	16～19歳	39	30.8	28.2	25.6	25.6	2.6	12.8	0.0
	20～29歳	116	47.4	9.5	25.9	17.2	6.0	13.8	1.7
	30～39歳	225	54.2	12.4	30.2	18.7	4.9	9.3	1.3
	40～49歳	214	44.4	11.2	33.2	24.8	4.2	7.5	1.9
	50～59歳	189	48.1	11.1	29.1	21.2	3.7	7.9	2.6
	60～69歳	241	25.7	9.1	29.9	28.6	6.2	12.0	4.1
	70～79歳	146	10.3	8.9	37.7	35.6	6.2	7.5	6.8
	80歳以上	43	7.0	9.3	18.6	32.6	2.3	14.0	20.9
	不明	23	34.8	4.3	30.4	17.4	4.3	4.3	8.7

8 災害時の安否確認や手助け

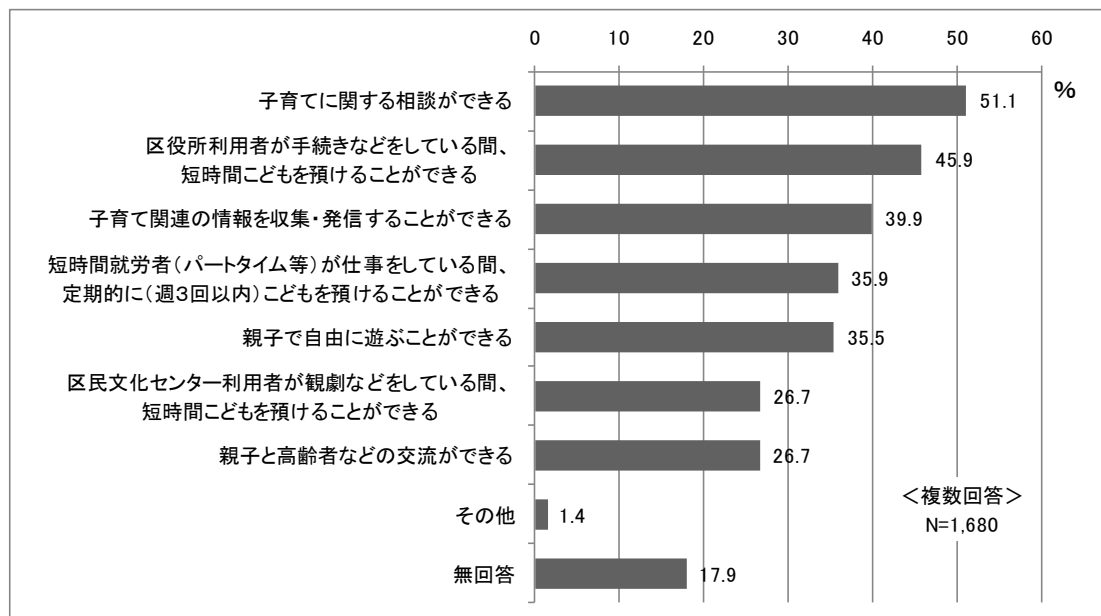
		合計	8 災害時の安否確認や手助け						
			時間がない	経験がない・技術に不安がある	困っている人がどこにいるかわからない	近所に困っている人がいない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	不明
全体		961	25.7	17.5	36.3	24.0	7.2	5.0	4.4
問29-1 年齢	16～19歳	25	28.0	36.0	36.0	20.0	8.0	12.0	0.0
	20～29歳	82	28.0	17.1	34.1	18.3	11.0	8.5	3.7
	30～39歳	158	34.2	19.0	43.0	21.5	7.0	3.2	1.3
	40～49歳	172	34.9	19.8	37.2	24.4	5.8	2.3	1.7
	50～59歳	148	34.5	17.6	35.1	25.7	6.1	4.1	1.4
	60～69歳	193	18.7	14.0	36.3	25.9	8.8	5.2	5.2
	70～79歳	125	7.2	16.8	36.8	26.4	6.4	6.4	8.8
	80歳以上	37	8.1	8.1	16.2	29.7	2.7	13.5	24.3
	不明	21	19.0	19.0	28.6	14.3	9.5	0.0	9.5

8. 戸塚区新総合庁舎の整備について

問 26 戸塚駅前に平成 24 年度完成予定の戸塚区新総合庁舎 3 階に、「子育て支援スペース」の設置が予定されています。このスペースには、どのような機能を期待されますか。
(○はいくつでも)

- ・「子育てに関する相談ができる」が 51.1%で、半数強の人が挙げている。次いで「区役所利用者が手続きなどを行っている間、短時間子どもを預けることができる」が 45.9%で続く。以下、「子育て関連の情報を収集・発信することができる」(39.9%)、「短時間就労者(パートタイム等)が仕事をしている間、定期的に(週3回以内)子どもを預けることができる」(35.9%)、「親子で自由に遊ぶことができる」(35.5%)を4割前後の人が、「区民文化センター利用者が観劇などを行っている間、短時間子どもを預けることができる」(26.7%)、「親子と高齢者などの交流ができる」(26.7%)を3割弱の人が挙げており、様々な機能が期待されていることが伺える。

図 「子育て支援スペース」に期待する機能



■ 年齢別 「子育て支援スペース」に期待する機能（問 26×問 29）

- ・ 80 代以上では「区役所利用者が手続きなどを行っている間、短時間こどもを預けることができる」、10 代から 70 代までの世代では「子育てに関する相談ができる」が最も多い。
- ・ また、子育ての中心世代と考えられる 30 代では、「区役所利用者が手続きなどを行っている間、短時間こどもを預けることができる」「区民文化センター利用者が観劇などを行っている間、短時間こどもを預けることができる」「短時間就労者（パートタイム等）が仕事をしている間、定期的に（週 3 回以内）こどもを預けることができる」「親子で自由に遊ぶことができる」「子育て関連の情報を収集・発信することができる」の各項目でもいずれも数値が高いなど多様な機能が期待されていることが伺われる。
- ・ また、20 代でも「短時間就労者（パートタイム等）が仕事をしている間、定期的に（週 3 回以内）こどもを預けることができる」を 5 割を超える人が挙げている。

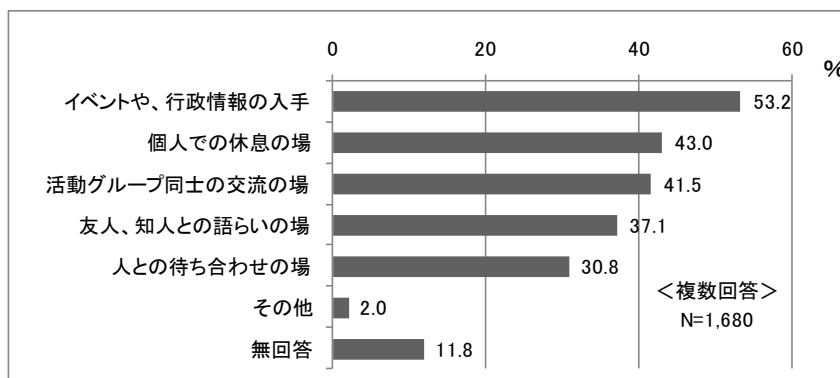
図 年齢別 「子育て支援スペース」に期待する機能

		合計	問26 「子育て支援スペース」に期待される機能								
			区役所利用者が手続きなどを行っている間、短時間こどもを預けることができる	区民文化センター利用者が観劇などを行っている間、短時間こどもを預けることができる	短時間就労者（パートタイム等）が仕事をしている間、定期的に（週3回以内）こどもを預けることができる	親子で自由に遊ぶことができる	子育て関連の情報を収集・発信することができる	子育てに関する相談ができる	親子と高齢者などの交流ができる	その他	不明
全体		1680	45.9	26.7	35.9	35.5	39.9	51.1	26.7	1.4	17.9
問29-1 年齢	16～19歳	50	52.0	30.0	40.0	40.0	38.0	56.0	18.0	6.0	12.0
	20～29歳	138	49.3	22.5	50.7	39.9	47.1	60.1	18.1	0.7	10.1
	30～39歳	275	62.9	38.9	53.5	56.7	58.5	65.8	22.9	2.5	4.7
	40～49歳	264	49.2	32.6	36.0	39.0	46.6	56.4	28.8	0.8	9.5
	50～59歳	248	45.6	28.2	34.7	31.9	46.8	56.5	29.4	2.0	8.1
	60～69歳	344	45.3	25.0	32.3	33.1	34.9	47.7	32.3	0.6	18.9
	70～79歳	238	35.7	19.7	26.5	25.2	23.9	39.9	31.1	0.8	31.5
	80歳以上	90	21.1	7.8	11.1	8.9	11.1	20.0	17.8	1.1	61.1
	不明	33	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	84.8

問 27 同じく新総合庁舎の3階に、区民の皆さんが利用できる「区民利用ゾーン」の設置が予定されています。「区民利用ゾーン」について、どのような利用が想定されますか。(〇はいくつでも)

- ・「イベントや、行政情報の入手」が53.2%で最も多く、半数強の人が挙げている。次いで「個人での休息の場」(43.0%)、「活動グループ同士の交流の場」(41.5%)、「友人、知人との語らいの場」(37.1%)を4割前後の人が、「人との待ち合わせの場」(30.8%)を3割の人が挙げており、回答は比較的分散した。

図 「区民利用ゾーン」に想定される利用について（複数回答）



■ 年齢別 「区民利用ゾーン」に想定される利用について（問27×問29）

- ・10代、20代の若年層では「個人での休息の場」、30代から70代では「イベントや、行政情報の入手」、80代以上では「友人、知人との語らいの場」が最も多い。また、10代で「人との待ち合わせの場」、40代で「活動グループ同士の交流の場」の数値が他に比べて高くなっている。

図 年齢別 「区民利用ゾーン」に想定される利用について

		合計	問27 「区民利用ゾーン」について想定される利用法						
			個人での 休息の場	人との待 ち合わせ の場	友人、知 人との語 らいの場	活動グ ループ同 士の交流 の場	イベン トや、行 政情 報の入 手	その他	不明
全体		1680	43.0	30.8	37.1	41.5	53.2	2.0	11.8
問29-1 年齢	16～19歳	50	54.0	48.0	44.0	40.0	46.0	4.0	6.0
	20～29歳	138	52.2	29.7	37.7	39.1	51.4	0.0	7.2
	30～39歳	275	50.5	32.0	38.9	48.7	60.0	1.8	5.8
	40～49歳	264	41.7	31.4	37.1	52.3	55.3	2.3	7.2
	50～59歳	248	41.5	28.6	29.8	48.0	62.9	2.0	5.6
	60～69歳	344	41.6	29.7	41.3	38.4	56.7	2.9	11.0
	70～79歳	238	42.4	35.3	42.0	32.8	49.6	0.8	14.7
	80歳以上	90	28.9	26.7	30.0	23.3	21.1	4.4	36.7
	不明	33	3.0	0.0	3.0	6.1	3.0	0.0	90.9

9. 戸塚区政について（自由記入）

問 40 戸塚区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

- ・戸塚区についての意見や提案として、461 件の具体的な記述があり、計 740 件の意見が出された。
- ・大分類別の内訳としては、「施設・区政・地域」255 件、「道路・交通・電車」164 件、「緑・街並み・駅開発」143 件、「子育て・教育」70 件、「防犯・防災」64 件、「医療・福祉」44 件となっており、施設・区政・地域に対する意見が最も多かった。
- ・中分類を見ると、「施設・区政・地域」の「区政・税政など」104 件が最も多かった。同じく「施設・区政・地域」の「区民利用施設の充実」57 件、「広報・広聴など区政への市民参加の推進」55 件、「道路・交通・電車」の「道路環境の整備」69 件、「バス・電車の便」62 件、「子育て・教育」の「保育など子育て支援」63 件、「緑・街並み・駅開発」の「最寄り駅周辺のまちづくり」51 件なども多くなっている。
- ・さらに個別に小分類の内容を見ると、最も多く出されていたのは「区政・まちづくり」58 件（「施設・区政・地域-区政・税政など」）、「戸塚駅、トツカーナ、サクラス」（「緑・街並み・駅開発-最寄り駅周辺のまちづくり」）40 件などとなっている（次ページ表を参照）

図 戸塚区についての意見・提案（大分類・中分類）

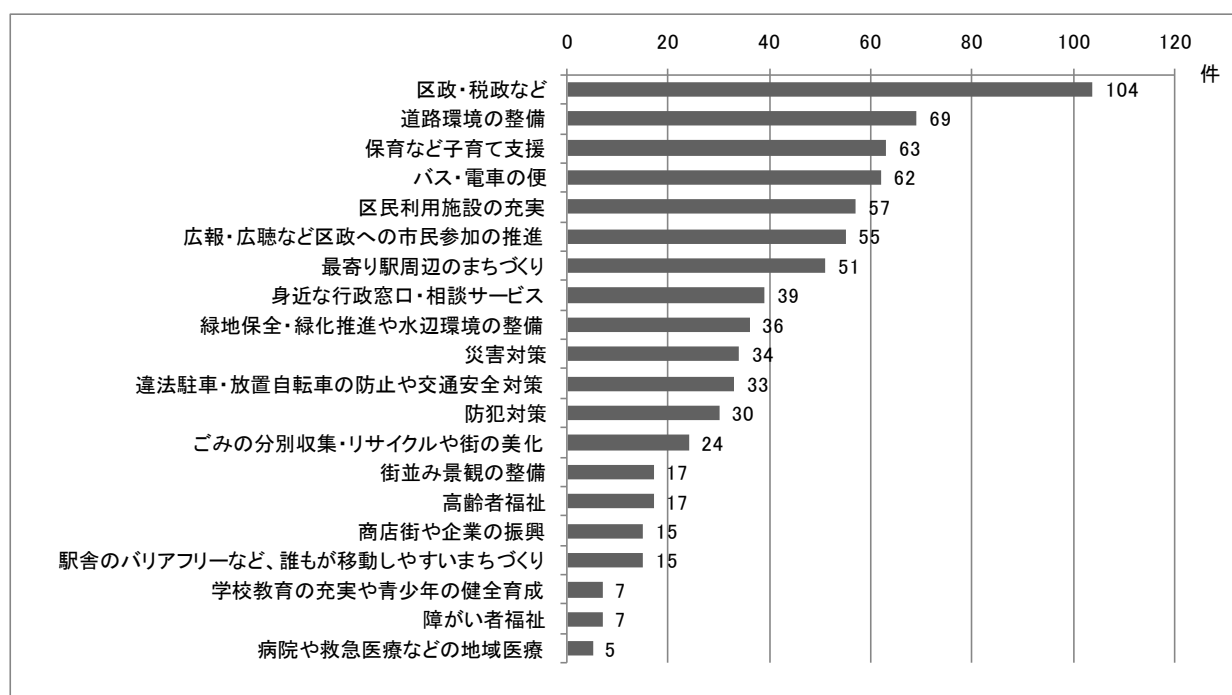
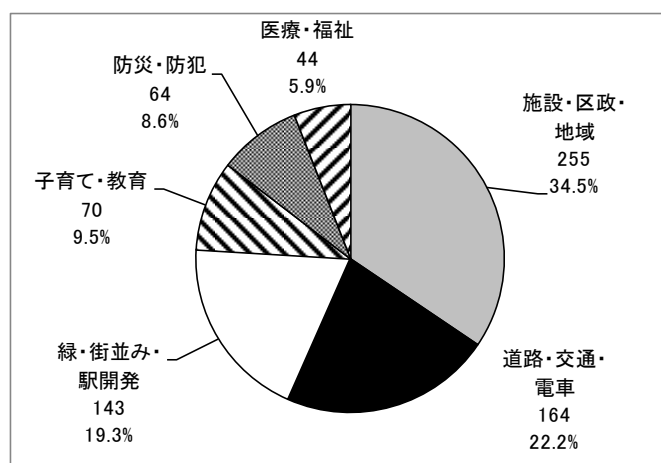


図 戸塚区についての意見・提案（一覧）

大分類	中分類	小分類	大分類	中分類	小分類
施設・区政・地域	区政・税政など	104 区政・まちづくり	緑・街並み・駅開発	最寄り駅周辺のまちづくり	51 戸塚駅、トツカーナ、サクラ
		アンケート			駅周辺開発
		財政関係、税金			駅周辺環境の改善
		行政改革			東戸塚駅
		町名整理、マップ		緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	36 緑地保全・緑化推進
		議員			柏尾川
		その他			公園
		図書館			草木の剪定
		区役所			河川環境
		運動施設		ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	24 ごみ収集
		地域格差の是正			街の美化
	区民利用施設の充実	57 区役所支所			ベット、野良猫対策
		プール			路上禁煙・ポイ捨て
		映画館			リサイクル
		文化活動・文化施設			下水処理
		ホール		街並み景観の整備	17 街並み整備
		トイレ			住環境の改善
		地区センター			マンション乱立
		墓地			3 商店街や企業の振興
		55 広報活動の充実・見直し			15 スーパー、コンビニ
		地域コミュニティ			商店街
	広報・広聴など区政への市民参加の推進	マスコミ			雇用
		イベント		保育など子育て支援	63 子育て支援
		市民活動			保育園・幼稚園
		39 区職員対応			児童公園・遊び場
		行政サービス			学童保育
		利便性の向上			小児医療費
		区職員教育			児童虐待
		選挙事務			イベント
		相談機能の強化			乳幼児健診
	身近な行政窓口・相談サービス	69 歩道			不妊治療・周産期医療
		道路		学校教育の充実や青少年の健全育成	7 学校給食
		渋滞緩和			学校環境
		自転車道路			災害対策
		信号			34 情報発信、ハザードマップ
	バス・電車の便	62 バス			災害対策
		東戸塚駅		防犯対策	64 放射線対策
		電車			計画停電
		交通利便性の改善			節電対策
		戸塚駅			30 街路灯
		新駅			パトロール
		33 駐輪場			暴走族の取り締まり
		危ない自転車			治安の維持
		放置自転車			少年非行
		駐車場			交番
		危ない車			子どもの安全確保
道路・交通・電車	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	モラルの低下	医療・福祉	高齢者福祉	17 高齢者福祉
		違法駐車			施設の充実
		取り締まり強化			福祉一般
		歩行者のマナー			エレベーター・エスカレーター
					スロープ
					バリアフリー
					障がい者福祉
					病院不足
					健康診断
					入院体制

740

調 査 票

平成23年度戸塚区区民意識アンケート調査 ご協力をお願い

日頃から、戸塚区政にご協力をいただき、ありがとうございます。

戸塚区役所では、区民の皆さまの多様なニーズやライフスタイルにこたえ、的確な施策を展開していくために、日々、皆さまのご意見・ご要望の把握に努めているところです。

今年度は、3月に発生した東日本大震災を受け、防災や節電など、区民の皆さまが日常生活の中で感じていることについて、アンケート調査を実施し、今後の区政に活かしたいと考えております。調査対象としては、区内に居住する16歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただいております。

なお、今回ご回答いただきました内容については、すべて統計的に処理しますので、個人の情報が外部に公表されることは決してありません。

お忙しいところ、誠に恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成23年6月 戸塚区役所

ご記入にあたって

1. 原則として宛名のご本人がご記入ください。
2. 別紙「アンケート調査票」の各設問の指示に従って、ご記入をお願いします。
3. ご記入いただいた「アンケート調査票」は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

平成23年7月7日（木）までに、投函してください。

（お名前の記入は不要です。）

【お問い合わせ先】

戸塚区役所区政推進課企画調整係 岩船、山崎

電 話：866-8327

FAX：862-3054

平成23年度 戸塚区区民意識アンケート調査票

生活環境全般に対する重要度・満足度について伺います

問1 あなたは以下（①～⑳）のことがらについて、

【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。

【2】現在、どの程度満足していますか。

【3】また、以前に比べてどのように変化していると思いますか。

（それぞれについて○は1つだけ）

	【1】重要度					【2】現在の満足度						【3】以前に比べて			
	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
① バス・電車の便	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
② 道路環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
③ 違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
④ 最寄り駅周辺のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑤ 街並み景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑥ 商店街や企業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑦ 緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑨ 災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑩ 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑪ 保育など子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑫ 学校教育の充実や青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑬ 病院や救急医療などの地域医療	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑭ 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑮ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑯ 障がい者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑰ 区民利用施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑱ 広報・広聴など区政への市民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑲ 身近な行政窓口・相談サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑳ 以上を総合して、生活環境全般の満足度						1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

地震への備えについて伺います

問2 地震に備えて、家庭で普段から備えていることはありますか。(〇はいくつでも)

【非常用物資の備蓄に関すること】

- 1 3日分の水や食料の備蓄
- 2 ラジオ・懐中電灯などの非常用物資の備蓄
- 3 非常用持ち出し袋の準備
- 4 トイレパックの準備

【避難場所に関すること】

- 5 震災時避難場所（地域防災拠点）の確認
- 6 広域避難場所の確認
- 7 戸塚区防災・区民マップの確認

【耐震や消火に関すること】

- 8 家屋の耐震診断や耐震補強の実施
- 9 家具の転倒防止
- 10 消火器や消火用バケツなどの準備

【安否確認等の情報に関すること】

- 11 交通機関不通時の帰宅方法の確認
- 12 家族同士での安否確認方法の確認
- 13 横浜市防災情報Eメールへの登録
- 14 戸塚区犯罪・防犯情報Eメールへの登録
- 15 その他
(具体的に)

問3 今回の大震災当日(3月11日)、困ったことはありましたか。(〇はいくつでも)

- 1 交通手段がなくなり当日帰宅できなかった
- 2 交通手段がなくなり徒歩で帰宅した
- 3 同居家族が帰宅できなかった
- 4 同居家族との連絡が取れなかった
- 5 親戚の安否確認ができなかった
- 6 宅内のものが落下したり、家具が転倒した
- 7 余震等で家屋の倒壊や破損が不安になった
- 8 食料や水の確保が心配になった
- 9 停電・断水、ガスの不通など、ライフラインの断絶
- 10 相談する相手がなくて怖かった
- 11 周りの情報がわからず不安になった
- 12 特になかった

問4 今回の大震災直後では、どのような媒体で情報を入手されましたか。(〇はいくつでも)

- 1 携帯電話の横浜市(戸塚区)ホームページ
- 2 パソコンの横浜市(戸塚区)ホームページ
- 3 携帯電話のその他ホームページ
- 4 パソコンのその他ホームページ
- 5 横浜市防災情報Eメール
- 6 戸塚区犯罪・防犯情報Eメール
- 7 テレビ
- 8 ラジオ
- 9 コミュニティFM(エフエム戸塚)
- 10 ケーブルテレビ
- 11 行政や町内会等の掲示板
- 12 その他()

問5 地震発生直後に、特に知りたいと思うことは何ですか。上位3つを選んでください。(〇は3つまで)

- 1 地震の震源地や震度情報
- 2 被害が大きい地域の被災情報
- 3 余震や津波など、二次的災害の情報
- 4 首都圏の被害状況
- 5 戸塚区内の被害状況や生活情報
- 6 鉄道等の交通情報
- 7 電気やガスなどのライフライン情報
- 8 避難所の設置情報
- 9 家族や親戚・知人の安否
- 10 医療・救護活動の情報
- 11 その他()

環境配慮行動について伺います

問6 東日本大震災後、あなたが取り組んでいる環境配慮行動はなんですか。(〇は1つ)

	1 意識して 取り組んで います	2 できる範囲 で行いたい です	3 行つても ないです
マイバッグの利用	1	2	3
マイ箸の利用	1	2	3
緑のカーテン	1	2	3
クーラーの設定温度見直し	1	2	3
LED・蛍光灯型電球への取替え	1	2	3
太陽光発電の設置	1	2	3
照明のこまめな消灯	1	2	3
待機電力のカット	1	2	3
節水	1	2	3
公共交通機関の利用	1	2	3
自転車の利用	1	2	3
省エネ製品への買い替え	1	2	3
エコドライブの実施	1	2	3
その他※具体的にご記入ください ()	1	2	3

地域活動・地域自治について伺います

問7 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。(〇は1つ)

地域で行われている活動	1 現在参加 している	2 今後参加 してみたい	3 参加した くない
自治会・町内会の活動	1	2	3
子ども会、婦人会、老人クラブの活動	1	2	3
高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動	1	2	3
身近な道路や公園などの清掃活動	1	2	3
文化・芸術・スポーツの参加や振興	1	2	3
祭や盆踊り、運動会などのイベント	1	2	3
資源回収やごみの分別、リサイクル活動	1	2	3
公園での花壇づくりや美化活動 身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全	1	2	3
在日外国人や海外との交流・支援などの活動	1	2	3
P T A活動	1	2	3
保育ボランティアなどの子育て支援	1	2	3
交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	1	2	3
建物の用途や高さなど建物についてのルールや 美しいまちなみづくり	1	2	3
その他の社会奉仕などボランティア活動（具体的に）	1	2	3

問8 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 してみたいと思う 2 してみたいが今はできない 3 してみたいと思わない

問9 近隣の方との関わりについてお聞かせください。(○は1つ)

- 1 自治会・町内会活動などを通じて、近隣の方とは積極的に関わりを持っている
2 地域の清掃や防犯活動など決まりごとのみ参加している
3 あいさつする程度で、ほとんど付き合いがない
4 まったく付き合いがない

問10 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

- 1 加入している ⇨問12へ
2 以前は加入していたが今は加入していない ⇨問11へ
3 加入していない ⇨問11へ

問11 自治会・町内会に加入していない理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

- 1 どのような活動があるのか知らないから
2 近所付き合いがわずらわしいから
3 自治会・町内会に加入するメリットがわからないから
4 加入するきっかけや呼びかけがないから
5 活動内容が魅力的でないから
6 役員に選ばれても活動ができないから
7 会費の使い道が不透明に感じるから
8 現在の自治会・町内会の運営に不満があるから
9 その他(具体的に) _____

問12 住民による地域課題の解決に向けた活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 近所でのふだんからの付き合い
2 住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと
3 趣味を通じてのグループづくり
4 活動をひっぱりリーダーの育成
5 若い世代の参加への働きかけ
6 自治会・町内会の役員まかせにせず、一人ひとりが責任を持つこと
7 祭などの行事を開催すること
8 参加しやすいように活動時間を工夫すること
9 活動の運営状況などを公開すること
10 活動を発表する場を提供すること
11 活動団体同士が情報交換や交流できる場を作ること
12 特にない
13 その他(具体的に) _____

児童虐待について伺います

問 13 あなたは、児童虐待防止のオレンジリボンを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 14 最近保護者による児童虐待が問題となっています。この事をどのように思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 子どもの心や体の成長を傷つける重大な問題だと思う |
| 2 | 保護者の子育てに対する意識が低下しているのではないか |
| 3 | 保護者も孤立し支援を求めているのではないか |
| 4 | 子どもを虐待する人は一部の特別な人である |
| 5 | 親権を認めないなどの厳しい対応が必要だと思う |
| 6 | 子育て中の保護者には、誰でも起こりうる問題だと思う |
| 7 | 身近な所では見聞きしないのでピンとこない |
| 8 | その他(具体的に) _____ |
| 9 | わからない |

問 15 あなたは、児童虐待を見たり感じたりした時にどのように対応しましたか。又は、どう対応しますか。
(○はいくつでも) (1と回答した場合、A～Cの中から選択して回答-複数選択可)

- | | | |
|----|---------------------------------|---|
| 1 | 専門機関に連絡 ⇒ | <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> A 南部児童相談所(831-4735)に連絡
 B よこはまこども虐待ホットライン
 (0120-805-240)に連絡
 C 戸塚区役所こども家庭支援課(866-8472)に連絡 </div> |
| 2 | 地域の役員(民生委員・児童委員、主任児童委員)に連絡 | |
| 3 | 警察に相談 | |
| 4 | 知り合いに相談 | |
| 5 | 虐待されている子どもが通っている保育園や幼稚園、小中学校に相談 | |
| 6 | 自分で子どもに声をかけ相談に乗った(乗る) | |
| 7 | 自分で子どもの親に声をかけ相談に乗った(乗る) | |
| 8 | 虐待かどうか不確かなので何もしない | |
| 9 | 何か手助けをしてあげたいが何もできない | |
| 10 | その他(具体的に) _____ | |
| 11 | わからない | |

問 16 あなたは、児童虐待についてどのようなことを知りたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 虐待の定義や種類 |
| 2 | 虐待を早く見つけるためにはどうすればいいか。 |
| 3 | 虐待が疑われる親への働きかけ方 |
| 4 | 虐待の疑いのある子どもへの対応 |
| 5 | 子育て(虐待)の相談窓口 |
| 6 | 子育てに関する知識の普及 |
| 7 | その他(具体的に) _____ |

問 17 あなたは、児童虐待を防止するためにはどのようなことが必要だと考えますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|-------------|---|-----------------|
| 1 | 近所への挨拶・関係作り | 5 | 親子の居場所の充実 |
| 2 | 地域の見守り | 6 | 子育て(虐待)支援機関の充実 |
| 3 | 親子サークルの充実 | 7 | 子育てに関する知識の普及 |
| 4 | 子育てのサポート | 8 | その他(具体的に) _____ |

健康づくりについて伺います

問 18 あなたは現在、健康であると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1 健康である | 3 ふつう | 5 健康ではない |
| 2 まあ健康である | 4 あまり健康ではない | |

問 19 あなたは、自身の健康づくりのために必要なことはどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------|----------|-------|
| 1 運動 | 4 ストレス発散 | 7 その他 |
| 2 食事 | 5 禁煙 | |
| 3 休養 | 6 口腔ケア | |

問 20 あなたは現在、健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------|
| 1 意識して取り組んでいる |
| 2 体力が落ちてきたら取り組みたい |
| 3 もう少し年をとってから取り組みたい |
| 4 きっかけがあれば取り組みたい |
| 5 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない |
| 6 興味・関心は特にない |
| 7 その他 |

問 21 あなたが知りたいと思う健康づくりの情報はどれですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1 年齢や自分の体にふさわしい運動の種類や方法 |
| 2 野菜メニューの掲示やカロリー表示などのある飲食店の情報 |
| 3 簡単にできる運動メニューの情報(ウォーキングや体操など) |
| 4 スポーツクラブなど健康づくりを行える場所などの情報 |
| 5 健康づくりを一緒に行えるサークルなどの情報 |
| 6 身近な地域で実施している健康教室に関する情報 |
| 7 禁煙について受けられる支援に関する情報 |
| 8 その他(具体的に) _____ |

問 22 戸塚区では、「はまちゃん体操」をみなさんにお勧めしていますが、この体操を知っていますか。
(○は1つだけ)

- | |
|----------------------|
| 1 知っているし、体操を続けて行っている |
| 2 知っているし、体操をしたことがある |
| 3 知っているが、体操をしたことはない |
| 4 知らない |
| 5 その他(具体的に) _____ |

戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～について伺います

問 23 あなたは、戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない(初めて知った)

問 24 下記の取組についてあなたの近所では、どの程度取り組んでいると思われますか。
(それぞれに○は1つ)

「戸塚区地域福祉保健計画～とつかハートプラン～区計画」では区全体の取り組みの方向性として、4つの基本目標を設定し12の行動目標を推進しています。	1 る 取 組 め て い る	2 あ る 程 度 取 組 め て い る	3 え な い ど う も い い	4 め て い な い あ ま り 取 組 め て い な い	5 な い 取 組 め て い な い
日ごろから地域でのつながりを大切にしましょう	1	2	3	4	5
お互いが助け合えるしくみをつくりましょう	1	2	3	4	5
支えあいの担い手となる仲間を増やしましょう	1	2	3	4	5
新しい交流ができる場や機会を積極的に増やしましょう	1	2	3	4	5
すでにある交流の場や機会を広め深めましょう	1	2	3	4	5
地域の人材・交流の情報を集め伝えましょう	1	2	3	4	5
災害時の助け合いのしくみをつくりましょう	1	2	3	4	5
みんなで地域の安全対策に取り組ましましょう	1	2	3	4	5
誰もがお互いを理解しあえる関係を築きましょう	1	2	3	4	5
地域で仲間と心と体の健康づくりをしましょう	1	2	3	4	5
身近なところから介護予防の活動を広げましょう	1	2	3	4	5
地域での趣味活動などに気軽に参加しましょう	1	2	3	4	5

問 25 近所で困っている人がいた場合、

○どのようなことなら関わることができる(手助けができる)と思いますか。(項目ごとに A か B を回答)

○今現在行えない理由はなんですか。(B と回答した項目の理由を1～6 から選択して回答-複数選択可)

	手助けが できる 現在行っている	今現在 は手助け できない		今は手助けできない理由(○はいくつでも)					
				1 時間がない	2 経験がない・技術に不安がある	3 困っている人がどこに いるかわからない	4 近所に困っている人がいない	5 一緒に取り組む仲間 がない	6 やりたくない
日頃から様子を気にかける	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6
悩み事、心配事の相談に乗る	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6
ちょっとした買い物・掃除などの家事の手伝い	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6
庭の手入れ・植木の剪定	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6
ゴミ出しの手伝い	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6
子どもの送り迎えや預かり	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6
通院の付き添いや薬を取りに行く等の支援	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6
災害時の安否確認や手助け	A	B	⇨	1	2	3	4	5	6

戸塚区新総合庁舎の整備について伺います

問 26 戸塚駅前に平成 24 年度完成予定の戸塚区新総合庁舎3階に、「子育て支援スペース」の設置が予定されています。このスペースには、どのような機能を期待されますか。(〇はいくつでも)

- 1 区役所利用者が手続きなどを行っている間、短時間子どもを預けることができる
- 2 区民文化センター利用者が観劇などを行っている間、短時間子どもを預けることができる
- 3 短時間労働者(パートタイム等)が仕事をしている間、定期的に(週3回以内)子どもを預けることができる
- 4 親子で自由に遊ぶことができる
- 5 子育て関連の情報を収集・発信することができる
- 6 子育てに関する相談ができる
- 7 親子と高齢者などの交流ができる
- 8 その他(具体的に) _____

問 27 同じく新総合庁舎の3階に、区民の皆さんが利用できる「区民利用ゾーン」の設置が予定されています。「区民利用ゾーン」について、どのような利用が想定されますか。(〇はいくつでも)

- 1 個人での休息の場
- 2 人との待ち合わせの場
- 3 友人、知人との語らいの場
- 4 活動グループ同士の交流の場
- 5 イベントや、行政情報の入手
- 6 その他(具体的に) _____

あなた自身について伺います

問 28 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 29 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 16～19 歳 | 6 40～44 歳 | 11 65～69 歳 |
| 2 20～24 歳 | 7 45～49 歳 | 12 70～74 歳 |
| 3 25～29 歳 | 8 50～54 歳 | 13 75～79 歳 |
| 4 30～34 歳 | 9 55～59 歳 | 14 80 歳以上 |
| 5 35～39 歳 | 10 60～64 歳 | |

問30 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-----------|------|
| 1 既婚(配偶者あり) | 2 既婚(離死別) | 3 未婚 |
|-------------|-----------|------|

問31 あなたは夫婦共働きをしていますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 1 フルタイム共働き | 2 パートタイム共働き | 3 していない |
|------------|-------------|---------|

問32 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 小学校入学前 | 7 学校教育終了—未婚—同居 |
| 2 小学校在学中 | 8 学校教育終了—未婚—別居 |
| 3 中学校在学中 | 9 学校教育終了—既婚—同居 |
| 4 高校在学中 | 10 学校教育終了—既婚—別居 |
| 5 各種学校、専修・専門学校在学中 | 11 その他 |
| 6 短大・大学・大学院在学中 | 12 子どもはいない |

問 33 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお選びください。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------------|-------|
| 1 ひとり暮らし | 3 親と子(2世代) | |
| 2 夫婦のみ | 4 祖父母と親と子(3世代) | 5 その他 |

問 34 あなたの居住している町名をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 平戸町 | 11 南舞岡一～四丁目 | 21 戸塚町 |
| 2 平戸一～五丁目 | 12 柏尾町 | 22 深谷町 |
| 3 品濃町 | 13 上柏尾町 | 23 俣野町 |
| 4 上品濃 | 14 汲沢町 | 24 原宿一～五丁目 |
| 5 川上町 | 15 汲沢一～八丁目 | 25 小雀町 |
| 6 前田町 | 16 矢部町 | 26 東俣野町 |
| 7 秋葉町 | 17 鳥が丘 | 27 影取町 |
| 8 名瀬町 | 18 吉田町 | |
| 9 上矢部町 | 19 上倉田町 | |
| 10 舞岡町 | 20 下倉田町 | |

問 35 あなたの現在のご職業をお聞かせください。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者) |
| 2 管理職(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など) |
| 3 専門技術職(勤務医師、研究所研究員、技師など) |
| 4 事務職(事務職、営業職、教員など) |
| 5 現業職(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者) |
| 6 主婦・主夫 |
| 7 学生 |
| 8 無職 |
| 9 その他 |

問 36 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1 持家(一戸建て) | 4 借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮) |
| 2 持家(マンション・共同住宅) | 5 その他 |
| 3 借家(一戸建て) | |

問37 現在のお住まいでの居住年数はどのくらいですか。

約 _____ 年 ※1年未満の場合は「1」年と記入してください。

問 38 あなたは、戸塚という「まち」に対して、愛着や誇りを感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 感じている | 4 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 5 全く感じていない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 39 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|---------|
| 1 住み続ける | 4 移転する |
| 2 たぶん住み続ける | 5 わからない |
| 3 たぶん移転する | |

戸塚区政についてご意見をお寄せください

問 40 戸塚区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、**7月7日(木)**までにご投函ください。



戸塚区のマスコット ウナシー

平成 23 年度戸塚区区民意識調査報告書

平成 23 年 12 月

発 行：戸塚区役所 区政推進課 企画調整係
〒244-0003
横浜市戸塚区戸塚町 157-3
電 話 0 4 5 (8 6 6) 8 3 2 7
F a x 0 4 5 (8 6 2) 3 0 5 4

◆調査実施機関：株式会社 地域環境計画